

## 第七十九回 帝國議會 衆議院

## 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會議錄(速記)第二回

昭和十七年一月二十六日(月曜日)午前十時  
三分開議

出席委員左ノ如シ  
委員長「三善 信房君  
理事岩瀬 亮君 理事濱地 文平君  
理事森田重次郎君 理事森 幸太郎君  
理事前川 正一君 理事松本治一郎君  
安倍 寛君 北勝太郎君  
小串 清一君 高田 耘平君  
坂下仙一郎君 坪山 德彌君  
土田 莊助君 成島 勇君  
東郷 實君 西川 貞一君  
西方 利馬君 松浦周太郎君 吉田 賢一君  
山川 賴三郎君 林 讓治君 山田 六郎君  
野溝 勝君 平野 力三君 滝沼稻次郎君  
大石 大君 由谷 義治君  
出席國務大臣左ノ如シ 井野 碩哉君  
農林大臣兼拓務大臣 一雄君  
農林次官 三浦 一君  
出席政府委員左ノ如シ ○西川委員

農林書記官 笹山茂太郎君  
食糧管理局長官 湯河 元威君  
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ  
内務事務官 永野 若松君  
今成留之助君  
北勝太郎君  
高田 耘平君  
○三善委員長 ソレデハ只今カラ開會致シ  
補足ニ關スル法律案(政府提出)  
食糧管理法案(政府提出)

ニ同情ニ堪ヘザルモノガアルノデゴザイマ  
ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ  
シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居  
ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ  
ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々  
例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所  
デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、  
官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付  
カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體  
ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ  
之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ  
カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産  
者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的  
ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル  
マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御  
希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君  
ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ  
シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府  
ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十  
分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮  
シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ  
ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞  
一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ  
ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ  
シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居  
ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ  
ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々  
例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所  
デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、  
官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付  
カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體  
ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ  
之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ  
カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産  
者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的  
ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル  
マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御  
希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君  
ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ  
シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府  
ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十  
分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮  
シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ  
ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞  
一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ

ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ

シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居

ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮

シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ

ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ

ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ

シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居

ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮

シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ

ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ

ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ

シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居

ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮

シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ

ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ

ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ

シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居

ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮

シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ

ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ

ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ

シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居

ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮

シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ

ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ

ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ

シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居

ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮  
シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ  
ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ  
ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ  
シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居  
ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮  
シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ  
ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ  
ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ  
シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居  
ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

例ヲ指摘スルマデモナク、衆人ノ認メル所

デアリマス、結局是等ヲ矯正致シマスノハ、

官憲ノ取締ヲスルト云フコトモ中々追ツ付

カナイノデアリマシテ、窮極ハ消費者自體

ガ自衛的ナ組織ヲ持ツト云フコト以外ニハ

之ヲ本當ニ矯正スル途ハナイノデハナイ

カ、思フニ我國ノ産業組合ノ如キハ、生産

者ガ商業資本ノ擇取ヲ免レル爲ニ、自衛的

ナ組織トシテ發達シ來ツタノデアリマスル

マス、昨日來質問ノ時間ノコトデ色々御

希望ガアリマシタノデ、今期來理事ノ諸君

ト協議ヲ致シマシタガ、ヤハリ最初決メ

シタヤウニ三十分程度ニ致シマシテ、政府

ノ答辯ノ時間等モ考慮致シマシテ、若干三十

分以上超過シマス場合ニモ、ソレ等ヲ考慮  
シテ委員長ニ於テ適當ニ質問ノ時間ヲ決メ  
ガ、其ノ點ヲ申上げテ置キマス——西川貞

一君

○西川委員 食糧配給機構ノ整備ニ當リマ  
ス、併シナガラ是等ガ一タビ整理ヲサレマ  
シテ後ニ殘ツタ業者ハ非常ニ強クナツテ居  
ル、強クナツテ居ルノミナラズ一部ニ於テ

ハ其ノ横暴目ニ餘ルモノガアル、是ハ一々

</

業者ノ態度ガ最近目ニ餘ルヤウニナツテ來居リマス、都會地ノ配給所ニ付キマシテハ、ニシテ守ルコトニナツテ居ルカト云フ御話デゴザイマスガ、第一此ノ公社ヲ作リマシタ趣旨ガ實ハ其ノ點ニアルノデアリマス、從來ノ營業者の態度、或ハ殊ニ最近配給統制ヲ致シテ參リマシテカラ、ドウモ商人が官僚的ナ態度ヲ執ルヤウナコトガイケナイト云フノデ、此ノ營團ヲ作リマシテ、サウ云フコトヲカラシメテ行キタイト云フコトガ根本ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ法案ノ中ニモゴザイマスヤウニ、此ノ營團ハ唯買入賣渡ヲスルバカリデナク、其ノ附帶事業ト致シマシテ色々ノ施設ヲスルノデアリマスガ、特ニ配給業者ノ指導訓練ト云フコトニ付キマシテハ、一つ十分營團ヲシテ徹底セシメタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ監督上ノ規定カラ申シマスト、二十三條ノ規定ニモ出テ居ルノデアリマス、配給致シマシタ物ノ配給ノ仕方等ニ付キマシテハ、政府ノ方カラ指示ヲスル、サウシテ其ノ指示ニ從フベキコトヲ命ズルト云フ風ナ處置モ執ルヤウニナツテ居リマス、更ニ消費者組織ソレ自體ニ付キマシテハ、只今企畫院或ハ厚生省ノ方デモ種々研究ヲシテイラツシヤルノデアリマス、吾吾モ能ク連絡ヲ執リマシテ、此ノ方面ヲ將來固メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、一方購買組合ノ問題ニ付キマシテノ御質問ガゴザイマシタガ、之ニ付キマシテハ昨年ノ四月消費規正、企業合同等ヲ致シマス、吾ト致シマシテハ、消費者ノ完全ナル組織ガアル場合ニ於キマシテハ、何モ商人ノ機構ヲ以テ之ニ置代ヘルト云フコトヲ考ヘナ

クテモ宜イノデヤナイカト云フ風ニ思ツテ居リマス、都會地ノ配給所ニ付キマシテハ、ニシテ守ルコトニナツテ居ルカト云フ御話デゴザイマスガ、第一此ノ公社ヲ作リマシタ趣旨ガ實ハ其ノ點ニアルノデアリマス、ソレが官僚的ナ態度ヲ執ルヤウナコトガイケナイト云フノデ、此ノ營團ヲ作リマシテ、サウ云フコトヲカラシメテ行キタイト云フコトガ根本ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ法案ノ中ニモゴザイマスヤウニ、此ノ營團ハ唯買入賣渡ヲスルバカリデナク、其ノ附帶事業ト致シマシテ色々ノ施設ヲスルノデアリマスガ、特ニ配給業者ノ指導訓練ト云フコトニ付キマシテハ、一つ十分營團ヲシテ徹底セシメタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ監督上ノ規定カラ申シマスト、二十三條ノ規定ニモ出テ居ルノデアリマス、配給致シマシタ物ノ配給ノ仕方等ニ付キマシテハ、政府ノ方カラ指示ヲスル、サウシテ其ノ指示ニ從フベキコトヲ命ズルト云フ風ナ處置モ執ルヤウニナツテ居リマス、更ニ消費者組織ソレ自體ニ付キマシテハ、只今企畫院或ハ厚生省ノ方デモ種々研究ヲシテイラツシヤルノデアリマス、吾吾モ能ク連絡ヲ執リマシテ、此ノ方面ヲ將來固メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、一方購買組合ノ問題ニ付キマシテノ御質問ガゴザイマシテハ、何モ商人ノ機構ヲ以テ之ニ置代ヘルト云フコトヲ考ヘナ

○西川委員 食糧營團トナリマシテ配給業者ノ性格ガ商人カラ公共的ナモノニ變ルコトニ依ツテ、消費者ノ便益ガ保證サルルトアリマスガ、特ニ配給業者ノ指導訓練ト云フコトニ付キマシテハ、一つ十分營團ヲシテ徹底セシメタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ監督上ノ規定カラ申シマスルト、二十三條ノ規定ニモ出テ居ルノデアリマス、配給致シマシタ物ノ配給ノ仕方等ニ付キマシテハ、政府ノ方カラ指示ヲスル、サウシテ其ノ指示ニ從フベキコトヲ命ズルト云フ風ナ處置モ執ルヤウニナツテ居リマス、更ニ消費者組織ソレ自體ニ付キマシテハ、只今企畫院或ハ厚生省ノ方デモ種々研究ヲシテイラツシヤルノデアリマス、吾吾モ能ク連絡ヲ執リマシテ、此ノ方面ヲ將來固メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、一方購買組合ノ問題ニ付キマシテノ御質問ガゴザイマシテハ、何モ商人ノ機構ヲ以テ之ニ置代ヘルト云フコトヲ考ヘナ

シテハ現在米穀ノ配給ハ、配達ヲシテ吳レルノデ割合親切ニ行ツテ居リマスガ、地方ノ都市ニ於キマシテハ配達ヲシナイ所ガアリ、單ニ米ノミデナク、生活必需品ニ於テ云フ風ナ措置モ採ツテ居リマス、ソレカラ農村ノ方ニ於キマスル生産者ノ購買組織、是モ純農村ノ經濟事情ニ鑑ミマスルト相當尊重シテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、吾々ト致シマシテハ何モ配給業者ヲ以テ全部是等ノ組織ニ置代ヘルト云フ考ヘ致シテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○西川委員 食糧營團トナリマシテ配給業者ノ性格ガ商人カラ公共的ナモノニ變ルコトニ依ツテ、消費者ノ便益ガ保證サルルトアリマスガ、特ニ配給業者ノ指導訓練ト云フコトニ付キマシテハ、一つ十分營團ヲシテ徹底セシメタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ監督上ノ規定カラ申シマスルト、二十三條ノ規定ニモ出テ居ルノデアリマス、配給致シマシタ物ノ配給ノ仕方等ニ付キマシテハ、政府ノ方カラ指示ヲスル、サウシテ其ノ指示ニ從フベキコトヲ命ズルト云フ風ナ處置モ執ルヤウニナツテ居リマス、更ニ消費者組織ソレ自體ニ付キマシテハ、只今企畫院或ハ厚生省ノ方デモ種々研究ヲシテイラツシヤルノデアリマス、吾吾モ能ク連絡ヲ執リマシテ、此ノ方面ヲ將來固メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、一方購買組合ノ問題ニ付キマシテノ御質問ガゴザイマシテハ、何モ商人ノ機構ヲ以テ之ニ置代ヘルト云フコトヲ考ヘナ

シテハ現在米穀ノ配給ハ、配達ヲシテ吳レルノデ割合親切ニ行ツテ居リマスガ、地方ノ都市ニ於キマシテハ配達ヲシナイ所ガアル、單ニ米ノミデナク、生活必需品ニ於テ云フ風ナ措置モ採ツテ居リマス、ソレカラ農村ノ方ニ於キマスル生産者ノ購買組織、是モ純農村ノ經濟事情ニ鑑ミマスルト相當尊重シテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、吾々ト致シマシテハ何モ配給業者ヲ以テ全部是等ノ組織ニ置代ヘルト云フ考ヘ致シテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○西川委員 食糧營團トナリマシテ配給業者ノ性格ガ商人カラ公共的ナモノニ變ルコトニ依ツテ、消費者ノ便益ガ保證サルルトアリマスガ、特ニ配給業者ノ指導訓練ト云フコトニ付キマシテハ、一つ十分營團ヲシテ徹底セシメタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ監督上ノ規定カラ申シマスルト、二十三條ノ規定ニモ出テ居ルノデアリマス、配給致シマシタ物ノ配給ノ仕方等ニ付キマシテハ、政府ノ方カラ指示ヲスル、サウシテ其ノ指示ニ從フベキコトヲ命ズルト云フ風ナ處置モ執ルヤウニナツテ居リマス、更ニ消費者組織ソレ自體ニ付キマシテハ、只今企畫院或ハ厚生省ノ方デモ種々研究ヲシテイラツシヤルノデアリマス、吾吾モ能ク連絡ヲ執リマシテ、此ノ方面ヲ將來固メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、一方購買組合ノ問題ニ付キマシテノ御質問ガゴザイマシテハ、何モ商人ノ機構ヲ以テ之ニ置代ヘルト云フコトヲ考ヘナ

シテハ現在米穀ノ配給ハ、配達ヲシテ吳レルノデ割合親切ニ行ツテ居リマスガ、地方ノ都市ニ於キマシテハ配達ヲシナイ所ガアル、單ニ米ノミデナク、生活必需品ニ於テ云フ風ナ措置モ採ツテ居リマス、ソレカラ農村ノ方ニ於キマスル生産者ノ購買組織、是モ純農村ノ經濟事情ニ鑑ミマスルト相當尊重シテ行ク必要ガアルト思ツテ居リマス、吾々ト致シマシテハ何モ配給業者ヲ以テ全部是等ノ組織ニ置代ヘルト云フ考ヘ致シテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○湯河政府委員 先程御説明ヲ落シマシタ點ガゴザイマスカラ申上げテ置キマス、消費者ノ意見ヲ此ノ營團ノ運営ニ反映致シマス



マシタ、又其ノ動キニ依リマシテ極メテ滑  
カニ過去ニ於テハ配給ガ出來テ居タノデア  
リマス、遠イ將來ノコトハ別トシテ、最近  
ノ問題ト致シマシテハ、此ノ商業機構ヲ如  
何ニシテ現在ノ必要ニ即應スルヤウニ改變  
スルカト云フ問題デゴザイマス、吾々トシ  
テハ茲ニ提案致シマシタ營團ノ組織ヲ以テ  
ヤツテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス  
ソレカラ消費生活、指導ノ點ニ付テ色々御  
話ガゴザイマシタ、殊ニ農林省ガ持ツテ居  
ル米穀利用研究所ハ今何ヲシテ居ルカト云  
フ御話ガゴザイマシタ、吾々モ米穀利用  
研究所ハ近ク之ヲ食糧研究所ト改變致シ  
マス、是ハ既ニ豫算モ通ツテ居リマスシ、  
官制ノ改正ヲ今手續中デゴザイマス、實質  
ニ於テハ此ノ時局ガ斯ウナリマシテ以來、  
從來ノヤウナ過剩米ノ利用ノ途ヲ研究スル  
ト云フコトデゴザイマスデ、色々消費者  
ノ指導、殊ニ食糧資源ノ研究等ヲ致シテ居  
ルノデゴザイマス、只今御話ノゴザイマシ  
タ甘諸ノ食べ方等ニ付テモ、澱粉ニスルノ  
ガ宜ノノデハナイカト云フ御指摘モゴザイ  
マシタガ、吾々ノ方モ研究致シテ居リマス、  
實ハ甘諸ヲ生ノ儘食ベルノモ一方法デゴザ  
イマスガ、之ヲ食糧管理上カラ申シマスト、  
澱粉又ハ粉トシテ、小麥粉ニ混ゼテ使フト  
云フコトモ考ヘテ居リマス、又將來食糧研  
究所ノ機構ニ依リマシテ、更ニ進ンデ色々  
○西川委員 主要食糧ノ集荷ハ大體生產者  
團體ヲシテ行ハシメルコトガ、單ニ食糧上  
ノミデナク、農林省ノ國策會社整理等ノ場  
合ニ於テ、一ツノ原則トシテ左様ニ御考ヘ  
ニナツテ居ルカドウカ、尙ホソレハ左様ア

ルベキダト思ヒマスガ、大臣カラノ御答ヘ  
ヲ戴キタイト思ヒマス  
ソレカラ大臣ノ御答ヘヲ得タイト思ヒマ  
ス問題ヲ序デニ申上ゲマス、十七年度ノ米  
穀利用研究所ハドノ位ニナサル御積リデアル  
カ、諸般ノ事情ヨリシテ、前年度ヨリ食糧  
生産ヲ後退セシムルコトハ出來ナイ事情ニ  
アルグラウト思ヒマス、出來ルダケ前進セ  
シメナクテハナラヌニ違ヒナイ、然ルニ食  
糧増產ヲ一步前進セシメル爲ニハ肥料資材  
等ノ生産資材ガ十分ニ供給サナレクテハナ  
ラヌノデアリマスガ、一昨日ノ御答ヘニ依  
リマスレバ、窒素ニ於テ八〇%、過磷酸ニ  
於テ五〇%、加里肥料ニ於テハ零ト云フ、  
吾々ト致シマシテハ、淘ニ心細イ數字デア  
ルノデアリマス、是ハ農林當局ト致シマシ  
テハ必死ノ御努力ヲナサツタ結果デハアル  
ト思ヒマスガ、致シ方ガナイ、然ルニ農民  
ニモヤハリ又サウ云フ結論ガ出テ來ルノデ  
ルヤ否ヤト云フ御尋ネアリマスガ、是ハ先  
程モ食糧管理局長官カラ御答ヘ致シマシタ  
ヤウニ、主トシテ主要食糧ニ付テハサウ云  
フ方針ヲ執ツテ居リマス、併シ總テノモノ  
ニ付テサウ云フ方針ガ執レルカドウカト云  
フコトニナリマスト、ヤハリ現在ノ社會情  
勢カラ言ツテ、其ノ業態自體ニ於テハ集荷  
ノ部面ニ於テ商人ガ非常ニ活躍シテ居ル部  
面モアルノデアリマス、隨テソレヲ悉ク排  
除シテ全部生産者團體ニスルト云フコトガ  
寧ロ適當デナイ場合モ今日ハアルノデアリ  
ニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ八百万  
石程增產シヨウト云フ譯デアリマス、ソレハ  
ドウ云フコトデヤルカト云フト、ヤハリ耕種  
及ビ施肥ノ改善ニ依リマシテ約三百万石程  
殖ヤシ得ル、又病害蟲ノ驅除豫防デアルトカ、  
溫床苗代デアルトカ、多收品種ノ獎勵デア  
ルトカ、或ハ耕地事業、詰リ簡易開墾ラヤ  
ルトカ、色々ノ手段ヲ講ジマシテ各府縣ノ  
主任官ヲ集メ、色々ノ事情ヲ調查シテ、此  
ノ肥料事情ノ下ニ於テ自給肥料ヲ以テ之ヲ  
補ヒ、又或ハ施肥ノ工夫ヲ色々コトニ依  
ツテ、現在ノ配給致ス肥料ヲ有效ニ使ハセル  
云フコトダケラ御諒承願ヒタイト思フノデ  
アリマス  
ソレカラ本年ノ米ノ生産目標ニ付テドレ

ヘラルベキデアルト思ツタノデゴザイマス  
ガ、豫算面等ヲ見マスノニ整理削除ノ跡ハ  
相當ニ見エマスガ、是等ヲ轉用シテ、重點  
的ニ、效果的ニ用ヒテ行クト云フヤウナ御  
配慮ヲ十分ニ認メルコトガ出來ナイノヲ遺  
憾トルノデアリマス、併シ大臣トシテハ  
非常ナ困難ノ状態デハアリマスガ、其ノ困  
難ヲ克服シ、不可能ヲ可能ナラシメルベキ  
何カツノ手ヲ用意サレテ居ラレルコトト  
思フノデアリマス、食糧増產ニ付テドウ云  
フ手ヲ御用意ニナツテ居ラレルカ、此ノ際  
承ハリタイト思ヒマス  
○井野國發大臣 先づ第一ノ、農林關係ノ  
諸物資ニ付テ集荷ヲ生産者團體ニ一元化ス  
ルヤ否ヤト云フ御尋ネアリマスガ、是ハ先  
程モ食糧管理局長官カラ御答ヘ致シマシタ  
ヤウニ、主トシテ主要食糧ニ付テハサウ云  
フ方針ヲ執ツテ居リマス、併シ總テノモノ  
ニ付テサウ云フ方針ガ執レルカドウカト云  
フコトニナリマスト、ヤハリ現在ノ社會情  
勢カラ言ツテ、其ノ業態自體ニ於テハ集荷  
ノ部面ニ於テ商人ガ非常ニ活躍シテ居ル部  
面モアルノデアリマス、隨テソレヲ悉ク排  
除シテ全部生産者團體ニスルト云フコトガ  
寧ロ適當デナイ場合モ今日ハアルノデアリ  
ニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ八百万  
石程增產シヨウト云フ譯デアリマス、ソレハ  
ドウ云フコトデヤルカト云フト、ヤハリ耕種  
及ビ施肥ノ改善ニ依リマシテ約三百万石程  
殖ヤシ得ル、又病害蟲ノ驅除豫防デアルトカ、  
溫床苗代デアルトカ、多收品種ノ獎勵デア  
ルトカ、或ハ耕地事業、詰リ簡易開墾ラヤ  
ルトカ、色々ノ手段ヲ講ジマシテ各府縣ノ  
主任官ヲ集メ、色々ノ事情ヲ調查シテ、此  
ノ肥料事情ノ下ニ於テ自給肥料ヲ以テ之ヲ  
補ヒ、又或ハ施肥ノ工夫ヲ色々コトニ依  
ツテ、現在ノ配給致ス肥料ヲ有效ニ使ハセル  
云フコトダケラ御諒承願ヒタイト思フノデ  
アリマス  
ソレカラ本年ノ米ノ生産目標ニ付テドレ

見透シヲ以テ吾々ノ方ハヤツテ居ルノア  
リマス、併シ勿論今日ノ米ノ増産ト云フ問  
題ハ技術ダケデハイケナイノデアリマシテ、  
結局ハヤハリ農民ノ精神力ヲ振起シテ、此  
ノ時局ニ對シテ出來ルダケ努力シテ增産ニ  
努メルト云フ其ノ精神ガ大事デアリマシテ、  
ラ、農林省トシテハ或ヘ内原ノ訓練所ニ於キ  
マシテ一万數千人ノ農村青年ノ訓練モ致シ、  
又各府縣ノ農民道場等ヲ利用シ、又更ニ農會  
技術員其ノ他ノ指導網ヲ總動員シテ、此ノ  
際増産ニ邁進シテ居リマスコトハ西川君ノ  
能ク御承知ノ通リデアリマス、ソレ等ノ技  
術方面精神方面竝ニ物的方面カラ協力シテ、  
サウシテ此ノ増産目標ヲ達成致シタイト考  
ヘテ居ル次第アリマス、

コトガ必要デアル、是ハ具體的ナ數點ニ付テ農政局長ニ御尋ネシタイノデアリマスガ、マダ農政局長ハ出テ居ラレナイノデ、山林關係ノコトヲ御尋ネ致シタインデアリマス、農作物ヲ妨ゲル蔭樹ヲ伐ツテシマツテ日當リヲ好クシタラ確カニ何百万石ノ増産が出来ルト云フ目標ガハツキリ付イテ居ル、之ヲ強制的ニヤラセル、日當リヲ良クサセル爲ニ蔭林ノ伐採ヲ全國一齊ニ斷行サセルト云フコトヲヤルカドウカ、ソレカラ自給肥料ノ増産ノ爲ニ採草地ニ整理、之ヲ補助金トカ何トカ云フ生溫イコトデナシニ、強制的ニ農民ヲ率キテヤラセルカドウカ、ソレカラ一昨日山川君カラ色々御述ベニナリマシタ野兎ノ問題ニアリマスソレニ付キマシテ縷々御答辯ガアリマシタガ、要點ヲ明瞭ニ聽キ得ナカツタノデモウ一遍御伺ヒ致シマス、現在野兎ノ驅除ハ獵期外ニ於テハ自由ニサセテ居ルノデスガ、獵期ニナルト自由ニサセナイ、併シ實際野兎驅除ノ效果ハ、獵期ニ於テアルノデアツテ、此ノ時期ニ許可セシメテ農民ニ自由ニヤラセルカドウカ、之ニ付テ當局ハ考慮スルト云フコトヲ六年モ言ツテ居ラレル、毎年篤ト考慮スルト云フコトヲ歴代ノ山林局長ガ言ツテ居ラレルニ拘ラズ、今以テ結論方出テ居ナイ、六年考ヘテ結論が出ナイヤウデハ、是カラ何年考ヘテモ出ヤシナイト思フガ、此ノ際ヤルカドウカ、此ノ三點ヲハツキリ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

行政方面から見マシテ、左様ナ農産物ノ増産ノ障碍トナル部分ノ日陰樹ヲ伐採スルト云フコトハ、一向差支ナイ問題デアリマス、唯之ヲ積極的ニ森林所有者等ヲシテ強制的に伐採セシメル制度ヲ將來考ヘルカドウカル云フ點ニ付キマシテハ、只今ノ所デハサウ云フ制度ハナイヤウニ思ヒマスルガ、サウ云フ點モ農産物増産ノ方面ト連絡ヲ取りマシテ、篤ト考究ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス、國有林方面等ニ於キマシテノースウ云フ日陰樹ハ屢々問題ニナツテ居リマスルガ、極力左様ニ障碍ニナルヤウナ部分ハ、國ニ於テ自發的ニ整理致シ、害ノナイヤウニ致サレテ居ル積リデアリマス、ソレカラ第二點ノ自給肥料ヲ相當増産セシヌル手段トシテ、全國ニ在ル放牧採草地ヲモツト勤員シテ使フヤウニスル必要ガアルノデハナイカト云フ御尋ネ、殊ニ、色々入合關係或ハ各地方ノ町村其ノ他ノ團體等ノ共有一ノ爲ニ、斯ウ云フ方面ニ障碍ノアルヤウナ原野等ヲ、モウ少し採草ニ十分利用出来ルヤウニ整理シテ參ルト云フ點ニ付キマシテハ洵ニ私共モ同感ニ存ジテ居リマス、斯様ナ時期ニ於キマシテ、是等ヲ一層有效ニ使フヤウニ今後色々指導又ハ工夫シテ參リタイト思ツテ居リマス、ソレカラ第三點ノ野兎ノ被害ヲ除ク爲ニ、獵期ニ於キマシテモ、ニ伺ツテ居リマスノデ、獵期中ト雖モ、必要ニ依リマシテハ狩獵法ノ規定ノ運用ニ依リマシテ、是等有害ノ野兎ノ驅除ヲ斯ウ云

○西川委員　自給肥料ノ生産ナリ、又一面  
榮養食糧ノ補給ナリニ付テ、一番重大ナノハ  
畜牛ノ増殖デアルト思ヒマス、然ルニ畜牛  
ハ近來著シク減產ニナリツツアル、是ハ何  
故減產ニナルカト云フト飼料ノ輸入ガ無ク  
ナツタ爲デアリト云フコトデアリ、昨日モ  
農林省ノ末梢神經タル郡及び町村ノ畜產技  
術員カラ私ハソレニ關スル陳情ヲ受ケマシ  
タガ、此ノ減產ハ決シテ私ハ飼料ノ爲メデ  
ハナイト思フ、一體現在ノ集荷ノ制度デハ  
畜牛ハ段々減ツテ肉牛ハ出テ來ナイ、ドウ云  
フ點ガ悪イカト云フト、之ニ付テハ此ノ前権  
口君カラモ縷々御質問ガアリ、大臣モソレニ  
付テハ十分改メルト約束サレマシタガ今日  
改メラレテ居ナイ、其ノ機構ガ悪イ爲ニ畜  
牛ガ減リ肉牛ガ出テ來ナイ、是ハ農林省トシ  
テ今日棄棄テ置クコトノ出來ナイ問題デアル  
ト思フ、私共モ子供ノ時分農家デ育ツテ能  
ク知ツテ居リマスガ飼料ナド買ツタ覺エベア  
リマセヌ、値段ノ高イ種牛ヲ飼フ爲メニハ購  
入飼料ヲ要シマスケレドモ、普通ノ牛ヲ飼フ  
ニハ農家ガ少シ努力スレバ飼料ヲ買ハナク  
テモ牛ハ飼ヘル、是等ニ付テモ速カニ機構ヲ  
改メラレテ、強制的ニモ飼育サセテ牛ヲ  
殖ヤサレテハドウデアルカ、必ズ一匹ハ飼フ  
ベシ、一匹飼ツテ居ル家デハ二匹飼フベシト  
云フコトニスル、サウシテ堆肥、厩肥増産ノ爲  
メ畜舎ノ改良ヲヤラセル、補助金ガ少イカ  
ナドモ是ダケハ必ずヤレト云フノデヤラセ  
ラヤレナイト云フヤウナコトデナクシテ、  
農林省ハ先頭ニ立ツテ農民ヲ相率キテ實際ヤ  
ル、補助金ノ豫算ナドニ拘束サレズニ實際ヤ

ラセテハドウカ、農林省ハ部隊長ニナツテ農民ヲ率キテ必ズヤラセテ行クト云フノデナケレバ戰時食糧ヲ私ハ乘切ツテ行クコトハ出來ナイト思ヒマスガ、之ニ付テハドウ云フ氣分デ居リマスカ、ソレカラ最後ニドウモ私ハ中央食糧營團ナルモノノ存立ノ意義ガ、御説明ラ體イテ見テモドウモ是非必要ダト云フコトヲ發見シ難イ、此ノ委員會ニ付託サレテ居リマス米穀需給調節特別會計法——此ノ改正案ヲ同時ニ付託サレテ居リマスガ、是デモ此ノ中央食糧營團ノヤラウトスルコトハヤレルノデハナイカ、外地米ヲ買入レラレ、外國米ヲ買入レラレ、ソレカラ貯藏ラスル、加工ラスル、米穀需給調節特別會計法ヲ食糧管理特別會計法ニ改メラレル、是テ出來ルデハナイカ、今日總テ類似シタ企業ヲ整理統合サレル、企業ノ整理統合ガ國策トナツテ、統合バカリノ時代ニ農林省自身ニ於テモ是ダケノ仕事ラスル用意ヲチヤントシテ置キナガラ、尙ホ外ニ中央食糧營團ノ如キモノヲ御作りニナル、農林省ハ今マデ全然米ヲ扱ツタコトガナイト云フノナラ別段ニアリマスガ、今日ノ農林省ハ米ニ於テハ一番ノ専門家ガ揃ツテ居ラレル、米ニ於テハ農林省ガ「オーネリティ」ノ施設ニ於キマシテモサウデアル、農林省自體ガ長年ニ瓦ツテ米ノ需給ヲ調整シテ來ラレテ、内地ニ於テ食糧需給ノ全責任ヲ負ツテ行カレル時ニ、茲ニ特別會計法ノ改正案ヲ出サレテ、必要ナ資金ヲ増額シテ居ラレル、サウンシテ是等ノ仕事が出來ルヤウニ法律ヲ改正ナサツテ、尙ホ一方ニ中央食糧營團ヲ設ケナクテハナラスト云フ理由ガ十分ニ呑込メナインオニアリマス、此ノ點ハド

○井野國務大臣　只今御質問ノ第一點ノ牛  
ノ問題デアリマスガ、牛ハ現在農村ニ於キ  
マシテ此ノ二、三年來減ツテ來テ居リマセ  
ヌ、寧ロ殖エテ居リマス、是ハ飼料ガ無論  
非常ニ窮屈ナ點モアツタト思ヒマスケレド  
モ、サウ云フ點ヲ克服シ、更ニ農村自體ニ  
於キマシテモ勞力ノ關係、其ノ他色々ノ關  
係カラ、是非有畜農業ニ進ミタイト云フ氣  
持カラト思ツテ居リマスガ、牛ハ殖エテ居  
リマス、二百万頭ヲ突破シテ居ル狀態デ  
アリマスカラ、決シテ戰前ニ比べテ牛ハ減  
テ出テ來ナイカト云フ問題ニナリマスト、  
先般衆議院ノ委員會デ樋口委員ガ色々ノ事  
情ヲ御話ニナリマシテ、私モサウ云フ事情  
ガアレバ非常ニ困ツタコトダ、是非改善シ  
タイト思ツテ色々調べタノデアリマス、サ  
ウ云フ事柄ガ全然ナカツタトハ思ヒマセヌ  
ガ、ソレガ現在牛ノ出テ來ナイ原因デハナ  
イコトガ其ノ後判明シマシタ、砂田委員長  
ガ本會議議モ色々御話ニナツテ居リマシタ  
ノデ、其ノ點モ能ク砂田委員長ニモ御話シ  
タラ、成程サウダラウト云ツテ能ク御理解  
モ得タヤウヲ譯デ、現在ニ於テハアア云ツ  
タ事情カラ牛ガ出ナインデハナカツタノデ  
アリマス、其ノ當時牛ガ出マセヌデシタノ  
ハ、結局農村ノ勞力ガ非常ニ不足シテ居ル  
ノデ、牛ヲ勞力ニ使ハナクテハナラナイ、  
其ノ爲ニ肉牛トシテ出シ難イト云フ事情ガ  
アリマシタノト、朝鮮牛ガ其ノ當時輸送ノ  
關係或ハ病疫ノ關係カラ内地ニ入ツテ來ナ  
イ、隨テ内地牛ノ供出ガ非常ニ減ツタ、斯  
ウ云フ事情ニアツタノデアリマス、其ノ後

十二月ニ比シテ段々殖エツツアリマス、併シ是モ色々配給竝ニ集荷ノ機構ガ新タニ出来タ時代ニ直面シテ居ルノデアリマスカラ、吾々ガ企圖シテ居リマスヤウニマダ動イテ居リマセヌガ、是等ハ色々制度ノ問題デアリマスカラ、十分ニ改善シテ、國民ノ肉ノ需要ニ對シテ出來ルダケ善處シテ參リタイト考ヘテ居リマス。  
第二點ノ中央食糧營團ノ機能ノ問題デアリマスガ、西川委員ヘ米穀會社ヲ整理シテ中央食糧營團ニスルノデハナカラウカトカ、又米穀會社ヘ元々市場整理ノ結果出來タモノダカラ、ソレヲ今度之ニ直シテ行クノデハナカラウカト云フ御考ヘガ前提ニナツテ居ラレルノ配給機構ヲ政府トシテハ今後ヤツテ行カデハナカラウカト思フノデアリマスガ、中央食糧營團ハ實際今度ハ非常ニ大キナ働キヲスルノデアリマス、ト云フノハ綜合食糧ノ配給機構ヲ政府トシテハ今後ヤツテ行カウ、從來ノ米穀會社ガ全然ヤツテ居ラナカウ、他ノ食糧配給モ是方扱フト云フ大キナ使命ヲ持チマスノガ一ツト、モウ一ツハ空襲時ニ於ケル非常食糧貯藏ヲ此ノ中央食糧營團ガ一手ニヤル、是タケ大キナ仕事ヲ戰時下ニ致シマスニハ、中央食糧營團トシテノ働キハ十分ニアリ得ルト思フノデアリマス、サウシテ從來ノ發達過程ニ於テ出來テ参リノデアリマスカラ、衆議院ガ從來カラ國

策會社ノ整理統合ヲ要望シテ居ラレタ其ノ  
御要望ニモ副フ、私ハ斯ウ考ヘテ此ノ法案  
ヲ提出致シタヤウナ譯デアリマス、尙ホ法  
案提出以外ニ、私ハ相當ニ國策會社ノ整理  
統合ヲ是カラモヤツテ行キタイト考ヘテ居  
リマス、隨テ是モ一ツノ現レデアルト云フ  
風ニ御理解願ヒ、而モ中央機能ハ今申シタ  
通リ色々ノ大キナ仕事ヲ持ツテ居ルノデア  
リマス、米自體ニ御付テハ話ノ通り、内地  
米ニ付テハ政府ガ特別會計デヤルノデアリ  
マスカラ、此ノ機構ヲ餘リ煩ハサナイ、斯  
ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

的生産ト云フコトガ出來ナイノデアリマス、  
詣リ斯ウ云フヤウナヤリ方デハ生産増強ニ  
非常ニ大障碍ガアル、ダカラ之ヲ取除ケト  
云フコトハ、久シキニ瓦ル農業者ノ眞劍ナ  
叫ビデアリマス、ニモ拘ラズ一方政府ニ於  
キマシテハ配給業者ノ立場モ考ヘラレ、配  
給業者ノ救濟ト生産ノ増強ト兩方ヲ満足ニ  
ヤラウ、所謂兩全ヲ期スル、斯ウ云フコトハ  
ニ御苦心ヲシテ居ラレルノデアリマシテ、  
先程西川君ノ質問ニ對シテ管理局長ノ御答  
辯ニモ、サウ云フ點ガ現ハレテ來テ居ルノ  
デアリマス、成ベク現在ノ商業機構ヲ使ツテ  
行キタイト云フヤウナコトヲ言ツテ居ラレ  
ルノデアリマス、併シ此ノ事ハ三ツ子デモ  
分ル通り、業者ノ救濟ト云フモノハ金デ出  
來ル、金ヲ出セバ済ムノデアリマスガ、生  
産ノ減少シタ分ハ、是ハ金デ補ヘナイモノデ  
アル、ダカラ此ノ場合生産ノ増強ヲ常ニ第一  
義ニ置イテ行カナケレバナラヌノデアリマ  
スガ、ドウモ人情ノ常トシテ、救濟ト云フ目前  
ノ事態ニ囚ハレ勝デアツテ、寧口救濟本位  
ニ領キ易イ、サウシテ生産ノ増強ト云フコ  
ト、即チ社會全體ノ利益、モット突キ詰メテ  
云フト戰爭必勝ノ鍵デアル所フ生産ノ増  
強、是ハ第二義ニ取扱ハレ勝ナノデアリマ  
シテ、事實常ニ前者ニ對シテハ同情ガ集リ、  
後者ニ對スル理解ハ得ニクイ、斯ウ云フ狀  
態デアルノデアリマス、ソレガ爲ニ生産ニ  
熱心ナ者達ガヤカマシク要求シテ居ルノ  
ヲ尻目ニ、政府ハ頻リニ性格上幾多ノ弊害  
ヲ包藏シテ居ル所ノ業者中心ノ所謂商業組  
合トカ、或ハ國策會社式ノ統制ニヤツテ行  
カレヨウトシテ居ツテ、殆ド生産本位ノ統  
制ト云フコトガ行ハレナイ、是ガ生産ノ減  
少ニ拍車ヲ掛ケテ居ルノデアリマシテ、洵

片時モ輕視サレルヤウナコトガアツテハ  
ナラヌノデアリマス、ソコデ從來斯ノ如  
ク逆サマニナツテ來タ、逆立チニナツテ  
來夕所ノ、配給過程ノ見地ノミニ囚ハレタ  
所ノヤリ方、生産本位ト云フコトヲオ留守  
ニシテヤツテ居ルト云フヤウナヤリ方ヲ、  
此ノ際斷然根本的ニ改革ヲシナケレバイカ  
ナイト思フノデアリマス、斯ク申シマスト  
如何ニモ業者ニ對シテ無情ナ言ヒ分ノヤウ  
ニ聞エルカモ知レナイノデアリマスガ、此  
ノコトハ其ノ結果ニ於テ、丁度甘い人氣取  
リノ教員ガ教ヘタモノト、ソレカラ少々厭  
ヤガラレテモ誠心籠メテ戒メテ行ツタモノ  
程ノ、左様ナ違ヒトナツテ國家的得失ノ上  
ニ現ハレテ來ルノデアリマス、若シ些細ナ  
ヤガラレテモ誠心籠メテ戒メテ行ツタモノ  
所ノ眠リ口錢ダトカ、或ハ又仕事ハ何モ  
シナide、指圖ダケヲシテ居ル、或ハ取次  
ダケヲシテ居ル所ノ物資統制會社、販賣會  
社、是ノ爲ニ形式ノ變ツタ擣取、寧口從來ヨ  
リハ質ノ惡イ擣取ヲ受ケテ居ル、ソレガ爲  
ニ大變ニ買フモノガ高クナツテ居ル、サウ  
シテ賣ルモノガ目ニ見エテ安イ、斯ウ云フ  
離農シテ行クト云フ、或ハ離農シナイマデ  
モ減產ニナルト云フヤウナコトニナルノデ  
行クコトハ出來ヌカラ、眞ニ已ムヲ得ズニ  
ヤウナ工合デ農業經濟ガ引合ハヌデ行詰リ  
ヲ來シテ居ル、何トシテモ此ノ儘デヤツテ  
シテ、事實常ニ前者ニ對シテハ同情ガ集リ、  
後者ニ對スル理解ハ得ニクイ、斯ウ云フ狀  
態デアルノデアリマス、ソレガ爲ニ生産ニ  
熱心ナ者達ガヤカマシク要求シテ居ルノ  
ヲ尻目ニ、政府ハ頻リニ性格上幾多ノ弊害  
ヲ包藏シテ居ル所ノ業者中心ノ所謂商業組  
合トカ、或ハ國策會社式ノ統制ニヤツテ行  
カレヨウトシテ居ツテ、殆ド生産本位ノ統  
制ト云フコトガ行ハレナイ、是ガ生産ノ減  
少ニ拍車ヲ掛ケテ居ルノデアリマシテ、洵

片時モ輕視サレルヤウナコトガアツテハ  
ナラヌノデアリマス、ソコデ從來斯ノ如  
ク逆サマニナツテ來タ、逆立チニナツテ  
來夕所ノ、配給過程ノ見地ノミニ囚ハレタ  
所ノヤリ方、生産本位ト云フコトヲオ留守  
ニシテヤツテ居ルト云フヤウナヤリ方ヲ、  
此ノ際斷然根本的ニ改革ヲシナケレバイカ  
ナイト思フノデアリマス、斯ク申シマスト  
如何ニモ業者ニ對シテ無情ナ言ヒ分ノヤウ  
ニ聞エルカモ知レナイノデアリマスガ、此  
ノコトハ其ノ結果ニ於テ、丁度甘い人氣取  
リノ教員ガ教ヘタモノト、ソレカラ少々厭  
ヤガラレテモ誠心籠メテ戒メテ行ツタモノ  
所ノ眠リ口錢ダトカ、或ハ又仕事ハ何モ  
シナide、指圖ダケヲシテ居ル、或ハ取次  
ダケヲシテ居ル所ノ物資統制會社、販賣會  
社、是ノ爲ニ形式ノ變ツタ擣取、寧口從來ヨ  
リハ質ノ惡イ擣取ヲ受ケテ居ル、ソレガ爲  
ニ大變ニ買フモノガ高クナツテ居ル、サウ  
シテ賣ルモノガ目ニ見エテ安イ、斯ウ云フ  
離農シテ行クト云フ、或ハ離農シナイマデ  
モ減產ニナルト云フヤウナコトニナルノデ  
行クコトハ出來ヌカラ、眞ニ已ムヲ得ズニ  
ヤウナ工合デ農業經濟ガ引合ハヌデ行詰リ  
ヲ來シテ居ル、何トシテモ此ノ儘デヤツテ  
シテ、事實常ニ前者ニ對シテハ同情ガ集リ、  
後者ニ對スル理解ハ得ニクイ、斯ウ云フ狀  
態デアルノデアリマス、ソレガ爲ニ生産ニ  
熱心ナ者達ガヤカマシク要求シテ居ルノ  
ヲ尻目ニ、政府ハ頻リニ性格上幾多ノ弊害  
ヲ包藏シテ居ル所ノ業者中心ノ所謂商業組  
合トカ、或ハ國策會社式ノ統制ニヤツテ行  
カレヨウトシテ居ツテ、殆ド生産本位ノ統  
制ト云フコトガ行ハレナイ、是ガ生産ノ減  
少ニ拍車ヲ掛ケテ居ルノデアリマシテ、洵

精神ヲ弛緩サセルノデアリマス、ヨク言フ  
コトデスガ、自ラ燃エズシテ他ヲ燃ヤス方  
法ハナイ、トハ茲デアル、吾々ガロヲ酸ク  
シテ增產ノ急務ヲ農民ニ懲ヘルケレドモ、  
ナツテ居ツテモマダサウ云フ風デアリマシ  
テ、此ノ大切ナ時ニ政府ノ掛聲ニ反比例シ  
テ、マダ逆ニ離農者ガ簇出シテ居ル、此ノ  
皮肉ナ現象ハ之ヲ雄辯ニ物語ツテ居ルト思  
フ、私ハ國家ノ前途ノ爲ニ洵ニ寒心ニ堪ヘ  
ナイト思フノデアリマス、斯ク申シマスト  
如何ニモ業者ニ對シテ無情ナ言ヒ分ノヤウ  
ニ聞エルカモ知レナイノデアリマスガ、此  
ノコトハ其ノ結果ニ於テ、丁度甘い人氣取  
リノ教員ガ教ヘタモノト、ソレカラ少々厭  
ヤガラレテモ誠心籠メテ戒メテ行ツタモノ  
所ノ眠リ口錢ダトカ、或ハ又仕事ハ何モ  
シナide、指圖ダケヲシテ居ル、或ハ取次  
ダケヲシテ居ル所ノ物資統制會社、販賣會  
社、是ノ爲ニ形式ノ變ツタ擣取、寧口從來ヨ  
リハ質ノ惡イ擣取ヲ受ケテ居ル、ソレガ爲  
ニ大變ニ買フモノガ高クナツテ居ル、サウ  
シテ賣ルモノガ目ニ見エテ安イ、斯ウ云フ  
離農シテ行クト云フ、或ハ離農シナイマデ  
モ減產ニナルト云フヤウナコトニナルノデ  
行クコトハ出來ヌカラ、眞ニ已ムヲ得ズニ  
ヤウナ工合デ農業經濟ガ引合ハヌデ行詰リ  
ヲ來シテ居ル、何トシテモ此ノ儘デヤツテ  
シテ、事實常ニ前者ニ對シテハ同情ガ集リ、  
後者ニ對スル理解ハ得ニクイ、斯ウ云フ狀  
態デアルノデアリマス、ソレガ爲ニ生産ニ  
熱心ナ者達ガヤカマシク要求シテ居ルノ  
ヲ尻目ニ、政府ハ頻リニ性格上幾多ノ弊害  
ヲ包藏シテ居ル所ノ業者中心ノ所謂商業組  
合トカ、或ハ國策會社式ノ統制ニヤツテ行  
カレヨウトシテ居ツテ、殆ド生産本位ノ統  
制ト云フコトガ行ハレナイ、是ガ生産ノ減  
少ニ拍車ヲ掛ケテ居ルノデアリマシテ、洵

精神ヲ弛緩サセルノデアリマス、ヨク言フ  
コトデスガ、自ラ燃エズシテ他ヲ燃ヤス方  
法ハナイ、トハ茲デアル、吾々ガロヲ酸ク  
シテ増產ノ急務ヲ農民ニ懲ヘルケレドモ、  
ナツテ居ツテモマダサウ云フ風デアリマシ  
テ、此ノ大切ナ時ニ政府ノ掛聲ニ反比例シ  
テ、マダ逆ニ離農者ガ簇出シテ居ル、此ノ  
皮肉ナ現象ハ之ヲ雄辯ニ物語ツテ居ルト思  
フ、私ハ國家ノ前途ノ爲ニ洵ニ寒心ニ堪ヘ  
ナイト思フノデアリマス、斯ク申シマスト  
如何ニモ業者ニ對シテ無情ナ言ヒ分ノヤウ  
ニ聞エルカモ知レナイノデアリマスガ、此  
ノコトハ其ノ結果ニ於テ、丁度甘い人氣取  
リノ教員ガ教ヘタモノト、ソレカラ少々厭  
ヤガラレテモ誠心籠メテ戒メテ行ツタモノ  
所ノ眠リ口錢ダトカ、或ハ又仕事ハ何モ  
シナide、指圖ダケヲシテ居ル、或ハ取次  
ダケヲシテ居ル所ノ物資統制會社、販賣會  
社、是ノ爲ニ形式ノ變ツタ擣取、寧口從來ヨ  
リハ質ノ惡イ擣取ヲ受ケテ居ル、ソレガ爲  
ニ大變ニ買フモノガ高クナツテ居ル、サウ  
シテ賣ルモノガ目ニ見エテ安イ、斯ウ云フ  
離農シテ行クト云フ、或ハ離農シナイマデ  
モ減產ニナルト云フヤウナコトニナルノデ  
行クコトハ出來ヌカラ、眞ニ已ムヲ得ズニ  
ヤウナ工合デ農業經濟ガ引合ハヌデ行詰リ  
ヲ來シテ居ル、何トシテモ此ノ儘デヤツテ  
シテ、事實常ニ前者ニ對シテハ同情ガ集リ、  
後者ニ對スル理解ハ得ニクイ、斯ウ云フ狀  
態デアルノデアリマス、ソレガ爲ニ生産ニ  
熱心ナ者達ガヤカマシク要求シテ居ルノ  
ヲ尻目ニ、政府ハ頻リニ性格上幾多ノ弊害  
ヲ包藏シテ居ル所ノ業者中心ノ所謂商業組  
合トカ、或ハ國策會社式ノ統制ニヤツテ行  
カレヨウトシテ居ツテ、殆ド生産本位ノ統  
制ト云フコトガ行ハレナイ、是ガ生産ノ減  
少ニ拍車ヲ掛ケテ居ルノデアリマシテ、洵

ナケレバナラヌト思フノデアルガ、之ニ對スル具體的ノ方法、此ノ二點ニ付テ伺ツク

ノデアリマス

○井野國務大臣 今日ノ狀態ニ於テ食糧ノ增産ヲ期シマス爲ニ、農村ニ於ケル集荷配給ノ機構ヲ生産者本位ニ總テ立テ行クト

云フ此ノ根本理念ニ對シマシテ、私ハ全ク同感デアリマス、サウ云フ風ニ總テ指導ヲ致シ、又サウ云フ風ニ色々ノ機構モ整備シテ參ツテ居ルノデアリマス、唯今日物ノ少

イ時ニ集荷サレマシタモノノ公平ニ分配シ、又資材等ニ付キマシテモ、入手シマシタ資材ヲ公平ニ分配スルト云フ爲ニハ、今

日ノヤウナ國策會社ト申シマスカ、國家ノ

一つノ機關トシテ集荷配給ノ機構ヲ持チマ

スコトハ、是ハモウ當然サウ行カナケレバ

ナラヌノデアリマス、何モ吾々ハ物資別ノ

國策會社ヲワザ～用ガナイノニ立テ、

徒ラニ手數料ヲ殖ヤス、ソンナ考ヘデハ少

シモ致シテ居ラナイノデアリマス、必要ナ

物ヲ必要ナ所ヘ集メルト云フニハ、ドウシ

テモサウ云ツタヤウナ機構デ行カナケレ

バ、從來ノ唯生産者ガ集ツテ居ル團體ダケ

デソレヲ完全ニ遂行シ得ラレルカト云フ

ト、得ラレナイ色々ノ事情ガアリマスカラ、

費者ノ結付キ等モ考ヘテ段々整理統合ノ方

向ニ向ツテ居ルト云フコトハ先程モ申上げ

タ通リデアリマス、唯北委員ハ農村ノ事情

アリマスガ、本年ノ減產、或ハ此ノ一二年

ノ減產ハ、サウ云ツタヤウナ機構ガ農村ノ

生産者ノ生産熱ヲ冷マス爲ニ起ルノダ、詰

リ離村ナンカモサウ云ツタヤウナコトカラ起ルノダト云フ御見透シデアリマスガ、私ハソレハ少シ違フノデハナイカ、今日農村ハ非常ニヤハリ增產熱ニ燃エテ居リマス、

昨年ノ如キモ私ハアノ勞力不足ノ農村ガ兎

モ角國家ノ要請ヲ能ク理解シテ、生産者團

體ハ生産者團體トシテ出來ルダケノ指導ヲ

行ヒ、ソシテ農民トモ能ク結付イテ作付ヲ

シテ吳レタト思ツテ居リマス、デスカラ作

付面積ハ昨年ハ吾々ガ豫期シタヨリモ非常

ニ良ク行ツテ居ルノデアリマス、唯其ノ後

ノ天候ガ御承知ノヤウニ惡イト云フ爲ニ思

フヤウナ作柄が出來ナカツタノデ、其ノ間

ニ於キマシテモ病害蟲ノ驅除、豫防、又其

ノ他色々ノ消極的障碍ヲ克服シヨウツル

増產熱ト云フモノハ、是ハ私ハ農村ヲ歩イ

テ見マシテ全ク涙グマシイ狀態ヲ見テ來テ

居ルノデアリマス、農民自體ガ色々ナ今日

ノ機構カラ來ル不平ニ依ツテ仕事ヲ怠ツテ

居ルト云フヤウナコトハ絶對ニナイト思ツ

テ居リマス、國家ノ爲ニ非常ナ熱ヲ以テ農

民ハ増產ニ進ンデ來テ居ルト私ハ思フ、隨

テ政府モ出來ルダケ農民ノ爲ニ有利ナ集荷

機構ナリ配給機構ヲ整備シテ行クト云フコ

トハ、是ハモウ政府ノ務メデアリマスカラ、

北委員ノ御述べノ通りデアリマス、サウ云

ツタ方向ニ私モ進ンデ行カナケレバナラヌ

トハ、是ハモウ政府ノ務メデアリマスカラ、

併シソレモ發達過程ニ於ケル色々ノ機構

ハ、段々トヤハリ生産者ヲ中心ニシ、又消

費者ノ結付キ等モ考ヘテ段々整理統合ノ方

向ニ向ツテ居ルト云フコトハ先程モ申上げ

タ通リデアリマス、唯北委員ハ農村ノ事情

アリマスガ、本年ノ減產、或ハ此ノ一二年

ノ減產ハ、サウ云ツタヤウナ機構ガ農村ノ

生産者ノ生産熱ヲ冷マス爲ニ起ルノダ、詰

スル具體的ノ方法、此ノ二點ニ付テ伺ツク

ノデアリマス

○井野國務大臣 今日ノ狀態ニ於テ食糧ノ

増產ヲ期シマス爲ニ、農村ニ於ケル集荷配

給ノ機構ヲ生産者本位ニ總テ立テ行クト

云フ此ノ根本理念ニ對シマシテ、私ハ全ク

同感デアリマス、サウ云フ風ニ總テ指導ヲ

致シ、又サウ云フ風ニ色々ノ機構モ整備シ

テ參ツテ居ルノデアリマス、唯今日物ノ少

イ時ニ集荷サレマシタモノノ公平ニ分配

シ、又資材等ニ付キマシテモ、入手シマシ

タ資材ヲ公平ニ分配スルト云フ爲ニハ、今

日ノヤウナ國策會社ト申シマスカ、國家ノ

一つノ機關トシテ集荷配給ノ機構ヲ持チマ

スコトハ、是ハモウ當然サウ行カナケレバ

ナラヌノデアリマス、何モ吾々ハ物資別ノ

國策會社ヲワザ～用ガナイノニ立テ、

徒ラニ手數料ヲ殖ヤス、ソンナ考ヘデハ少

シモ致シテ居ラナイノデアリマス、必要ナ

物ヲ必要ナ所ヘ集メルト云フニハ、ドウシ

テモサウ云ツタヤウナ機構デ行カナケレ

バ、從來ノ唯生産者ガ集ツテ居ル團體ダケ

デソレヲ完全ニ遂行シ得ラレルカト云フ

ト、得ラレナイ色々ノ事情ガアリマスカラ、

費者ノ結付キ等モ考ヘテ段々整理統合ノ方

向ニ向ツテ居ルト云フコトハ先程モ申上げ

タ通リデアリマス、唯北委員ハ農村ノ事情

アリマスガ、本年ノ減產、或ハ此ノ一二年

ノ減產ハ、サウ云ツタヤウナ機構ガ農村ノ

生産者ノ生産熱ヲ冷マス爲ニ起ルノダ、詰

スル具體的ノ方法、此ノ二點ニ付テ伺ツク

ノデアリマス

○井野國務大臣 今日ノ狀態ニ於テ食糧ノ

増產ヲ期シマス爲ニ、農村ニ於ケル集荷配

給ノ機構ヲ生産者本位ニ總テ立テ行クト

云フ此ノ根本理念ニ對シマシテ、私ハ全ク

同感デアリマス、サウ云フ風ニ總テ指導ヲ

致シ、又サウ云フ風ニ色々ノ機構モ整備シ

テ參ツテ居ルノデアリマス、唯今日物ノ少

イ時ニ集荷サレマシタモノノ公平ニ分配

シ、又資材等ニ付キマシテモ、入手シマシ

タ資材ヲ公平ニ分配スルト云フ爲ニハ、今

日ノヤウナ國策會社ト申シマスカ、國家ノ

一つノ機關トシテ集荷配給ノ機構ヲ持チマ

スコトハ、是ハモウ當然サウ行カナケレバ

ナラヌノデアリマス、何モ吾々ハ物資別ノ

國策會社ヲワザ～用ガナイノニ立テ、

徒ラニ手數料ヲ殖ヤス、ソンナ考ヘデハ少

シモ致シテ居ラナイノデアリマス、必要ナ

物ヲ必要ナ所ヘ集メルト云フニハ、ドウシ

テモサウ云ツタヤウナ機構デ行カナケレ

バ、從來ノ唯生産者ガ集ツテ居ル團體ダケ

デソレヲ完全ニ遂行シ得ラレルカト云フ

ト、得ラレナイ色々ノ事情ガアリマスカラ、

費者ノ結付キ等モ考ヘテ段々整理統合ノ方

向ニ向ツテ居ルト云フコトハ先程モ申上げ

タ通リデアリマス、唯北委員ハ農村ノ事情

アリマスガ、本年ノ減產、或ハ此ノ一二年

ノ減產ハ、サウ云ツタヤウナ機構ガ農村ノ

生産者ノ生産熱ヲ冷マス爲ニ起ルノダ、詰

スル具體的ノ方法、此ノ二點ニ付テ伺ツク

ノデアリマス

○北勝委員 百姓ハサウ云フヤウナコト

ニ拘ラズニ一生懸命ヤツテ居ルノダ、是ハ寶

隠其ノ通リナシデアリマスガ、併シ仕事ハ

怠ラズケレドモ制度ガ悪イ爲ニ效果ガ擧ラ

ナイ、ソシテ農業ガ引合ハヌ、ソレガ爲ニ離農

スル、斯ウ云フノデアリマシテ、其ノ見方

ニ付テハ同ジヤウナコトデアルガ、結果ニ

不平デ農民ガ生産ヲ手控ヘルト云フヤウナ

コトハ斷ジテアリマスセヌ、ソンナ日本ノ農

地ハナイト云フコトハ私モ能ク知ツテ居

ル、唯結果ニ於テサウ云フヤウナ達ヒガ生

ズルノダト云フコトヲ此ノ際一つ申上ゲテ

置キマス

○北勝委員 百姓ハサウ云フヤウナコト

ニ拘ラズニ一生懸命ヤツテ居ルノダ、是ハ寶

隠其ノ通リナシデアリマスガ、併シ仕事ハ

怠ラズケレドモ制度ガ悪イ爲ニ效果ガ擧ラ

ナイ、ソシテ農業ガ引合ハヌ、ソレガ爲ニ離農

スル、斯ウ云フノデアリマスセヌ、ソンナ日本ノ農

地ハナイト云フコトハ私モ能ク知ツテ居

ル、唯結果ニ於テサウ云フヤウナ達ヒガ生

ズルノダト云フコトヲ此ノ際一つ申上ゲテ

置キマス

○井野國務大臣 自作農創定ニ付キマシテ

ハ、私モ北委員ト全ク同ジ考へ方デアリマ

ス、是非サウ云ツタ方向カラ農地問題ヲ解

決シテ行クコトガ極メテ適切デアルト考へ

テ居ルノデアリマス、唯政府資金ガ非常ニ

少ナイカラ、自作農が出來ナイト云フコト

求ナノデアリマシテ、其ノ方法トシテハ色

アルケレドモ、私ハ現行ノ自作農創設ノ

方法ガ一番穩當デアツテ、又效果的ダト考へ

テ居ル、斯ウ云フ状態ト私ハ信ジテ居ルノ

付テ政府トシテハ出來ルダケノ努力ヲ拂ツ

テ居ルノ、斯ウ云フ状態ト私ハ信ジテ居ルノ

付テ政府トシテハ出來ルダケノ努力ヲ拂ツ

テ居ル、斯ウ云フ状態ト私ハ信ジテ居ルノ

ニナリマスト、無論サウ云フ點モ多少アラ  
ウト思ヒマスケレドモ、今日ノ状態カラ参  
リマスルト、各縣ノ要求ヲ取リマシテ其ノ  
要求ニ應ズル政府資金ハ相當ニ或ル程度出  
テ居リマス、唯實際ノ實行ニ當ツテ農地ガ  
非常ニ高イトカ、又色々ノ事情カラ地主ガ  
土地ヲ手放サナイト云フヤウナ狀態ガ種々  
介在シテ居リマスノデ、サウ云ツタ方面カ  
ラモヤハリ抑ヘテ行カナケレバナラナイト  
云フノデ、先般農地價格統制令デアルトカ  
色々ノ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、自  
作農創設ハ必ズシモ資金ダケカラ解決シテ  
行ツテハイケナイノデ、色々ナ方面カラ小  
作人ガ農地ヲ持チ易イ方向ニ導イテ參リタ  
イ、斯ウ思ツテ、或ハ荒地ノ開墾ニ付テハ  
自作農創設ヲ優先的ニ認メルトカ、色々ナ  
苦心ヲシテ、自作農創設ヲヤツテ居ル譯デ  
アリマス、デアリマスカラ資金關係ダケヲ  
非常ニ殖ヤシテ解決スルモノナラバ、ソレ  
モ一つノ方法デアリマスケレドモ、必ズシモ  
今日ノ情勢ハ資金ダケ殖ヤシタノデハ私ハ  
解決出来ナイ、斯ウ思ツテ居リマスノデ、  
○北(勝)委員 實ハ今ノ農林大臣ノ御答辯  
ト云フモノハ、是ハ少シ古イ答辯ダト思フ  
最近ノ情勢ト云フモノハサウデハナイ、先  
程セ申シマシタ通リ地主ノ頭モスツカリ變ツ  
テ來テ居ルシ、ソレカラ農村ニ居ル人達モ  
何トカシテ離農ヲ防止スルニハ土地ヲ持タ  
セテ自作農ニサセルヨリ外ハナイト考ヘテ  
熱心ニヤツテ居ルノデアリマスガ、事實ハ  
金ガナ、二三年モ前カラノ分ガマダ創設  
出來ナイ、是ハ事實ナンデス、昨年ノ議會

デシタカ、石黒前大臣ハソレヲ告白サレタ、  
實際此ノ資金ハ申請ダケノ金シカナイノダ  
ト言ハレテ居ツタノデアリマシテ、農村ノ人  
人ハ其ノ爲ニ幾ラ申込ンデモサウ云フコト  
ハ急速ニ運バナイノグカラト云フノデ、問  
題ハ促進セズニ居ルノデアリマス、政府ニ  
サウ云フヤウナ御用意ガ出來タト云フコト  
ガ分リマスルナラバ、是ハ大臣ノ御考ヘト  
ハ別ニ、立チ所ニ自作農ニ申込ンデ來ルモノ  
ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ  
付テハモウ一ツ御再考ヲ願ヒタイモノト思  
フノデアリマス

次ハ米ノ獎勵金ノコトデアリマスガ、此  
ノ獎勵金ニ付テハ、成ベク生産資金ニ使ハ  
セルト云フ政府ノ親心ニ對シテハ、私共能  
ク了承シテ居ルノデアリマス、併シ東北ト  
カ、北海道ノヤウナ昨年ノヤウニ凶作ニ遭ツ  
タ所ニ對シテマデモ之ヲ堅持サレルノデ非  
常ニ今困ツテ居ル、増産ニ一番大事ナ元手  
ハ身體デアル、自分ノ身體ヲ養フコトガ大  
切デアル、ソコデ農家ノ生活費ト云フモノ  
ガ生産ノ大事ナ要素トナルノデアリマス、サウ  
云フヤウナ關係デ之ヲ斯ウ云フヤウナ場合ニ  
限ツテハ一ツ生活費ニモ充テ得ルヤウニセ  
ヤウニ考ヘテ居ル次第アリマス

○北(勝)委員 農地對策トシテ四千万圓ノ  
金ヲ政府ハ持ツテ居ルガ、地方カラノ申請ガ  
少トイ云フコトデアリマスガ、併シ此ノ問  
題ニ對シテ眞劍ニ力ヲ御入レニナツタナラ  
バ、今議員提出案トシテ色々ナ土地ニ關ス  
ル法律案ガ出テ居リマスガ、是等ハ全部引  
込ムノダト私ハ思フ、ソコデ政府ハ金ダケ  
用意シテ居ルカラソレデ宜イトカ云フヤウ  
ナコトダケデ、ソコニ熱意ガ足ラヌノデハ  
ナイカ、是ハ寧ロ此ノ金ノ方ヲ餘り殖スノ  
ハ面倒ダカラ、成ベク自作農ノ問題ニ重點  
ヲ置カヌト云ツタヤウナ考ヘガ潛ンデ居ル  
ノデハナカラウカ、下ウモ此ノ農地問題ニ  
對シテハ私ハ齒痒クテナラヌヤウナ感じ  
ガスルノデアリマスカラ、モツトノ力ヲ  
入レテ貰ツテ、サウシテ更ニ此ノ金ノ消化

恩ヒマス  
○岸政府委員 只今大臣ニ御尋ネニナリマ  
シタ自作農ノ資金ノ問題デアリマスガ、是  
ハ政府ノ方ガ貸出サウトスル限度ハ四千万圓  
ニナツテ居リマスガ、ソレダケノモノハ資  
金ヲ使ツテ居ナイ、地方ハソレダケ申請シ  
テ來テ居ルシ、ソレカラ農村ニ居ル人達モ  
何トカシテ離農ヲ防止スルニハ土地ヲ持タ  
セテ自作農ニサセルヨリ外ハナイト考ヘテ  
熱心ニヤツテ居ルノデアリマスガ、事實ハ  
金ガナ、二三年モ前カラノ分ガマダ創設  
出來ナイ、所ニ依リマスト縣ノ方デ起債ヲ  
スル方面ノ關係カラ、圓滑ニ行カナイ所ガア  
リマス、サウシテ或ハ北君ノ御考ヘニナツ

○湯河政府委員 米穀生産獎勵金ノ使途ニ  
付キマシテハ、之ヲ成ベク生産方面ニ、農  
業再生産ニ用フベク指導致シテ居リマスガ、  
併シ凶作其ノ他災害ノ場合ニ於テハ、之ヲ  
生活ニ充テルト云フコトモ已ムヲ得ズト云  
スノデ、左様御承知ヲ願ヒタイモト思ヒマ  
ス

○北(勝)委員 農地對策トシテ四千万圓ノ  
金ヲ政府ハ持ツテ居ルガ、地方カラノ申請ガ  
少トイ云フコトデアリマスガ、併シ此ノ問  
題ニ對シテ眞劍ニ力ヲ御入レニナツタナラ  
バ、今議員提出案トシテ色々ナ土地ニ關ス  
ル法律案ガ出テ居リマスガ、是等ハ全部引  
込ムノダト私ハ思フ、ソコデ政府ハ金ダケ  
用意シテ居ルカラソレデ宜イトカ云フヤウ  
ナコトダケデ、ソコニ熱意ガ足ラヌノデハ  
ナイカ、是ハ寧ロ此ノ金ノ方ヲ餘り殖スノ  
ハ面倒ダカラ、成ベク自作農ノ問題ニ重點  
ヲ置カヌト云ツタヤウナ考ヘガ潛ンデ居ル  
ノデハナカラウカ、下ウモ此ノ農地問題ニ  
對シテハ私ハ齒痒クテナラヌヤウナ感じ  
ガスルノデアリマスカラ、モツトノ力ヲ  
入レテ貰ツテ、サウシテ更ニ此ノ金ノ消化

ガ十分行カヌト云フノナラバ、其ノ消化ノ出  
來ナイ原因ヲ突止メテ、一ツソレニ對處ス  
ルト云フ所マデ進ムノデナケレバナラヌト  
思フノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナ大切  
な時代ニ於テハ、一ツ農地問題ニモツト  
政府デモ力ヲ入レテ貴ハナケレバナラヌト  
思フノデアリマス

テ居ル程進ンデ居ラナイト云フコトガアル  
グラウト思ヒマス、尙ホ此ノ資金ヲモツト  
圓滑ニ運營スルト云フコトニ付テハ、吾々モ  
研究シタイト考ヘテ居リマス、自作農ヲ創  
設シテ行クト云フコトガ難農對策トシテモ  
必要デアルシ、增産上モ必要デアルト云フ  
コトハ私共モ考ヘテ居リマス、又其ノ貸付  
限度ニ付テモ、ドノ位ニスレバ宜イカト云  
フヤウナコトニ付テハ、更ニ事態ニ即シテ  
検討シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リ  
マスノデ、其ノ點ハ十分含ンデ検討致シタ  
イト考ヘテ居リマス

ソレカラ凶作地等ニ於テハ獎勵金ヲ生活  
費ニ充テテモ差支ヘナイト云フ今ノ御答  
ヘヲ得マシテ、私ハ大イニ満足シマス、ソ  
レハサウナケレバナラヌノデアリマスガ、  
之ヲ聞イタ農民ハ大驚喜ブグラウト思ヒマ

ヲ此ノ際伺ツテ置キタイノデアリマス、政  
府ガ此ノ乳價ヲ上ゲルコトヲ許サヌノガ本  
當デアルカ、或ハ製品ノ價格ヲ上ゲヌ爲ニ、  
ソレヲ口實ニ、乳價ヲ上ゲテモ宜イゾダケ  
レドモ、興農會社ガ上ゲヌノデアルカ、之ヲ  
一つハツキリ伺ツテ置キタイノデアリマス、由  
來興農公社ハ北海道ノ酪聯ト明治森永、極  
東是等ノ煉乳會社ガ所謂ノ企業合同ノ趣旨  
ニ依ツテ昨年合併シタノデアリマス、此ノ合  
併ニ際シテ各々會社ノ資產ヲ物價騰貴ノ今  
日ノ現在ノ價格デ評價シタ、而シテ合併前  
ノ資產ノ約四倍ニ見積ツテシマツタノデア  
リマス、即チ非常ニ水膨レノ資本ニシタ、而モ  
此ノ水膨レ資本ニ對シテ年六分ノ配當ヲ保  
證シタノデアリマス、ダカラ合併前カラス  
ルナラバ二割四分ノ配當ヲスルト云フコト  
ニナルノデアリマシテ、此ノ犠牲ハ必ズヤ  
農家ノ方へ來ルダラウト合併ニ當ツテ私共  
ハ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、果セル哉  
サウ云フ工合ニナツテ來ツツアルヤウデア  
リマス、公社ハ乳價ヲ日本一ニ安クシテ居  
ル、サウシテ自分ハ多大ノ利益ヲ上ゲナガ  
ラ未ダ足ラヌトシテ會社ノ利益バカリ考ヘ  
テ、サウシテ乳價ノ値上ヲ聲明シナガラモ  
之ヲ其ノ儘ニ放ツテ置ク、ソコデ農民達ハ  
コンナ位ナラ早ク牛ヲ賣ルノダツタト云フ  
譯デ、マルデ是ハ詐欺ニ掛ツタヤウナ感ジ  
テ居ルノデアリマス、ドウシテモ乳製品ノ  
値ガ上ガラナケレバ乳價ノ方ヲ上ゲヌト云  
フヤウナ考ヘデ、乳價問題ニ對シテハ恐ラ  
ク積極的ニ動イテ居ラヌ、政府ハ乳價ヲ上  
げサシタイト思フナラバ、乳製品ノ値ヲ上  
ゲロ、斯ウ云フヤウナ態度デハナイカト私  
ハ思フノデアリマス、サウ云フ工合デ牛ガ  
ドンヽ減ツテ行ツタノデアリマシテ、先

程農林大臣ハ内地ノ牛ハ減ラヌト言ハレタ  
ガ、ソレハサウデセウ、ケレドモ北海道ノ  
牛ノ激減振リト云フモノハ實ニ甚ダシイノ  
デアリマシテ、吾々ノ附近デハ殆ド牛ハ影  
ヲ潛メテシマツタ、私ノ居リマス所ハ元森  
永煉乳會社ノアツタ所デアリマシテ、可ナ  
リ大キナ工場ガ立ツテ居リ、百石以上ノ牛  
乳ヲ捌イテ居ツタノデアリマス、ソレガ最  
近ニナリマシテハ十石モアリハセヌ、一割  
シカナイノニ一方デハ農家ハ牛ヲドン／＼  
賣ツテシマフト云フヤウナ狀況ニナツテ居  
ルノデアリマス、此ノ北海道ノ乳牛ノ如キ  
ハ何十年間苦心ノ結果、アア云フ優良ノ  
改良牛ヲ作り上ゲタノデアル、又同時ニ數  
モ殖エテ來タノデアリマスガ、此ノ貴重ナ  
ル乳牛ヲ一朝ニシテ失フコトハ、是ハ洵ニ  
困ツタコトデアリマシテ、牛ハ一朝一夕ニ  
之ヲ殖ヤス譯ニハ行カヌ、鶏ヤ兔トハ違フ  
ノデアリマシテ、是ガ復活ニハ又何年ト  
掛ルノデアリマス、之ヲ今滅スト云フコト  
ハ大イニ國家ノ爲メ誠ニ採ラザル處デアリ  
マシテ、殊ニ目ノ前ニ控エテ居ルコトハ所  
謂大陸經營デアリ、或ヘ南方共榮園ノ乳製品  
ノ供出責任ハ日本ニ在ルト云フコトニナツ  
テ來ルノデアリマシテ、其ノ原料ノ基礎デ  
アル所ノ乳牛ヲ失フト云フコトハ、是ハ實  
ニ大キナ國家トシテノ損失デアリマシテ、  
而モ少々ノ年限デ之ヲ取返スコトガ出來ナ  
イノデアリマスカラ、ソコデ一ツ當局ハ我  
ガ國ノ乳牛ノ優秀ナル產地デアリ、又牛乳  
ノ非常ニ大キナ產地デアル所ノ北海道ノ乳  
價ノ値上ニ付テハ、ドウ云フ御考ヘヲ持ツ  
テ居ラレルカト云フコトヲ承ハリタイト思  
フノデアリマズ

他ノ地方ノ乳價トノ關係モ考へラレテ今マ  
デ決メラレテ居ツタノデアリマスガ、生産  
費ガ掛ルト云フコトヲヤハリ考慮シテ價格  
ヲ決メナケレバナラヌコトヘ當然デス、隨テ  
最近ノ色々ノ事情カラ北海道ノ生産費ガ高  
クナツテ居ルコトハ能ク分ツテ居リマスノ  
デ、此ノ値上ノ問題ハ一應サウ云フ風ナ方  
向デ研究ヲシテ居リマス、尙ホ先程モ御話  
ガアツタヤウニ、之ヲ上げレバ必ズ製品ニ付  
コトニナリマスト、全體ノ製品ノコトニ付  
響クカラ、製品ノ價格モ同時ニ考慮シナケレ  
バナラヌ、製品ノ價格ヲ考慮スルト云フ  
テ其ノ振合ヲ考ヘテ來ナケレバナラヌ、斯  
ウ云フヤウナ關係ガアリマスカラ、慎重ニ  
研究ヲシテ居ル狀態デゴザイマス

限令ノ下ヲ潛ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトハ私ハ許サレナイト思フ、此ノオウナコトハ断ジテ許スベキモノデヤナイト用フノデアリマシテ、是ハ所謂配當制限ノ趣旨ニ反スルモノデアル、合法的ニ配當制限ヲ免レルヤウナコトヲシテ居ルノニ、コンナコトヲ政府ハ認メテハ大變デアル、サウシテ局長ハ乳價ヲ上ゲレバ必ズ乳製品ノ價格ニ響キガ來ルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルコトハ大變ナ間違ヒデアル、先ヅ此ノ配當ヲ制限シテサウンシテ乳價ヲ上ゲテ、而モソレデ尙ホ足ラザル時ニ、初メテ乳製品ノ價格ヲ上ゲルト云フコトガ順序デアルト思フ、ソレヲ乳製品ヲ上ガケレバ乳價ヲトテラレヌト政府モ考ヘ、興農公社モソンナ態度ヲ執ツテ居ルカラ北海道ノ牛ハ段々減ツケナクテハナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、モウ一度農政局長ノ御意見ヲ承ハツテ見タイト思ヒマス

○岸政府委員 私申上ガタノモ決シテ愚圖愚圖シテ居ルト云フ意味デハアリマセヌ、先程申上ゲタヤウニ慎重ニ調べテ居ルト云フノデアリマス、ソレカラ興農公社ノ關係ハ、是ハ北海道廳が直接監督サレテ居ルノデスカラ、私共其ノ内容ニ向ツテ立入ルコトハ致シマセヌガ、併シ今仰シャツタヤウナコトニ付テハ十分考慮シテ、サウ云フコトハ決メナケレバイカヌダラウト思ツテ居リマス

○北(勝)委員 商工省ノ方ガオイデニナツテ居リマセウカ

○三善委員 省商工省ノ織維局長ハ今外ノ方ニ會議ノ爲ニ出掛ケテ居リマスカラ、今事務官ヲ呼シテ居リマスガ、事務官ガ或ハ

アナタノ質疑ノ時間中ニ出席出來ヌカモ知  
レマセヌ

○北(勝)委

係デ伺ツテ置キマス、政府ハ農村ニ對シテ  
菓子ノ配給ヲシテ居ラレルノアリマスガ、  
是ハ惡イコトデハナイト思フノアリマス、  
北海道デハ一人當リ三十錢ヅツノ菓子ヲ配  
給シテ居ルノアリマスガ、併シ是ハ全ク  
不經濟ナ行キ方デアリマス、少クトモ農村  
ニ對シテハコンナ行キ方ヲスベキデハナイト  
思フノアリマス、農家ハ色々ノ材料ヲ持  
ツテ居ルノアリマシテ、之ニ少シ砂糖ヲ  
加ヘサヘスレバ立派ナ子供ノオハツニナリ、  
或ハ菓子材料ニナルノアリマス、而モ何  
等手數ナシニ大事ナ菓子ノ材料アル小麥  
粉或ハ其ノ他ノ製菓原料ヲ使ハズニヤツテ  
行クコトガ出來ルノアリマスガ、サウス  
ルナラソレダケ小麥粉其ノ他ノモノガ浮イ  
テ來ル、菓子ニ與ヘルダケノ砂糖分ヲ砂糖  
ノ儘デ所謂單味配給ヲサレルコトガ極メテ  
私ハ適切ダト思フノアリマス、是ハ單ニ  
私ノ獨斷デハナイノアリマシテ、農村ノ  
一般ノ聲デアリマス、政府ハニ對シテ速  
カニ一ツ何等カノ方法ヲ執ツテ、サウシテ  
菓子ニシナイデ、砂糖デ配給スルト云フコ  
トニサレタラドウデスカ、人手ノ非常ニ足  
ラヌ今日ワザヽ菓子ニスル爲メ職工ガ大  
分要ルガ、而モ與ヘラレルモノハ配給デス  
カラ必ズシモ嗜好ニ合ハナイモノガ來ルノ  
デアリマシテ、農村デハ全ク是ハ有難迷惑  
ト云ツテモ宜イ位ダト思フノアリマス、  
サリトテ砂糖分ガナクテ宜イカト云フト、  
人間トシテノ最小限ノ砂糖分ガ要ルノデア  
リマスカラ、是ハ手數ノ掛ラナイ砂糖ノ儘  
デ配給サレルコトガ一擧兩得ダト思フノデ

アリマスガ、之ニ對スル御考ヘヲ承リタイ  
ト思ヒマス

デアリマスガ、御承知ノ通り砂糖ノ全體ノ配給數量ガ非常ニ激減シテ居ル、ソレノ配給ニ付テ大體申シマスト、家庭用トシテ配給各府縣ノ實情ニ依ツテ所謂府縣小口用トシリ外ニ菓子等ノ大口ノ加工原料用トシテ配給スルト云フコトヲヤツテ居リマス、御指摘ノヤウニ菓子ノ配給モ色々ヤツテ居ルノデアリマスガ、中々菓子ノ種類ガ多イトカ、生産ノ過程ガ複雜デアルトカ云フコトカラ致シマシテ非常ナ困難ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、農村ニ對スル菓子ノ配給ハ寧口原料トシテ配ツタラドウカト云フ點ニ付キマシテモ、是ハ只今申シマシタ所謂府縣小口用トシテ配給スルモノノ中ニ合セテ考慮シテ、縣廳ニ於キマシテ管内ノ實情ニ應ジテ、農村等ニ對シテハ一般ノ家庭用ノ配給ノ外ニ、府縣小口用トシテノ配給ヲ受ケテ、農村ノ實情ニ應ジテ考ヘテ行クト云フ尙ホ十分ニ検討シテ見タイト思ヒマス○北(勝)委員 私ハ纖維製品ノ問題、所謂衣料切符ノ問題デ御伺ヒシタイ、是ハ農林省トモ關聯ヲ持ツ問題ナノデアリマシテ、商工省ノ方ハ來テ居ラレヌヤウデアリマスガ、一つ能ク商工省ノ方ト農林省ト打合セヨシテ適當ナル御答辯ヲ願ヒタ。イト思フノデアリマス

ノデアリマス、働く者ハ働く者ヨリ着物ガ傷ム、是モ當然デアリマス、ソコデ農村ノ者ハ働く量ガ非常ニ多イ、或ハ又荒仕事ヲスル者ハ荒仕事ヲシナイ者ヨリモ着物ガ傷ム、是ハ當然デアリマス、又荒仕事ヲスル者ハ荒仕事ヲシナケレバナラスト云フヤウナ關係デ、寧ロ農村ニ衣料切符ノ點數ガ多ク來ナクテハナラヌ筈ダト思ヒマス、而モ非常ニ汗ニ塗レテ仕事ヲスルノデアリマシテ、如何ニ農家ト雖モ洗濯セズニ着物ヲ著ル譯ニイカヌ、汗ガ付ケバ汗ガ付クダケ洗濯ヲスル、洗濯スレバ品物ハ持タナイト云フヤウナコトニナツテ來ルノデアリマシテ、汗仕事ヲスル者ニ對スル特別ノ考慮ガ茲ニ出テ來ナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソニデ私が伺ヒタイノハ、作業衣ハ衣料切符ノ點數外ダト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、果シテソレニ間違ヒハナイカドウカ、又作業衣ト云フモノノ範圍ハ何處マデガ作業衣デアルカ、單ニ今マデ名稱ヲ付ケラレテ居ル所ノ上ニ着ル物、又上ニ穿ク物、是ダケガ作業衣ダト云フノデハ、是ハ意義ヲナサヌノデアリマシテ、少クトモ「シャツ」トカ「ズボン」下トカ、斯ウ云フヤウナモノハ作業衣トシテ認メナケレバナラヌノデアリマス、或ハ暑イ地方デハ上着ダケデ働く力モ知ラヌガ、北海道樺太デ上着ダケデヤツタノデハ直グニ凍ツテ死ンデ、ト暖地トノ差ニ付テモ、衣料切符ニ何カ差デハ二枚モ着ナケレバナラヌ、二枚ノ上ニガ出テ來ナクチヤナラヌ筈ダト思フ、暖地ハ「シャツ」ハ一枚デ通セルデセウガ寒地ハサウ云フモノガ入ルノカドウカ、更ニ寒地

「シヤツ」ニ類シタモノヲ三枚着ナケレバイカズ、所謂ラヌ、其ノ上ニ作業衣ヲ着テ、辛ウジテ寒サヲ凌グト云フ状況デアリマス、屋内デ働く人ト違ツテ、屋外デ働ク農業者ハ、實ハ着物ノ用意ガ常ニ餘計要ルノデアリマシテ、寒地ノ農民ニ於テハ殊ニサウデアリマス、ソコデ斯ウ云フ樺太トカ、北海道トカト云フヤウナ酷寒ノ地方ノ者ニ對シテ、何カ特別ナ方法ガ考ヘラレテ居ルノデアルカドウカ、又農林省トシテモ、所謂農業勞働、或ハ農業者ノ厚生上ノ關係カラ見テ、サウ云フコトハ當然要求スペキデアル、商工省ガ決メタノダカラソレデ宜イトシテ置クベキモノデハナイノデアリマシテ、是ハ當然要求スペキデアル、サウシテ農業者ガドン／＼活動ガ出来ルヤウニシナケレバナラヌト思フノデアリマス、實ハ私ハ此ノ間點數表ガ出テ居リマシタカラ、調べテ見マスト云フト、ドンナコトヲシテモ、如何ニ繼ギハギシテヤリマシテモ、寒地デハノ点數デハ凌グ方法ハアリマセヌ、更ニモウ一ツ考ヘテ貰ハナケレバナラヌコトハ、絹地ガ四分ノ一デアル、百姓ハ絹地ハ一ツモ當リマセヌ、内地ノ農家ナラドウカ知リマセヌガ、北海道ノ農家ハ絹物ハ一ツモ當ルモノデハナイノデアリマス、又絹物ハ百姓ノ仕事ヲスルノニ適當デアルカドウカト云フコトモ吾々ハ考ヘテ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウスルト、絹物以外ノモノデ點數ヲ減ズル方法ハナイ、オマケニ農村ノ商店等ニ現在保有サレテ居ル所ノ品物ハドウデアルカト云フト、經濟的ニ貧弱ナ人達ヲ相手デアリマスカラ、非常ニ値段ノ安い品デアル、所謂都會デドウシテモ賣レナイ粗惡ナ「スワ」製品ガ

農村ニ先ニ廻ツテ來ル、此ノ間、私ノ隣家ノ子供ノコトヲ聞イタノデアリマスガ、ソレハ五日ニ一足ヅツ足袋ガ要ル、ソンナ馬鹿ナコトハアルマイト思ツテ、見テミルト果セル哉、サウ云フ弱イモノデアル、穿ケルモノデハナイ、サウ云フモノガ農村ニ多ク廻ツテ居ル、商店等ニ於テハ、此ノ手持品ヲ賣ツテシマフマデハ恐ラク次ノ仕入ハシマセヌ、サウ云フ粗悪品モ點數ハ同ジナンデアリマスカラ、サウナルト、是ハ農村人ノ生キテ行ク道ガナイト云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ過渡期ニ於ケル農村ノ實情、商店ノ保有シテ居ル所ノ衣料ノ實情等ニ鑑ミテ、之ヲ緩和スル適當ナ方策ヲ農林省トシテハ立テサセナケレバナラヌグラウト思フノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ承りタイト思ヒマス

ノ供給等ノ不十分デアル點ハ、吾々トシテモ非常ニ遺憾デアリマスカラ、作業衣等ニ使ハレル特免品ノ増加ニ付キマシテハ、商工省トモ協力致シマシテ、今後出來ルダケ増加ト云フコトニ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス、寒暖地間ノ差異、屋内、屋外作業ノ差異、其ノ他絹地ニ亘ツテノ、衣料切符ノ運用ニ付テノ御指摘デアリマシタガ、是非不確實ナコトヲ申上ゲテハ甚ダ恐縮デアリマスカラ、商工省當局ト篤ト連絡致シマシテ、次ノ機會ニ御説明申上ガタイト思ヒマスカラ、左様御諒承願ヒマス

○北(勝)委員 農業保険ノコトデ一ツ伺ツテ見タイノデアリマス、農業災害ト云フモノハ、日本ノ南カラ北ニ亘ル長イ地域ニ於テハ、所ニ依ツテ非常ニ多ク災害ヲ受ケル所ト、少ク災害ヲ受ケル所トガ出来ルノデアリマス、ソレガ爲ニ、屢々災害ヲ受ケ易イ場所ニ居ル者ハ、非常ニ農家經營ガ不安定ニナルノデアリマス、ソコデ、サウ云フコトヲ防ぐ爲ニ農業保険ヲ用ヒナケレバナラヌト思フニモ拘ラズ、此ノ保険組合ノ地域ガ非常ニ狭イ、ソレガ爲ニ、災害ノ頻發スル地方デハ保険料ガ高過ぎギテ、ドウスルコトモ出來ナイ、又水害、冷害、旱害等、非ク農業保険ノ制度ヲ布イタケレドモ、役ニ常ニ廣イ範圍ニ亘ツテ災害ヲ受ケタ場合ニハ、極メテ微温的ナ保険料シカ貰ヘナイトテ、實際的效果ガナイト云フコトニナルノデアリマス、是ハ私ハドウシテモ全國的ナモノニシナクチヤナラヌト思フノデアリマス、ソレニハ、例ヘバ米デアルナラバ、米ノ價格ヲ決定スル時ニ、斯ウ云フヤウナ災害率立タヌ、保険事務ニ非常ナ手數ダケヲ掛ケ云フコトニナルノデアリマシテ、是デハ漸々農業保険ノ制度ヲ布イタケレドモ、役ニ常ニ廣イ範圍ニ亘ツテ災害ヲ受ケタ場合ニハ、極メテ微温的ナ保険料シカ貰ヘナイトテ、實際的效果ガナイト云フコトニナルノデアリマス、是ハ私ハドウシテモ全國的ナモノニシナクチヤナラヌト思フノデアリマス、ソレニハ、例ヘバ米デアルナラバ、米ノ價

ニ對スル一ツノ保険率ヲ定メテ、サウシテ農業者ニ米代ヲ支拂フト云フヤウナ方法ニ依ツテ、保険料ヲ生ミ出スコトヲ考ヘル、其ノ保険料ヲ基礎トシテ再保険料ヲ定メ政府ガ非常ニ大キイ額ノ保険料支拂資金ヲ作ツテ行クナラバ、大地域ニ瓦ル災害ノ場合ニ於テモ、十分ノ保険金ノ支拂ヲシテヤルコトガ出来ル、或ハ又屢、災害ヲ受ケル方面ニ對シテモ、是モ適當ナ救濟ヲシテヤルコトガ出来ル、イヤ冷害ハ入レマセヌノ、或ハ稻熱病ハ入レマセヌノト、ソンナ詰ラヌコトハ言ハナクテ、モ凡チヲ包含シテ立派ニ農業直チニ興ヘズニ農業團體等ニ蓄積サセル、保険ノ目的ヲ達シ得ルト思フノデアリマス、唯之ヲ一遍農家ニ興ヘタ金カラ取ラウトスルカラ面倒ニナルノデアリマシテ、之レヲニシテ蓄積サセル、其ノ蓄積サセタ分ヲ全國的ニ纏メタモノデ保険事業ヲヤルト云フニスルナラバ、本當ノ農業保険ノ目的ヲ達シ得ル、日本ノヤウナ細長イ地形ノ所ニ於テハ、斯ウ云フ保険制度デナケレバ役ニ立タヌト思フノデアリマス、近ク農業保険ノ制度ニ付テモ色々改正スペク考慮中ト云フ保険料ヲ別ニ直接納メルノデハナイ、生産費ノ中ニ保険料ヲ政府ガ組入レテアルソレイト思フノデアリマス、サウナレバ農家ハガ米價トナツテ居ルノデアリマスカラ、隨テ其ノ保険料分ヲ天引シタ殘額ヲ貰フコト

ガ當然ダト云フコトニナツテ、全國的ニ此ノ保険ガ巧ク行クト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シテ何カサウ云フヤウナ御考へガアリマシタラ此ノ際御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス  
○三浦（一）政府委員 今北サンカラ農業保険ニ付テノ非常ニ示唆ニ富ンダ御意見ガアリマスガ、其ノ内保険ノ施行地域ヲ廣汎ニシテ參ルト云フコトハ、是ハ保険ノ理論カラ言ヒマシテモ、又事業ヲ營ム實際ノ上カラ言ヒマシテモ御說ノ通りデアリマシテ、逐次其ノ方向ニ參リタイト思ヒマス、唯之ヲ一舉ニ法律デ強制スルト云フ譯ニモ行キマセヌノデ、逐次組合ノ設置地ヲ擴大シテ參リマシテ、段々擴ガツテ參ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ線ニ沿ウテ施行地域ヲ擴大シテ參リタイト思ヒマス、同時ニ施行地域ガ擴大シテ參リマシタナラバ、其ノ地域内ニ於ケル災害ノ程度、即チ危険率ノ測定ヲ精密ニシテ行クヤウニ進シテ參リタイト思フノデアリマシテ、此ノ點モ御説ノ通り段々改善シテ參リタイト思ヒマス、ソレカラ保険料ヲ一旦收ヌタ農民ノ収入カラ出スト云フコトデハ中々容易デナカラ、寧ロ米價ニ保険料ヲ組入レテ、サウシテ其ノ際ニ控除シテ之ヲ保険料ニ充テル方法ハドウカト云フ點デアリマス、是ハ私達御意見ヲ聽キマシテ、非常ニ農村ノ事情ニ適シタコトデハナイカト實ハ思フノデルノデハナイカト思ヒマス、併シ諸般ノ點モ考慮シナケレバナリマセヌガ、農業保険發展ノ爲ニ寄與スルト云フコトデアリマスレバ、是非トモ是ハ具體的ニ考究シテ見タ

イト思ヒマス、尙ほ冷害ノ點ニモ一寸觸レ付キマシテ一番問題ニナリマス東北、北海道ノ冷害ニ付テ何等施設ガナイト云フコトデアリマスガ、來年度カラハ特ニ冷害共濟事業ヲヤツテ、其ノ共濟金ノ不足ノ場合ニハ政府ノ助成竝ニ其ノ借入金ニ對スル利子補給等ニ付キマシテ、豫算外國庫ノ負擔ノ契約ニ依リマシテ政府カラ相當助成シ得ル途ヲ開キマシタカラ、今度ハ冷害ニ付キマシテモ鬼ニ角共濟制度ヲ進メ得ルコトニ一步進メタノデアリマス、此ノ點モ斯ウ云フ時局多端ノ際ニ色々議論モアリマシタケレドモ、當該地方ノ農業經營ヲ改善シテ參り、農村ノ民心ヲ昂揚サセルト云フコトニモ役立チタイト思ヒマシテ施設致シタ次第デアリマス、今後此ノ方面ニ付キマシテモ擴充ヲシテ参リタイ、此ノ點モ併セテ御諒承ヲ願ヒマス

シテ之ヲ受クル者、即チ地主デアリマスガ、小作者又ハ小作料ヲ取ル所ノ地主ハ命令ヲ以テ定ムルモノノ政府ニ賣渡スベシ、此ノ第三條ノ規定ニ依ツテ第八條ノ検査ヲ受クベク更ニ規定サレテ居ルノデアリマスガ、トニナツテ居ルノデアリマス、此ノ法案ニ從來此ノ土地ニ付キ權利ヲ有シテ小作料ヲ取ツテ居リマスル者ニハ生産者ガ定メラレタル検査ヲ受ケテ小作米トシテ納入スルコガ、少シク検査ヲ受ケル義務者ガハツキリシナイヤウニ考ヘマスノデ、此ノ點ヲ承リタイト思フノデアリマス

ソレカラ第十七條ノ出資者ノ資格制限デアリマス、「定款ヲ以テ出資者ノ資格ヲ制限スルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハドウ云フ風ナ方針ニ依ツテ資格ヲ制限セラレルカ、其ノ範圍ヲ承リタイノデアリマス、ソレト同時ニ中央營團及ビ地方營團ノ組織ノ内容並ニ是等ノ地方營團ノ資金ハドレ位ノ程度ニ考ヘテ居ラレルカ、此ノ點ヲ先づ第一ニ承リタイトノデアリマス○湯河政府委員第一ニ御尋ネガゴザイマシタ検査ノ義務者ノ問題デゴザイマスガ、シマスルナラバ米ヲ政府ニ賣ル義務ヲ負ツテ居リマスル第三條ニ規定シテ居リマスル者ガ此ノ検査ヲ受ケル義務ガアリマス、原則的に申問題ニナリマスノハ地主小作ノ關係ニ於テ、地主方義務ガアルカ小作人ガ義務ガアルカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ實ハ從來ノ例モゴザイマシテ、検査ヲ受ケル負担ガ何レニ歸屬スルカ、是ハ地主小作人間

ノ小作契約ノ條件ニモ關係スルコトト思  
ノデアリマスガ、從來カラ申シマスト米ヲ  
改良シテ儀裝等ヲ良クシテ出スト云フコト  
ハ米ガ高ク賣レルノデアルカラ、其ノ検査  
料ノ負擔ハ地主ガ之ヲナスペキデアルト云  
フ建前ヲ取ツテ居リマス、若シ地主ガ之ヲ  
ナサヌ時ニ於テハ必ズシモ小作人ガ検査ヲ  
強制サレナイト云フ建前ヲ取ツテ居リマス、  
法律ニ於キマシテハ是ハ兩者共ニ検査ノ義  
務ガアルコトニナツテ居リマスガ、從來ノ  
慣行等モ十分ニ斟酌致シマシテ、所謂獎勵  
金穀ニ依リマシテ必ズシモ小作人ニ無理ナ  
検査ヲ受ケルノ義務ヲ殘シテ行クコトヲシ  
ナイヤウニナツテ居リマス、併シ尙ホ政府  
ニ賣ラナイコトニナツテ居リマス 所謂地  
主ノ自家用米ヲ納メル小作人ガゴザイマス  
ガ、是等ニ付キマシテハ此ノ第八條ノ第一  
項ニ依リマセズ、第二項ノ規定ニ依リマシ  
テ政府が必要ヲ認メマシタ場合ニ其ノ検査  
ヲ受クベシト云フコトヲ規定スル考ヘヲ持  
ツテ居ルノデゴザイマス、是等ノ點ニ付キ  
マシテハ、勅令ヲ定ヌマス場合ニ十分實情  
ニ即應スルヤウナ考慮ヲ拂ヒタイト思ヒマ  
ス、其ノ次ハ出資者ノ制限ノ規定ガ中央營  
團ノ十七條ノ規定ニアルガ、此ノ運用ハド  
ウ云フ風ニスルカト云フコトデアリマス、  
應シカラザル者ガ出テ參リマンタ時ニ、之  
ヲ定款ヲ以テ制限シ得ル、サウ云フ規定ヲ  
作ツテ置カウト云フ趣旨デアリマス、初メ  
カラ非常ニ狹ク之ヲ限定スルト云フ考ヘハ  
ゴザイマセヌ、具體的ニヤツテ參リマス中  
ニハ、色々斯ウ云フ必要ガ生ズルグラウト

思ヒマスノテ、此ハ規定ヲ設ケテアル次第アリマス  
其ノ次ニ中央地方營團ノ組織内容ニ付テ  
ト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ一昨日來色  
御説明モアリマシタヤウニ、中央營團ニ  
於テハ日本米穀株式會社或ハ全國製粉配給  
株式會社、其ノ他全國的ニ配給ニ深イ關係  
ヲ持ツテ居リマスソレハノ機關ヲ此處ニ  
吸收致シマシテ、一方政府ノ半額ノ出資ヲ  
以チマシテ之ヲ構成致シタイト云フ考ヘヲ  
持ツテ居リマスシ、地方營團ニ於テハ、  
大體其ノ地方ノ實情ニ鑑ミマシテ主トシテ  
配給業者ヲ以テ之ヲ成立セシメル、尙ホ地方  
營團ニ於テハ、中央營團カラ出資ヲスルト云  
フ關係ヲ以チマシテ地方營團ヲ組織シタイ、  
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、  
地方營團ノ出資ハ大體ドノ位ノ見當ニナル  
カト云フ御尋ネデゴザイマスガ、是ハ地方  
營團ノ二十五條ノ規定ノ第二項ニゴザイマ  
ス、是ハ一々ノ地方營團ニ付キマシテ政府方  
具體的ニ宜シキ額ダケニ決メテ参リタイト考  
ヘテ居リ、全體的ニ考ヘマシテハ、地方營團ノ  
出資ガ八、九千万圓カラ一億万圓位ニナルノ  
デヤナイカト云フコトヘ考ヘマスガ、具體的ニ  
一々ノ營團ニ付キマシテノ資本金ハ、其ノ時々  
ニ決メテ参リタイト者ヘテ居リマス  
○森(幸)委員 第八條ノ検査デアリマスガ、  
小作者ニ検査ヲ強制的ニ受ケシメルト云フ  
コトハ、或ル場合ニ於テイケナイカラト云  
フヤウナ御説明ガ今アリマシタガ、實際ノ  
場合トシマシテ検査ヲセナケレバ搬出ヲ許  
サナイ、所謂無検査米ノ搬出ヲ許サナイ、  
検査場ヨリ地主ノ倉庫マデモ持出スコトガ  
出來ナイ、斯ウ云フ譯ニナツテ居ルノデア  
リマス、現在地方ニ依ツテ違ヒマスケレド

モ、検査ニ要スル経費ハ總チ、地主ガ負擔シテ居リマス、又等級ノ差ニ依ツテ獎勵金ヲ出サナケレバナラヌ場合ニ於テモ、地主ガ之ヲ負擔シテ小作人ニ渡シテ居ル譯デアラレンコトヲ希望スル次第デアリマス。次ニ御尋ネシタインハ、今度愈、米麥ノ検査ガ全然國營ニ移サレルコトニナツタ譯デアリマシテ、吾々ガ此ノ從來地方ニ依ツテ行ハレテ居ル検査ヲ國營ニシテ戴キタイト云フコトヲ希望シテ居リマシタコトガ、此ノ法案ノ成立ト共ニ、愈、國營ニナツタコトハ洵ニ結構ナコトト考ヘルノデアリマス、ソレニ付テ此ノ検査料ハドウ云フヤウニ徵收サレルノデアルカ、是ハ命令ニ依ツテ定メラレルコトニナツテ居リマスガ、現在ノ検査料ハ各府縣區々ニナツテ居リ、縣外移出ノ場合ト縣内消費ノモノニ付テ差ヲ設ケテ居ル所モ府縣ニ依ツテハアル譯デアリマスガ、此ノ検査ハ國家ガ其ノ米ヲ買取ル爲ニ必要ナル一ツノ手段トシテ行フ行爲デアリマスカラ、僅カナ検査料ナドハ徵收シナイト云フコトニスルノガ當然デアルト思フノデアリマス、且又此ノ検査ノ等級ハ今回四等級ニ改正サレテ居リマスガ、十六年度ヨリハ、從來ノ如ク耕ニ依ツテ検査ヲ受ケズシテ、目方ニ依ツテ受ケルコトガ許サレマスノデ、生産者トシテハ非常ニ好都合ニナツテ居ル譯デアリマス、從來米ノ等級ヲ査定スル場合ニ於テハ、含水分ニ重キヲ置イテ、此ノ米ハ如何ニ貯藏ニ堪ヘルカト云フコトガ主トシテ査定ノ標準ニナツテ居ツタ譯デアリマス、既ニ米ノ品種ハ大體ニ於テ地方的ニ

糺制サレ、改良サレテ居ルノアリマジテ、米質ト云フモノハ寧ロ其ノ乾燥程度ニ依ツテ等差ガ決マルト言ツテモ宜イノデアリスガ、此ノ乾燥程度ニ依ツテ目方ト耕數ガ六貫俵ニ入レル場合、十分ニ乾燥シタモノハ三斗八升デ十六貫ニナルガ、軟質米ハ四斗一升入レナケレバ十六貫ニナラナイト云フヤウナ譯デ、乾燥程度ニ依ツテ其ノ等差ガ付イテ來ル譯デアリマスカラ、重量検査ヲ實施サレル場合ニハ複雜ナル四等級ニ分ケテ検査ラスル必要ハナイト考ヘルノデアリマス、ソコデ検査料ハ國家が負擔シ、検査等級ニ付テハ、寧ロ、或ル一定ノ含水分ヲ持ツテ居ルモノ以上ヲ不合格トシ、其ノ以内ヲ合格トスルト云フ風ニ分ケテモ差支ヘナイト考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

ニ付テハ、茲ニ財政上ノ負擔モ相當掛カリマス、サウシテ検査手數料ヲドノ位取ルカト言ヒマスト、大體ノ見當デゴザイマスガ、米ニ付キマシテハ一俵五錢五厘、小麥、裸麥ニ付キマシテハ三錢五厘、大麥ニ付キマシテハ三錢、斯ウ云フ方針ヲ立テ居ルノデゴザイマス、是ハ從來各地方ノ區々ナツテ居リマシタ手數料全體ヲ見渡シテ見ルト、先づ妥當ナ所デハナイカト思ツテ居リマス、尙ホ米ノ標準生産費ノ入ツテ居リマス検査手數料ノ實費ハ一石約十七錢デゴザイマス、是ハ米ニ致シマシテモ六錢以上ニナルノデアリマス、ソレニ比ベマスト此ノ位ノ負擔ハ是ハ生産費計算ヲ致シマシテ、ソレヲ土臺ニシテ政府ノ買上價格ヲ決定シテモ現在ニ於テハ差支ヘナイ、斯ウ云フ風ニ存ジテ居リマス、ソレデ尙ホ端的ニ申セバ、若シ此ノ手數料ヲ拂ハヌト云フコトニボス影響ハ米價ヲ現在ノ儘ニ致シマシテ手數料ヲ從來ヨリモ高カラザル限度ニ於テ全國一率ニ取ル方ガ適當ダト認メマシテ、斯ルノ等級區別ハ不要デハナイカト云フ御議ウ云フ方策ヲ採ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ検査ガ今度統一的ニ行ハレルニ付テ、殊ニ最近重量検査ニナツテ四等級ノ等級區別ハ不要デハナイカト云フ御議論ガゴザイマス、實ハ昨年ノ秋等級銘柄ノ整理ヲ致シマス際ニ、サウ云フ點モ十分考據致シタ譯デアリマスガ、一時ニサウ整理モ

出来マセヌノデ、從來ノモノヲ三等、等外トシマシテ、餘り激烈ナル變化ヲ生ズルコトニ銘柄ヲ非常ニ改メマシテ、地方ノ小銘柄ハ却テ宜シナクトイ思ツテ居リマスカラ、ヲナクシタノデアリマス、是等ノ點カラ致シテ、サウ云フ不必要且ツ煩瑣ナル要素ヲ漸次ナクシテ參リタイト考ヘテ居リマス、今後検査ヲ國ニ於テ統轄シテ參リマスト、検査上色々指導スル點ガ多イノデゴザイマシテ、サウ云フ不必要且ツ煩瑣ナル要素ヲ漸次ナクシテ參リタイト考ヘテ居リマス、〇森(幸)委員 次ニ大臣ニ伺フノデアリマスガ、昨日來、東亞共榮圈ガ確立致シマシテモ外米依存脱却ト云フコトヲ我ガ國米作ノ理想トシテ進マケレバナラナイト云フ御議論モ各議員ヨリアリマシタ、又政府ニ於カレマシテモ國內ニ於テ自給自足ノ計畫ヲ將來持ツテ行クト云フコトヲ理想トシテ御考ヘニナツテ居ラレルヤウニ考ヘルノデアリマス、所ガ固ヨリ我ガ瑞穂ノ國ト致シマシテ外米依存脱却ハ理想トシテ考ヘナケレバナラヌコトデアリマスガ、果シテ長キ將來ニ向ツテ是方持続シ得ラレル問題題アラウカト云フコトヲ考ヘマスルト、ソコニ一抹ノ不安ガアルノデアリマス、現在耕地面積ノ増減ヲ見マシテモ、新シク開墾セラレルモノモアリ、又地目ノ變換サレルモノモアリマスルガ、鐵道、道路、工場等ノ關係上漬地ニナル土地モ相當アルノデアリマス、過去ノ實績ヲ見マシテモ、昭和十一年カラ昭和十五年八月八千七百四十三町歩ト云フモノガ減ジテ居リマス、ヤハリ文化ノ進ムニ從ツテ耕地ガ殖エルヨリモ寧ロ減ルト云フコトヲ覺悟シナケレバナラスト思フノデアリマス、サウシテ殖エル土地ヘ新シキ處女地デアリ、將

日トシテ電力其ノ他原料資材ノ不足ノ關係  
上是モ已ムヲ得ナイト思ヒマスルガ、斯ウ云  
フ條件ノ下ニ於テドウシテ外米依存ヲ脱却  
シテ我ガ限ラレタル耕地ニ於テ、此ノ米ヲ  
將來維持シテ行クカト云フコトヲ考へル時  
ニ非常ニ不安ニ存ズルノデアリマス、殊ニ  
我ガ日本ハ瑞穂ノ國ト稱セラレ、瑞穂米トシ  
テ國內ノ米ニ依ツテ國內人ハ長イ間養ハレ  
テ來タノデアリマシテ、一時已ムヲ得ナイト  
ハ云ヒマスケレドモ、外米ノアノ味ノナイ米  
ニ依ツテ生活スルト云フコトハ、將來ハ成  
ベク避ケテ、國民ニハ良イ米ヲ食ベサセタ  
イト云フ氣持ヲ持チマス、殊ニ考ヘナケレ  
バナラヌコトハ、將來東亞ノ共榮圈ニ生産  
シマスル米ノ品質ノ改善ト云フコトデアリ  
マス、例ヘバ臺灣ノ蓬萊米ト云フモノガ研  
究ノ結果生産サレマシタガ、ソレハ我ガ内  
地米ト少シモ變ラナイ、又半島ニ於キマシ  
テモ品種ノ改良ニ依ツテ内地米ニ優ル所ノ  
立派ナ品種ガ出來テ居ルノデアリマス、  
南方外國ニ如何ニ米ガ生産サレマシテモ、  
今日輸入サレテ居ルヤウナノ品質ノ米デ  
アリマシタナラバ、長ク將來我ガ日本ノ内  
地ニ之ヲ利用スルト云フコトハ餘程考ヘナ  
ケレバナラヌト思フノデアリマス、而シテ  
私ハ外地ニ於テ色々研究ヲ重ネマシテ、アノ  
立派ナル蓬萊米ノ如キ品種ノ改良ヲ將來企  
テテ行カナケレバナラナイ、斯ウ云フコト  
ヲ考ヘルノデアリマス、「タイ」ノ米ノ状況  
ヲ見マシテモ、全ク原始的ナ生産狀態デアリ  
マシテ、栽培ト云フヨリモ寧ロ一定ノ場所  
ニアノ草ヲ植エテ、サウシテソレノ種ヲ集  
メテ内地ヘ持ツテ來ル、斯ウ言ツテモ宜イ  
ヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ  
風ナコトヲ考ヘル時ニ、苦シイ無理ヲシテ

外米依存脱却ト云フコトヲ理想トシテ考へ  
テ行ツテ宜イモノデアラウカト云フコトヲ  
私ハ考ヘルノデアリマス、大臣モ内地ニ於  
テ自給自足ノ途ヲ立テナケレバイカヌト云  
フコトヲ御説明ニナツテ居リマスケレド  
モ、此ノ事タルヤ、宜イコトデハアルガ、  
實際問題ト致シマシテハ非常ニ困難ガアル  
ノデハナイカト思フノデアリマス、今日マ  
デ肥料ニ依ツテ米ノ生産力ヲ維持シテ來タ  
コトハ、過去ニ於ケル獎勵ノ方針ニ非常ナ  
誤リガアツタト私ハ思フノデアリマス、二  
十年過去ノ米ノ生産力ト今日ノ生産力トヲ  
見マスト、餘程進シニハ居リマスケレドモ、  
收穫ノ増加シタダケソレダケ地力ガ肥エタ  
カト申シマスト、地力ハ肥エテ居ラナイ、  
地力ハ寧ロ瘦セテ居ルノデアリマス、ドウ  
シテモ是ハ地力ヲ殖ヤシマシテ、サウシテ  
生産ヲ落付ケル、斯ウ云フコトニシナケレ  
バナラヌト思フノデアリマス、是ハ金肥萬  
能ニ馴致サレマシタ農耕法ヲ、自給肥料ノ  
方面ニ改メテ來ナケレバナラヌ、自給肥料  
或ハ客土法或ハ燒土法ニ依リ、或ハ深耕法  
ニ依ルトカ云フ風ニシテ地力ヲ殖ヤシテ行  
カナケレバ途ガナイト考ヘルノデアリマス、  
而モ農林省ハ昨年以來無畜農家ノ解消スル  
ヤウニ御心配ニナツテ居リマスガ、家畜ニ  
於キマシテモ自給飼料ニ依ル牛デアルトカ  
或ハ羊デアルトカ云フヤウナモノガ最モ適  
當ト思フノデアリマスガ、此ノ家畜ノ獎勵  
ニ付テ今日一番難儀ヲ致シテ居リマスコト  
ハ指導者ノ缺乏デアリマス、是ハ農林省ニ  
ト思フノデアリマス、今回ノ獸醫ノ年齢低  
下ト云フヤウナコトモ、斯ウ云フ方面カラ  
考ヘラレタコト思ヒマスガ、指導者ガナ

イノニアリマス、此ノ事變ガ始マリマシテ  
カラ畜産技術員ハ殆ド應召サレマシテ、指  
導スベキ技術者ガ全ク居ラナイ、斯ウ云フ  
コトガ有畜農業ヲ普及スル上ニ於テ非常ナ  
妨害ヲ成シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ  
點ニ付テ政府ハドウ云フ風ニ處置サレント  
スルノデアルカ、外地米依存ヲ脱却セントス  
ル何等カノ方策ガナイカト云フコトヲ先程  
西川委員カラモ御質疑ニナツテ居リマスガ、  
私ハ凡ユル方策ヲ以チマシテモ長イ間ノ  
將來ニ於テ此ノ外地米依存脱却ト云フコトニ  
ハドウシテモ困難デアルカラ、寧ロ今ヨリ  
手ヲ着ケテ外地米ノ品質改良ト云フコトニ  
依ツテ内地米ヲ補給スルヤウナ方法ヲ考  
ヘル必要ガアラウト思フノデアリマス、又  
一面ニ於テ地力ノ増進ノ上ニ於テ、此ノ有  
畜農業ト云フコトヲ徹底的ニ農家ニ普及サ  
シテ行クコトガ必要ダラウト思ヒマスガ、  
此ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思  
ヒマス

ケデナク、日本精神ニ燃ユル人的資源ノ培養地デアルト云フコトカラシテモ、日本農村ノ確立ヲ圖ツテ行カナケレバナラヌコトハ此ノ際ハツキリシテ置カナケレバナラヌ、ソレニハヤハリ食糧ノ上カラ見マシテモ、内外地、更ニ満洲等ヲ通ジマシテ、此ノ食糧ノ自給自足ト云フコトヲ然フバ其ノ食糧ノ自給自足ニ對シテ從來ノ耕地ノ壞滅ノ状態、又ハ肥料等ノ關係カラ見ア、ソレ程ノ確信ガ持チ得ルカドウカト云フ點ガ御所見ノ前提ニナツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレハ昨年ノ議會ニ於キマシテ、農林省ト致シマシテハ農地開發法ヲ提案致シマシテ、第一期十二箇年ニ亘ル食糧ノ自給強化ノ施設ヲ樹立致シタノデアリマス、ソレニ依リマスト約五十万町歩ノ田畠ヲ開墾シテ反當リ收量ヲ殖ヤスト云フ行キ方ト並行シマシテ、十二年後ニハ米ガ一千百万石、麥ガ一千二百万石デアリマシタカラ増産致シマシテ、人口增加ニ即應致シマシテ自給自足ガ出來ル、斯ウ云フ體制ヲ執リ、其ノ後農地開發營團ヲ作リマシテ着々今日デハ其ノ途ニ進ンデ居ルノデアリマス、之ニ必要ナル豫算モ大藏省ハ今日財政上色々シオ中ヲ特ニ本年モ認メテ吳レマシテ、現在デハ其ノ方向ニ進ンデ居ルノデアリマス、隨テ壞滅耕地モアリマスガ、ソレヲ克服シテ更ニ耕地ハ増シテ行ク狀態ニナツテ居リマス、而モ五十万町歩ノ開墾地ト云フモノハ、唯數字ノ上ノ開墾地ニアラズシテ、具シテ居リマスカラ、ソレガ豫定通り進ンデ

參リマスレバ、自給自足ト云フコトハ決シテ、  
アリマス、併シ外米依存脱却ト云フコトモ、  
私ハ全然外米ヲ考慮シナイト云フノデハナ  
イノデアリマス、自給強化、自給自足ト云  
フコトハ、内外地ヲ通ジテノ内地人口ヲ、  
先ヅ原則トシテ内地米ニ依ツテ養フ、併シ  
農作物ニハ豊凶ガアルノデアリマスカラ、  
其ノ年ニ依ツテ或ハ食糧ノ足リナイ場合モ  
アルト云フコトヲ考慮ニ入レマシテ、外米  
ハ各地ニ於テ共同貯藏ラスルコトガ一番今  
日デハ適切デアル、ダカラ共榮圈内ニ於テ  
米ガ内外地以外ノ地ニ於テ出來マシタモノ  
ハ、内外地以外ニ於テ分散的ニ共同貯藏ヲ  
致シテ置クト云フ方針ノ下ニ進ンデ參リタ  
イト思フノデアリマス、今御説ノ中デ内地  
ノ自給ノ強化ガ必ズシモ容易デナイ、隨テ  
佛印「タイ」等ニ於テ蓬萊米其ノ他ノ内地米  
ニ類スル米ノ栽培ヲ寧ロ獎勵シテ、サウシ  
テ内地ノ不足ノ分ヲ補フト云フ方策ヲ考ヘ  
タラドウカト云フ御意見ハ、是ハ屢々色々  
ナ方カラモ私ニサウ云フ御意見ヲ御申出ニ  
ナルノデアリマス、併シ現在私ハ斯ウ云フ  
風ニ其ノ點ニ付テハ考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、内地米ニ類スル米ト云フモノハ、内地  
ニ於テノ需要ニハ適シマスガ、内地以外ノ  
地ニ於テノ需要ニハ寧ロ適サナイ、外米式  
ニ所謂水分ノ少イアノ米ガ、内地以外ノ諸  
地域ニ於テハ寧ロ適スルノデアリマス、隨  
テ「タイ」佛印ノ米ニ付キマシテモ、之ヲ東  
亞共榮圈内ノ豫備貯藏ノ問題ニ當テ、又更  
ニ内地以外ノ共榮圈ノ人々ニ之ヲ以テ補給  
スルト云フ建前カラ見マスルト云フト、内地  
米ニ類スル米ニシテシマツテハ融通ガ付カナ  
クナル、内地ガ何時デモ足リナイト云フナラ

ベ、是へサウ云ツタ方向ニ進ムコトガ必要デアリマスガ、豫備的ニ、而モ内地以外ノ東亞共榮圈内ノ人々ニ之ヲ向ケ、更ニ必要ノアル場合ニハ、東亞共榮圈外ニ之ヲ輸出スルトマスカラ、サウナルト佛印「タイ」其ノ他ノ方面ノ米ト云フモノハ、ヤハリ現在ノ品質ノ蓬萊米、其ノ他内地米ニ類スル米ニ變ヘテ行クコトハ、需要供給ノ關係カラ行キマシテモ、寧ロ危険デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ現在ノ農林省ノ方針ト致シマシテハ、飽クマデモ内外地人ガ食スル内地米ハ、内外地ヲ以テ自給自足シ、「タイ」佛印等ノ所謂外米ハ、是ヘ内地ノ補足用、又ハ貯藏用ニ之ヲ當テ、而モ其ノ品種ハ内地以外ノ何處ヘデモ融通ノ付ク米ノ品種ニシテ置キマシテ、此ノ食糧ヲ向ケ同貯藏ニ依リ、或ハ輸出ニ依リ、或ハ共榮圈内ノ交流ニ依リマシテ、此ノ食糧ヲ向ケテ行クト云フ方針ガ、今日ニ於テハ適切デアルト私共ハ信ジテ居ルノアリマス、デアリマスカラ先般來申上ゲテ居リマスヤウニ、主要食糧ニ付キマシテハ、ドウシテモ自給自足ノ態勢デ進ミ行カナケレバナラヌシ、又進ミ行ク自信ヲ持ツテ居ルト云フコトヨ此ノ機會ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスシテハ、又サウ云フ風ナ理想ヲ御持チニナツテ居ラレルコトモ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、是ヘ恐ラク時ガ解決シテ吳レル問題ト私ハ思ヒマス、今日十年、十五年、二十年

ノ後ヲ考ヘテ見マシテ、恐ラク此ノ自給足ガ内外地ニ於テバ付カヌコトニナリハシ  
ナイカト恩フノデアリマス、是ハ意見ノ相違デアリマスガ、ソレヲ私ハ心配致シマス  
ガ故ニ、地力ノ増進ト云フコトヲ考ヘテ行カ  
ナケレバ、ナラヌト思フノデアリマス、今日  
日本ノ農耕地ガ極度ニ疲弊致シテ居リマス  
コトハモウ申上ゲルマモナイト思ヒマス  
ガ、其ノ耕地ニ今回肥料ノ潤澤ニ廻ラナイ  
ト云フ四圍ノ環境ニアリマス以上ハ、容易  
ナラヌ問題ガ茲ニ起リハシナイト思フノ  
デアリマス、今マテ各委員ノ御質問ニモア  
リマシタ通り、肥料ハ少イ、サウシテ増産  
ヲ確保シナケレバナラナイ、如何ナル施設  
ガアルカト云フ、此處ヲ質問ノ要點トサレ  
テ居ルノデアリマスガ、中々是ハ不可能ナ  
問題ト思フノデアリマス、ドウシテモ一日  
早ク手ヲ着ケレバソレダケ效果的ニ行クノ  
デアリマスカラ、速カニ此ノ地力増進ノ方  
面ニ一段ノ力ヲ致シテ戴キタイ、ソレニ今  
申上ゲマシタヤウナ有蓄農業ヲ獎勵シヨウ  
ト致シマシテモ、牛ガ少イ、或ハ指導者ガ  
ナイト云フ惱ミニ襲ハレテ居ルト云フ譯デ  
アリマスノデ、此ヲ此ノ際一日モ早ク解消  
シテ戴キタイト思フノデアリマス、又外地  
米ノ品種改良ニ付テハ御意見ヲ承リマシテ、  
成程内地ニ要ラナイトシマスト、彼等ハ改  
良致シマシタ米ノ處理ニ持テ餘スト云フコ  
トニナル譯デアリマスガ、是ハ決シテ左様  
ナモノデハナイ  
  
(濱地委員長代理退席、委員長着席)

ノ自給自足的ノ米ノ品種ノ改良ト云フコトニ今カラ手ヲ着ケル必要ガアリハシナイカ、斯様ニ考ヘル譯デアリマス、是ハ大臣ト考ヘ方ガ違ツテ居リマスカラ、強イテ申上ゲル譯デハアリマセヌ

ラヌ今日ニ於キマシテハ、サウ云フ施設コ  
ソ更ニ擴大サレマシテ、サウシテ折角科學ノ  
力ヲ増産方面ニ注イデ戴キタイト思フノデ  
アリマスガ、此ノ點ニ付テノ御所見モ承リタ  
イト思ヒマス

○森(幸)委員 最後ニ一ツ承リタイコトヘ、  
今日ノ農業状態ト致シマシテ、肥料ノ不足  
致シテ居ル關係上固ヨリデハアリマスルガ、  
集約的農業デアリマス、此ノ集約的農業ノ  
上ニ於キマシテハドウシテモ勞力ト云フモ  
ノガ最モ必要ナル役割ヲ負シテ居ルノデア

最モ必要ナヤリ方ト考ヘルノデアリマス、  
米ノ點ニ付キマシテハ先般石富リ五圓ノ増  
産獎勵費ガ出マシテ、農生産者ト致シマシ  
テハ非常ニ氣持ノ良イコトデ、國家ガ吾々タ  
ノ事業ヲソコマデ重要視シテ吳レル、モツ  
ト國家ニ對シテ御奉公セナケレバナラヌト

ノ關係ノ極メテ密接デアリマスコトハ御説ノ通リデアリマス、唯今日全國、更ニモツト廣イ區域ニ瓦ル氣象ノ問題ト云フコトハ、國防上非常ニ大キナ問題デアリマシテ、現在戰爭致シテ居リマスノデ、唯一部門カラノミ之ヲ利用スル譯ニハ行カナイ時代ニ今日ハ直面シテ居ルノデアリマス、此ノ氣象ヲ作戰ノ上カラ行キマシテモ、其ノ他色々ノ關係カラ見テ、ドウシテモ統制的ニヤツテ行カナケレバナラナイト云フコトデ、現在デハ企畫院ヲ中心トシマシテ、之ニ對スル統制ヲ現在ヤツテ居ルノデアリマス、隨テ農林部門ニ於キマシテモ色々々調査ハ無論ヤツテ居リマスガ、コチラダケデ色々々ノコトヲヤルト云フ譯ニハ行カナイ關係ガアリマスノデ、色々ナ點ニ拘束ヲ受ケテ、經費等モ十分ニ得ラレナイ實情ニアルノデアリマスガ、併シ農林省ニ關シマスル範圍ニ於キマシテハ、出來ルダケヤハリ冷害等ノ豫知ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、昨年來或ハ専門家ヲ集メ、或ハ種々ノ調査資料ヲ集メマシテ、農林省自體デモ色々研究致シテ、其ノ大體ノ結論ヲ持ツテ對處シテ居ルノデアリマス、隨テ今御話ノヤウニ、文部省ニ是ガアルカラト云ツテ出來ヌト云フヤウナコトニハナツテ居リマセヌ、事實農林省トシテ必要ガアレバ、企畫院ヲ通ジテ色々ノ資料ガ戴ケルヤウニナツテ居リマス、其ノ點ハ御心配ナイト思ヒマス

リマス、然ルニ勞力ノ需給關係ガ、農村ニ  
於テ非常ニ賃銀ヲ安ク決メラレテアリマシ  
テ、先般公報ニ依ツテ發表サレマシタ農業、  
或ハ養蠶、其ノ他ノ賃銀ヲ見マシテモ非常  
ニ安い、是ハ工業ノ發達ニ依リマシテ非常  
ニ勞力ガ不足シテ居リマス場合、又官業、或  
ハ縣ノ事業等ニ勞力ヲ必要トシマス場合ニ  
於テハ、尙更勞働力ノ缺乏ヲ懲ヘル譯ニア  
リマス、此ノ點ニ付テハ十分食糧増産ノ重  
要性カラ考ヘテ見マシテ、勞働賃金ト云フ  
ヤウナコトニ付キマシテハ、固ヨリ今日ノ農村  
カナケレバナラスト思ヒマス、此ノ點ニ付  
テノ御意見ヲ承リタイ、又次ニ生産ヲ増  
加スルニ付キマシテハ、固ヨリ今日ノ農村  
ト致シマシテハ、價格ガ高イカラ増産ヲス  
ル、安イカラ生産セナイト云フヤウナ、サ  
ウ云フ外道ニ陥ツタ考ヘヲ以テ農業生産ニ  
ハ從事致シテ居リマセヌ、金ヲ儲ケタカラ  
タラ百姓ナンカセヌ方ガ宜イノデス、金ヲ  
儲ケルト云フヤウナコトハ百姓トシテハ中  
困難デ、更ニ金ヲ儲ケルナラ、モツト樂  
ヲシテ遊ンデ居テ錢ヲ儲ケルヤウナ方法ガ  
考ヘラレナイコトモナイト思フノデアリマ  
ス、決シテ農地生産者ハ、生産物ガ高イカ  
ラ餘計取ルノ、安イカラ取ラナイノト云フ  
ノ立場カラ考ヘテ見マシテモ、其ノ純ナ  
コトヘ致シマセヌ、ケレドモ吾々指導致シマ  
ス上カラ考ヘテ見マシテモ、或ハ又國家

云フ氣持デ一生懸命ニ生産致シテ居リマスルガ、此ノ價格ノ御發表ガ一寸時機ヲ失シタト思フノデアリマス、固ヨリ先程申シマシタヤウニ、高イカラ作ル、安イカラ作ラヌト云フヤウナ氣持デハシテ居リマセヌガ、アレガ苗代ヲ作ル頃、少クトモ二三月頃ニ御發表ニナツタノデアリマスレバ、非常ニ勢ヒ付イテ、喜ンデ一層生産ニ從事シタノデハアルマイカトモ思ハレルノデアリマス、先般大麥ノ生産費ニ付テ多少今日ノ物價其ノ他ニ比較シテ無理ガアルヤウニモ考ヘル、將來ニ於テ考慮スルト云フヤウナ意味ノ御答辯ヲ大臣カラ承ハリマシタガ、若シ将來大麥價格ノ御訂正デモシテ下サルヤウル、ナコトガアリマスナラバ、其ノ時機ト云フコトガ、效果的ニセシムル上ニ於テ最モ重要ナルコトデアルト考ヘルノデアリマス、又今日ノ大麥ノ生産費ハ、既ニ農林省ニモ統計ガ集マツテ居リマシテ、ドレダケ生産費ガ掛ツテ居ルカ能ク御調査ガ纏マツテ居ルト思ヒマス、今日ノ公定價格ハ決シテ生産者ニ酬イルノ價格デナイト私ハ斷言シ得ルト思フノデアリマス、ドウカはモツトシテ居リマシテ、出來ルダケ基本ノ農業生アリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

年來或へ専門家ヲ集メ、或へ種々な調査資料ヲ集メマシテ、農林省自體デモ色々研究致シテ、其ノ大體ノ結論ヲ持ツテ對處シテ居ルノデアリマス、隨テ今御話ノヤウニ、文部省ニ是ガアルカラト云ツテ出來ヌト云フヤウナコトニハナツテ居リマセヌ、事實農林省トシテ必要ガアレバ、企畫院ヲ通ジテ色々ノ資料ガ戴ケルヤウニナツテ居リマス、其ノ點ハ御心配ナイト思ヒマス

中困難デ、更ニ金ヲ儲ケルナラ、モツト樂ヲシテ遊ンデ居テ錢ヲ儲ケルヤウナ方法ガ考ヘラレナイコトモナイト思フノデアリマス、決シテ農地生産者ハ、生産物ガ高イカラ餘計取ルノ、安イカラ取ラナイノト云フコトハ致シマセヌ、ケレドモ吾々指導致シマス上カラ考ヘテ見マシテモ、或ハ又國家ノ立場カラ考ヘテ見マシテモ、其ノ純ナル生産者ノ勞力ニ酬イテヤルト云フコトガ

ルト思ヒマス、今日ノ公定價格ハ決シテ生  
産者ニ酬イルノ價格デナイト私ハ斷言シ得  
ルト思フノデアリマス、ドウカ是ハモソト  
適當ナル時機ニ於テ、適當ナ修正ヲシテ戴  
キタイ、斯ウ云フコトヲ御願ヒスル次第デ  
アリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○井野國務大臣 農村ノ勞力ノ問題ニ付キ  
マシテハ、御説ノ通リ吾々モ非常ニ心配致  
シテ居リマシテ、出來ルダケ基本ノ農業生

○前川委員　此ノ間中カラ南方ノ農業問題ニ付キマシテ聽クコトガ出來タノデアリマスガ、モウ少シオ聽キシタイト思ヒマス、斯ガ、農林大臣ハ豫算總會デモ櫻井委員ニ對シマテ、南方ノ既耕地ノ作物ヲ轉換利用スル事、次第デアリマス、尙ホ農業生産統制令ト云フ總動員法ニ基ク勅令ヲ出シマシテ、其ノ點ニ付テノ施設ノ遺憾ナキヲ期シテ居ルヤウナキマシテモ、厚生省トモ色々話シマシテ、十分其ノ點ノ適正ヲ期シテ居リマス、尙農產物ノ價格ナリ、或ハ獎勵金ナリヲ決メマス時機ニ付キマシテハ、私モ全ク御説ノ通り出來ルダケ早イ機會ニハツキリシテ、サウシテ農民ニ是デ一ツヤツデ貰ヒタイト云フコトヲ言ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、昨年ハ御承知ノ通り内閣ガ色々更迭シマス、上ゲルカラ善處シテ貴ヒタイト云フコトヲ申シテ、其ノ時機ガ多少遅レマシタガ、私就任勿々米ニ付イテハ必ず自分ノ責任ヲ以テ上ゲルカラ善處シテ貴ヒタイト云フコトヲ申シテ、農民トシマシテモ、獎勵金ノ有無ニ拘ラズ、又労力ノ不足ニ拘ラズ、昨年モ議員カラ色々此ノ問題ニ付テハ私ニ御勸告モアリ、又研究ヲシロト云フ御要求モアツタノデアリマス、私トシテモ其ノ後色々考慮致シマシテ結局大麥、裸麥ニ付テハ銘柄格差ノ變更、其ノ他ノ手段ニ依リマシテ多少何トカ考慮シナケレバナラスト考ヘテ居リマスノデ、出來ルダケ近イ機會ニ是ハ實行致シタイト考ヘテ居リマス

○三善委員長　前川正一君

コトヲ示サレタノデアリマス、又總理大臣ハ結局占領地域統治ノ要ハ民心ノ把握ダト言ハレテ居リマス、今考ヘマスノニ、南方ノ住民ノ恐ラク八〇%以上ト云フモノハ農民ダト思フノデアリマス、之ヲ經濟的ナ立場ダケカラ見ルノデハナクテ、今ノ戰爭ガ政治戰、或ハ思想戰、武力戰、斯ウ云ツクヤウナ幾ツモガ融合一體化シタ所ノ新秩序戰爭ナノデスカラ、單ニ作戰行動ガ終了シタラ、經濟戰ガ進出スルノダト云フヤウナ武力戰ト經濟戰ト政治戰ト思想戰トヲ分裂シタ考ヘ方ヲシナイデ、ソレ等ノ融合シタ一體的ナ見方カラ、南方ノ問題ヲ見ルコト、特ニ政治的大、思想的ナ意味カラ見ルコトガ必要ト思ヒマス、私ハ此ノ際南方ノ問題ニ付テハツキリシタ指導方針ヲ事ノ作戰行動ニ順應シテ速カニ示サルベキデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、殊ニ南方ノ住民、即チ農民ヲ吾々ハ一番先ニ握ル必要ガアルノデアリマスガ、此處ニハ吾々日本人ノ先輩が出て、農業技術ヲ以テ指導シテ居ル地方ガ澤山アルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ヲ一つ率直ニ御示シ戴クコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス

農業技術方面、或ハ經濟方面、其ノ他色々ノ方面カラ把握スル各般ノ施策ヲ此ノ際立テル必要ガアルト考ヘテ、目下色々調査ヲシテ居リマス、全ク御説ニ同感デアリマス  
○前川委員 私ハ斯ウ云フヤウニ考ヘマス、此ノ間企畫院總裁ハ、南方ノ既得權益者ニ對シテハ之ヲ尊重スル、ソレカラ第三國ノ商社デモ、協力スルナラバ之ヲ大イニ勵カシテ行カウ、華僑ニ付テモ其ノ通リダ、斯ウ云フヤウニ非常ニ大キナ立場カラ南ノ問題ヲ見テ居ラレルノデアリマス、所ガ一面ニスルト開發ガ進クナリハセヌカト云フヤニ斯ウ云フ考ヘ方ガアルノデハナイカト思ヒマス、餘り南方進出ニ就テノ統制ヲ嚴重ニスルト開發ガ進クナリハセヌカト云フヨウナ考ヘ方モアルノデハナイカト思ヒマス、ウカ知リマセヌガ、「ドイツ」ノ占領地域デリカ、即時行動ニ移スコトニナラケレバイカヌト思フノデス、例ヘバ是ハ事實カドナ問題ニ對シテ、現在調査研究中ト云フヨウナ考ヘ方モアルノデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フ見方ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ガ今申上ゲマシタヤ、ウナ問題ニ對シテ、現在調査研究中ト云フヨウナ考ヘ方モアルノデハナイカト思ヒマス、ウカ知リマセヌガ、「ドイツ」ノ占領地域デハ、前線ノ一里後方位ノ所ニマデ經濟建設隊ト云フカ、挺身隊ト云フカ、「トツド」博士ヲ先頭ニ立テ、大イニ建設ニ努メテ居タル、之ヲ政治的ニヤツテ居ル、斯ウ云フヤウニ武力戰ト政治戰ト思想戰ト云ヒマスカ、是等ガ完全ニ一體融合シタ働キヲシナケレバ、此ノ頃ノ戰爭ニ於ケル民心把握ト云フヤウニサレル必要ガアルノデハナイカ、ソレ等が同時並行ニ行ハレ融合一體サレテ行ハレルト云フヤウニサレル必要ガアルノデハナイカ、ソレガ最モ必要ナノデハナイカ、サウナケ

レバナラヌノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考  
ヘテ居ルノデス、カト云ツテソレヲ今マデ  
アツタ儘ノモノヲ直グ「ルーズ」ニヤリマス  
ト、トンデモナイ桃太郎ノ鬼ヶ島征伐ノヤ  
ウナコトニナリハシナイカト云フコトヲ惧  
レテ居ルノデアリマス、是ハ可ナリ嚴重ナ  
統制ヲシナガラ且ツ敏速ニヤル、斯ウ云フ  
コトヲ御考ヘニナラニケレバナラヌノデヤ  
ナイカト思ヒマスガ、モウ一度御答ヲ一ツ…  
**○井野國務大臣** 政府ガ豫算總會其ノ他ノ  
機會ニ於テ屢々申上ゲテ居リマス南方ニ對  
シテノ渡航ノ抑制ト云フ問題モ、徒ラニ唯  
抑制スルト云フ趣旨、ナニコトハ今御説ノ  
通リデアリマス、唯一般ノ國民ハ南方日本  
ノ勢力下ニナツテ來タ、直グドン／＼行ツ  
テ色々ナ仕事ヲ興セバ、非常ナソコニ有利  
ナ事業ガアルト云フ氣持ガ充チテ居リマス  
カラ、ソレハ船ノ關係或ハ作戰ノ關係デ、  
マダサウ云ツタ時期ニハ到達シテ居ナイノ  
ダ、寧ロサウ云フ問題ハ政府ノ統制ノ下ニ、  
今御話ノヤウニ經濟戰、思想戰、共ニ併セ  
テ統制シタ指導目標ヲ政府ガ立テテ後ニ、  
其ノ線ニ沿ツテ渡航シテ貰ヒタイ、斯ウ云  
フ氣持カラ、先般モ閣議デ其ノ問題ノ方針  
ヲ決定致シタヤウナ次第デアリマス、デア  
リマスカラ、今御説ノヤウナ進ミ方ニ付テ  
ハ、政府モ色々研究モ致シ、又サウ云フ方向  
ニ進ムベク努力シテ居リマス、併シ何分ニ  
モマダ問題ハ戰ニ勝ツタト云フコトガ先ヅ  
ナル計畫ハ、現在マダ十分立ツタト云フ所  
マシテ總テノ問題ヲ集中シテ居リマスカラ、  
思想戰或ハ經濟戰ノ末端ニ至ル色々ナ密  
向ニ段々向ヒツツアルト云フコトダケハ一

ツ御諒承願ヒタイト思ヒマス  
○前半委員　左日交甫方ニ對

○前川委員 先日來南方ニ對シテハ移民ヲ  
餘リ重要視シテ居ラヌ、移民ト云フヨリハ  
寧ロ指導者ヲ派遣シタイ、其ノ指導者ノ鍛  
成ハ、出來ルコトナラバ滿洲等ノ北方デヤ  
リタイ、私ハ是ハ非常ニ贊成デアリマス、  
斯クナケレバナラヌト思フノデアリマス、  
是ハ人間ノ鍛成トシテハ宜イノデス、併シ  
南ヘ出テ行クノハ人間トシテ優秀ナ人ガ行  
カネバナラヌガ、同時ニ又技術ノアル人デ  
ナケレバナラスト思フノデス、此ノ點ニナ  
リマスト、滿洲ニ於ケル農業技術ト云フモ  
ノハ、直チニ南方ニハ適用サレナイト思フ  
ノデアリマス、ソコデ南方ヘ出テ行キマス  
ル指導者ト云フモノノ人間鍛成ハ北方デモ  
宜イノデスガ、南方ヘ行ク場合ニハ、實際  
的ナ技術者トシテ又南方向キノ教育ト指導  
ヲシナケレバナラヌノデハナイカ、或ハ又  
南方ヘ行ツテ居ル人達、若シクハ又南方ヘ  
行ツテ指導ノ出來ル能力ヲ持ツタ者ヲ人間  
トシテ鍛成ヲスル、斯ウ云フ方法モアルト  
思フノデアリマス、例ヘバ「ゴム」接木アタ  
リハ、日本ノ植木屋サンガ實際行ツテ好イ  
成績ヲ擧ゲテ居ル、私ハ數字ハ忘レマシタ  
ガ、日本ノ植木屋ガ接木スルト、向フ自身  
デヤルヨリ實際三倍以上ノ收獲能率ガ擧ツ  
テ居ル、サウ云フヤウナモノハ日本ノ技術  
ヲ「イギリス」ナリ「オランダ」ガ利用シテ居  
ル、又「サイゴン」ノ郊外ニ於テ、臺灣ノ蓬  
萊米ヲ持ツテ行ツテ、佛印當局指導下デ仕  
事ヲシタノハ、臺灣ノ技術者デアル、斯ウ  
云フ技術者ガバラ／＼ニ居ルノデアリマス  
ガ、サウ云フ技術者ヲ先づ統一的ニ指導シ政  
治性ヲ與ヘル機關——南方向キノ鍛成指導ノ  
機關ガ此ノ際要ルノデハナイカ、是ハ拓務

省關係カドウカ知リマセヌガ、拓南墾ナンカンカモアルト思ヒマスガ、斯ウ云フモノヲモウ少シ大キクシテ、十分ニ養成シテ置ク必要ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス  
○井野國務大臣 南方農業其ノ他ノ技術指導ト云フコトハ、極メテ大切な問題デアリマス、昨日私ハ南方委員會デ、色々民間問題付テ所懷ヲ申上ゲマシタガ、是ハ唯移民ヲ送ルト云フ問題ト、技術者ヲ送ルト云フ問題ハ別デアリマス、技術者ハ出來ルダケ内地並ニ南方方面ニ於テ養成シマシテ、サシテ適正ナル南方農業ノ技術指導ヲ行フト云フ方向ニ進マナケレバナラスト信ジテ居ルノデアリマス、其ノ爲メノ機關トシテハ、是ハ唯南方ノ農業技術ダケデナク、工業モアリ或ハ商業モアリ、色々南方ニ於テ指導者ノ立場デ参リマス者ノ養成機關ト云フコトガ一番大事ダト思ツテ居リマス、現在ニ於テハ拓南墾ガ之ニ當ツテ居リ、本年ノ豫算デソレヲ非常ニ擴大スルコトニ致シテ、塾生モ從來ヨリハ百名モ多ク欲シタノデアリマス、併シ是デモ私ハマダ小サイト思ツテ居リマス、モツトサウ云ツタ要求セラレルノデナイカト考ヘテ居リマシテ、政府部内ニ於テモ、モツトサウ云ツタ方面ニ付テ十分ナ機闢ヲ設ケタイト、目下折角研究ヲ致シテ居リマス

○前川委員 ソレカラ作物ノ轉換ト云フコトハ、此ノ前モ御話ガアツタノデアリマスガ、主要食糧ヲ内地デヤル、是ハサウナケレバナラヌカト思フノデアリマス、併シ其ノ他ノ嗜好作物ハ轉換シテモ宜イト思フノデアリマス、例へば朝鮮、滿洲方面ニ煙草移民ヲ出シテ居ルノデアリマスガ、是ナンカモ他ノ嗜好作物ハ轉換シテモ宜イノデアルルコトナラバ、南へ轉換シテモ宜イノデアル

ハナイカ、ソレカラ臺灣ニ一万甲以上ノ麻  
ヤツテ居ルト思ヒマスガ、是モ「ダバオ」附  
近デ間ニ合フノデハナイカト思フノデアリ  
マス、斯ウ云ツタ轉換ハ、是ハ企畫院デ  
案サレルノデアルカ、或ハ農林省デヤラ  
ルノデアルカ知リマセヌガ、一ツ早ク御立  
テヲ願ヒマシテ、無理ニ満洲ノ方ニ煙草ヨ  
作ル爲ニヤル必要ハナイト思フノデアリマ  
ス、能率ノ譽ガル方ヘヤレバ宜イト思フ  
デアリマス、適地適作主義デ出來ルト思ヒ  
マス、之ニ對シテモ一つノ方針ヲ御立テ  
ナツテ居ルカドウカオ尋ネシマス  
○井野國務大臣 作物ノ轉換ニ對シマスル  
研究、即チ南方方面ニ於キマスル植裁上ノ  
種々ノ研究ハ、最モ必要デアリマスノデ、  
現在拓務省、農林省内部ニ各、委員會ヲ設ケ  
マシテ、民間ノ知識者ヲ網羅シテ研究致シ  
テ居リマス、其ノ研究ヲ俟チマシテ、更ニ  
ソレヲ取纏メ、或ハ企畫院ニ中心ノ南方方  
係ノ機關が出來ル時期モアラウト思ヒマス  
サウ云フ場合ニ綜合的ニ國家的見地カラ進  
ンデ参りタイト考ヘテ居リマス  
○前川委員 大體以上ノ四點デ南ニ對スル  
御意見ハ分ツタノデアリマスガ、私ハヤハ  
リ政府ノ中ニ於カレテ、武力戰ハ武力戰ダ  
思想戰ハ思想戰ダ、經濟戰ハ經濟戰ダト云  
ニ融合一體化シタモノデヤラナケレバナラ  
スノデハナイカト考ヘル、同時ニ並行デナ  
ケレバイカヌト云フ氣ガスルノデアリマス  
ガ、是ハ私ノ考ヘナノデ、或ハ違ツテ居ル  
カモ知レマセヌガ、私ハサウ確信致シマス  
ソレハゾレト致シマシテ、次ニ——此ノ上

第六類第一號  
米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會議錄

私ハ日本ノ農民ニ對シテ一番政府ノ方針ヲ披瀝シ得タコトト存ジテ居ルノデアリマス、併シドウ云フ點ニ付テ政府ガソレヲ實行シ得ラレルカト云フコトニ付テノ手段デアリマスルガ、是モ機會アル毎ニ色々ノ點ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、大體昨年來政府ノヤリマシタ政策ヲ御檢討願ヒマスレバ、其ノ點ハハツキリスルノデハナイカト思ツテ居リマス、ト申シマスノハ只今森委員ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、政府トシテハ昨年食糧需給計畫ヲ立テマシタ、内地デ以テ自給自足ノ經濟ヲ確立シテ行クノデアル、是ハ大東亞戰爭勃發前デアリマスルガ、勿論東亞共榮圈建設ノ爲ニ政府トシテハ諸種ノ施策ヲ致シテ居ル時ニ、ソレヲハツキリ明示シタノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、又農村ガ農產物ヲ增産シテ行ク爲ニハ價格問題モ十分ニ考慮シナケレバナラヌト云フ所カラ、米ニ對シテノ生産獎勵金ヲ數億政府トシテハ豫算カラ支出スルトコトヲ致シマシタノモ、其ノ一つデアリマス、又精神的ニ農村ヲシテ其ノ氣持ニ向ハシメナケレバナラヌト云フ見地カラ昨年來技術本部ヲ農林省ニ設ケマシテ、或ハ技術ノ指導ナリ、又農會技術員ノ指導、督勵等ヲ行ツテ、農村ニ對シ精神的ニ實行シ、又内原等ニ於テ農村青年ノ中堅人ヲ養成シ訓練シテ、サウシテ今申シタ通りノ内地需給強化デ進ンデ行カウト云フ觀念ヲ農林省ノミナラズ、政府ノ要路ノ人々ガ皆參リマシテ、其ノ氣持ヲ農村青年ニ傳ヘテ、サウシテハツキリ其ノ氣持ヲ把握シテ進ンデ參ル體制ヲ執ツタノモ一ツデアリマス、又今回食糧管理法案ヲ提出致シタノモ其ノハツキシリシターツノ方向デアリマシテ、要スルニ

農民ハ今日東亞共榮圈ノ擴大ニ伴ツテ内地増產ガ一體非常ニ政策トシテ變ツテ來ルノマスルガ、是モ機會アル毎ニ色々ノ點ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、大體昨年來政府ノヤリマシタ政策ヲ御檢討願ヒマスレバ、其ノ點ハハツキリスルノデハナイカト思ツテ居リマス、ト申シマスノハ只今森委員ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、政府トシテハ昨年食糧需給計畫ヲ立テマシタ、内地デ以テ自給自足ノ經濟ヲ確立シテ行クノデアル、是ハ大東亞戰爭勃發前デアリマスルガ、勿論東亞共榮圈建設ノ爲ニ政府トシテハ諸種ノ施策ヲ致シテ居ル時ニ、ソレヲハツキリ明示シタノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、又農村ガ農產物ヲ増産シテ行ク爲ニハ價格問題モ十分ニ考慮シナケレバナラヌト云フ所カラ、米ニ對シテノ生産獎勵金ヲ數億政府トシテハ豫算カラ支出スルトコトヲ致シマシタノモ、其ノ一つデアリマス、又精神的ニ農村ヲシテ其ノ氣持ニ向ハシメナケレバナラヌト云フ見地カラ昨年來技術本部ヲ農林省ニ設ケマシテ、或ハ技術ノ指導ナリ、又農會技術員ノ指導、督勵等ヲ行ツテ、農村ニ對シ精神的ニ實行シ、又内原等ニ於テ農村青年ノ中堅人ヲ養成シ訓練シテ、サウシテ今申シタ通りノ内地需給強化デ進ンデ行カウト云フ觀念ヲ農林省ノミナラズ、政府ノ要路ノ人々ガ皆參リマシテ、其ノ氣持ヲ農村青年ニ傳ヘテ、サウシテハツキリ其ノ氣持ヲ把握シテ進ンデ參ル體制ヲ執ツタノモ一ツデアリマス、又今回食糧管理法案ヲ提出致シタノモ其ノハツキシリシターツノ方向デアリマシテ、要スルニ

農民ハ今日東亞共榮圈ノ擴大ニ伴ツテ内地増產ガ一體非常ニ政策トシテ變ツテ來ルノマスルガ、是モ機會アル毎ニ色々ノ點ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、大體昨年來政府ノヤリマシタ政策ヲ御檢討願ヒマスレバ、其ノ點ハハツキリスルノデハナイカト思ツテ居リマス、ト申シマスノハ只今森委員ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、政府トシテハ昨年食糧需給計畫ヲ立テマシタ、内地デ以テ自給自足ノ經濟ヲ確立シテ行クノデアル、是ハ大東亞戰爭勃發前デアリマスルガ、勿論東亞共榮圈建設ノ爲ニ政府トシテハ諸種ノ施策ヲ致シテ居ル時ニ、ソレヲハツキリ明示シタノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、又農村ガ農產物ヲ増産シテ行ク爲ニハ價格問題モ十分ニ考慮シナケレバナラヌト云フ所カラ、米ニ對シテノ生産獎勵金ヲ數億政府トシテハ豫算カラ支出スルトコトヲ致シマシタノモ、其ノ一つデアリマス、又精神的ニ農村ヲシテ其ノ氣持ニ向ハシメナケレバナラヌト云フ見地カラ昨年來技術本部ヲ農林省ニ設ケマシテ、或ハ技術ノ指導ナリ、又農會技術員ノ指導、督勵等ヲ行ツテ、農村ニ對シ精神的ニ實行シ、又内原等ニ於テ農村青年ノ中堅人ヲ養成シ訓練シテ、サウシテ今申シタ通りノ内地需給強化デ進ンデ行カウト云フ觀念ヲ農林省ノミナラズ、政府ノ要路ノ人々ガ皆參リマシテ、其ノ氣持ヲ農村青年ニ傳ヘテ、サウシテハツキリ其ノ氣持ヲ把握シテ進ンデ參ル體制ヲ執ツタノモ一ツデアリマス、又今回食糧管理法案ヲ提出致シタノモ其ノハツキシリシターツノ方向デアリマシテ、要スルニ

農民ハ今日東亞共榮圈ノ擴大ニ伴ツテ内地増產ガ一體非常ニ政策トシテ變ツテ來ルノマスルガ、是モ機會アル毎ニ色々ノ點ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、大體昨年來政府ノヤリマシタ政策ヲ御檢討願ヒマスレバ、其ノ點ハハツキリスルノデハナイカト思ツテ居リマス、ト申シマスノハ只今森委員ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、政府トシテハ昨年食糧需給計畫ヲ立テマシタ、内地デ以テ自給自足ノ經濟ヲ確立シテ行クノデアル、是ハ大東亞戰爭勃發前デアリマスルガ、勿論東亞共榮圈建設ノ爲ニ政府トシテハ諸種ノ施策ヲ致シテ居ル時ニ、ソレヲハツキリ明示シタノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、又農村ガ農產物ヲ増産シテ行ク爲ニハ價格問題モ十分ニ考慮シナケレバナラヌト云フ所カラ、米ニ對シテノ生産獎勵金ヲ數億政府トシテハ豫算カラ支出スルトコトヲ致シマシタノモ、其ノ一つデアリマス、又精神的ニ農村ヲシテ其ノ氣持ニ向ハシメナケレバナラヌト云フ見地カラ昨年來技術本部ヲ農林省ニ設ケマシテ、或ハ技術ノ指導ナリ、又農會技術員ノ指導、督勵等ヲ行ツテ、農村ニ對シ精神的ニ實行シ、又内原等ニ於テ農村青年ノ中堅人ヲ養成シ訓練シテ、サウシテ今申シタ通りノ内地需給強化デ進ンデ行カウト云フ觀念ヲ農林省ノミナラズ、政府ノ要路ノ人々ガ皆參リマシテ、其ノ氣持ヲ農村青年ニ傳ヘテ、サウシテハツキリ其ノ氣持ヲ把握シテ進ンデ參ル體制ヲ執ツタノモ一ツデアリマス、又今回食糧管理法案ヲ提出致シタノモ其ノハツキシリシターツノ方向デアリマシテ、要スルニ

農民ハ今日東亞共榮圈ノ擴大ニ伴ツテ内地増產ガ一體非常ニ政策トシテ變ツテ來ルノマスルガ、是モ機會アル毎ニ色々ノ點ヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、大體昨年來政府ノヤリマシタ政策ヲ御檢討願ヒマスレバ、其ノ點ハハツキリスルノデハナイカト思ツテ居リマス、ト申シマスノハ只今森委員ニ對シテ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、政府トシテハ昨年食糧需給計畫ヲ立テマシタ、内地デ以テ自給自足ノ經濟ヲ確立シテ行クノデアル、是ハ大東亞戰爭勃發前デアリマスルガ、勿論東亞共榮圈建設ノ爲ニ政府トシテハ諸種ノ施策ヲ致シテ居ル時ニ、ソレヲハツキリ明示シタノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、又農村ガ農產物ヲ増産シテ行ク爲ニハ價格問題モ十分ニ考慮シナケレバナラヌト云フ所カラ、米ニ對シテノ生産獎勵金ヲ數億政府トシテハ豫算カラ支出スルトコトヲ致シマシタノモ、其ノ一つデアリマス、又精神的ニ農村ヲシテ其ノ氣持ニ向ハシメナケレバナラヌト云フ見地カラ昨年來技術本部ヲ農林省ニ設ケマシテ、或ハ技術ノ指導ナリ、又農會技術員ノ指導、督勵等ヲ行ツテ、農村ニ對シ精神的ニ實行シ、又内原等ニ於テ農村青年ノ中堅人ヲ養成シ訓練シテ、サウシテ今申シタ通りノ内地需給強化デ進ンデ行カウト云フ觀念ヲ農林省ノミナラズ、政府ノ要路ノ人々ガ皆參リマシテ、其ノ氣持ヲ農村青年ニ傳ヘテ、サウシテハツキリ其ノ氣持ヲ把握シテ進ンデ參ル體制ヲ執ツタノモ一ツデアリマス、又今回食糧管理法案ヲ提出致シタノモ其ノハツキシリシターツノ方向デアリマシテ、要スルニ

問題ガアルノデアリマシテ、満洲ノ如ク從來カラノ地主制度其ノ他色々ノモノノナイ所へ、新ニ農地問題ヲ確立シマスノト、内地ノ如ク非常ニ古イ沿革ヲ持ツテ居ル所ニ、或ル種ノ理念ヲ持ツタ進ミ方ヲスルト云フコトトハ、自ラ程度ガ違フノデアリマシテ、ソニ吾々モ色々ノ困難モ感ジ又惱ミモ存シテ居ルノデアリマス、併シ自作農ヲ創設シテ出來ルダケ耕作スル者自ラ土地ヲ持ツヤウナ方向ニ獎勵シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、政府トシテモ出來ルダケソレハヤリタイト考へテ居リマス、唯今日農地ガ非常ニ高クナリ、又其ノ他ノ事情カラ其ノ障碍ヲ除クト云フコトガ、自分ダケノ英斷デ出来ルモノナラバ、幾ラデモヤリタインオズカ、自分ダケノ英斷ハ中々出來ナイ、後ノ自作農ニナツタ者ガ生活ガ維持シテ行ケルト云フ、サウ云フ立場カラ御計算ノ仕方ハ出來ナイモノデセウカ

○前川委員 固ヨリ後ノ經營ガ全然賣拂ツタ値段デ出來ナイト云フヤウナ程度ノモノハ、是ハ一寸手モ付ケマセヌシ、考ヘラレナイ譯デアリマス、若シサウ云ブモノニ手ヲ付ケテマデヤラナケレバナラヌト云フ風ナラバ、助成ノ金ヲ殖ヤシテ引合フヤウニシナケレバナラヌ、要スルニ引合フト云フコトヲ原則トシテ考へテ居リマス

○前川委員 其ノ點ハ特ニ大臣ハ自作農ノ擴大強化ニ對シテ熱心デアリマスカラ、是ハ一つ具體的ナ見本デスカラ、先づ政府ノ土地ヲ自作化シテ行ク場合ニ於テ、最モ良キ範ヲ示シテ戴キタイト云フコトヲ希望致シテ置キマス

○前川委員 尚ホ先程カラ議論ノ出テ居リマス自給肥料ノ問題デアリマス、肥料ガ十分デナイ、テ何カ案ガヨザイマセヌカ

○岸政府委員 便宜私カラ御答へ申上ゲマス、勿論只今ノ御話ノヤウナ點モ考慮シテアリマスカラ、營園ニ對シテ助成ヲシテ居リマス、助成ノ額ダケハ工費ハ安クナリマス、併シ根本ハ荒地ヲ買ヒ、工費ヲ掛ケテ總體ノ費用ガドノ位ニナルカト云フコトヲ計算シテ居リマス、ソレニ政府ノ土地デアリマスカラ、其ノ助成ダケノモノノ差引イテ計算スルト云フコトニナツテ居リマス、デスカラ一般ノ人ガヤルヨリ若干安クナル、斯ウ云フコトニナリマス、尤モ是ハ色々ノ方向ニ獎勵シテ行クト云フコトハ嫌ヒデスガ、牛

家庭的ノ仕事ノミデアル、農業勞働ニハ餘  
リ參加シナイ、猫ノ手モ要ル場合ニ遊ブコ  
トニナル、斯ウ云フヤウナ共同作業ノ指導  
方針ハ私ハ惡イト思フノデアリマス、個人  
ヲ基礎ニシナイ家族勞働、一家族ヲ單位ト  
シタ所ノ共同作業、斯ウ云フコトニセヌト、  
農村コソハ民族ノ源泉ダト言ヒナガラ、ト  
ンデモナイ「ロシヤ」ノ「コルホーズ」ミタイ  
ナヤリ方ニナリハシナイカト思フノデアリ  
マス、小サイ問題ノヤウデアリマスガ、農  
家ハ其ノ爲ニ仕事ガ遅レテ、農民ニ於テハ  
不平ガアルノデアリマスカラ、是ハ一ツ指  
導方針ヲハツキリ御立テニナランコトヲ御  
願ヒ致シマス、何カソレニ對シテオ氣付ノ  
點ガアレバ伺ツテ置キタイト思ヒマス  
○岸政府委員 共同作業ノ御示シガアリマ  
シタガ、勿論私共現在ノ農業ヲ經營シテ居  
ル所ノ事情ヲ無視シテ、理窟ダケデ行クト  
云ブコトヲ考ヘテ居ル譯デハゴザイマセヌ、  
作業ノ性質ニ依ツテサウ云フ風ナ「チーム  
ワーク」デ出來ルカドウカト云フコトハ考  
ヘナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ點ハ十  
分勘考シテヤツテ居ル譯デアリマス、是カ  
ラ生産統制令等ニ於テ共同作業ヲ相當行ツ  
テ行クト云フコトニナリマスレバ、十分其  
ノ點ヲ考慮シテ、其ノ向キ／＼デ勵ケルヤ  
ウニヤツテ行クト云フコトヲ考ヘ行カナケ  
レバナラヌト思ヒマス  
○前川委員 私ノ言フノハ、農繁期ニ於テ、  
農家全體ガ仕事ヲシテ居ルノデス、其ノ  
場合ニ年寄ト子供トガ仕事カラ除外サレル  
ヤウナ最近ノ共同作業ノ方針ハ良クナイ、斯  
ウ云フ點デアリマス  
尙ホ次ニ御尋ネシタイコトヘ、最近色々々ノ  
食糧關係ノ商業組合、工業組合ガ出來テ來

タノデアリマスガ、其ノ場合極メテ小サナ  
問題トモ思ヒマスルガ、例ヘバ卸商業組合  
ガ出来テ小賣商業組合員全體ニ——甘諸ノ  
問題デアリマスガ、事實上指定商トシテ指  
定ヲシナイ、過去ニ於テヤハリ商賣ヲシテ  
居ツタ、甘諸モ賣ツテ居ツタ、ソレニ對シ  
テ卸商組合ノ單ナル感情ト云ヒマスカ、政  
府ハ成ベク商賣人ヲ減ス方針ダカラ、オ前  
等皆ニヤラヌデモ宜イヂヤナイカ、斯ウ云  
ツタ少數ノ卸商業組合ノ幹部ノ意見ニ依ツ  
テ、其ノ地域内ニ於ケル小賣商業組合員ノ  
甘諸ヲ賣ツテ居ツタ者ニ對シテ指定商ニシ  
ナイモノガ何割カアル、斯ウ云フ實例ガア  
ルノデアリマス、是ハ單ナル一ツノ實例デ  
アリマスガ、斯ウ云フコトハ他ノ地方ニモ  
アルト思ヒマス、一つ政府ノ方デ斯ウ云フ  
場合ノ指導ト監督ヲ嚴重ニサレテ、功利的  
ニナラウトスル所ノ斯ウ云ツタ商工業組合  
ノ幹部ノ教育ト云ヒマスカ、監督ト云ヒマ  
スカ、指導ト云ヒマスカ、之ヲ十分ニサレ  
ル必要ガアルノデハナカラウカト思ヒマス、  
之ニ對シテ御意見ガアレバ承リタイト思ヒ  
マス

デ言フノハ變デスガ、別ニ岩瀬君ノ責任デ  
ハナイノデアリマスカラ申シマスガ、地方  
ニ於テ小賣ノ人達ガ二十九錢何厘カデ元受  
ヲシタモノヲ、一等級ノ甘諸ダト言ヒナガ  
ラ皆三十五錢デ賣ツテ居ル、一等モ二等モ  
アリハシナイ、是ハモウ少シ嚴重ニヤツテ  
戴キタイト云フコトト、利幅ニ對シマシテ  
モウ少シ御考慮ヲ願フ必要ガアルノデハナ  
イカト思ヒマス、是ハ全國各地ノ甘諸ヲ作  
ツテ居ル農民ノ不平ダト思フノデアリ、マ  
ス、此ノ調子デ行ケバ折角芋ガ三割餘リノ  
増産ニナリマシタガ、來年ハ減ルコトニナ  
ルノデハナイカト思ヒマス、甘諸ヲ增産シナ  
ケレバナラスト云フ時ニ、ソレガ減ルヤウ  
ナコトガアツタラ困ルト思ヒマスカラ、少  
シ此ノ點ハ御考ヘヲ願ヒタイト思ヒマス  
○井野國翁大臣 芋ノ問題ニ付キマシテ  
ハ、先般ノ臨時議會デ色々御質問モアリ、政  
府モ其ノ後色々考慮致シマシテ、本年ハ丁  
度仕事ヲ始メタ其ノ過程ニアリマスカラ、  
餘り過程ノ上ニ於テ大ナル變化ヲ起シマス  
ト、其ノ均衡モ破れ、種々支障ヲ生ジマス  
ノデ、本年ノ配給状況ニ應ジテ直シ得ル限  
度ニ於テ、最近色々ナ點ヲ直シマシタ、其  
ノ詳細ハ農政局長カラ申上ゲマス、價格等  
モ或ル程度ノ修正ヲ致シタノデアリマス、  
尙ホソレニ付テ不十分ナ點ガアリマスレ  
バ、明年以後ノ色々ノ問題トシテハ、十分  
私トシテモ考慮シタイト考ヘテ居リマス  
○岸政府委員 丁度好イ機會デスカラ私カ  
ラモ補足サシテ戴キタイト思ヒマス、芋ノ  
價格デ此ノ前ノ議會ノ時ニ、平野サンカラ  
ヒミシテ御話申上ゲマス、其ノ時ニ甘諸

ノ公定價格ヲ全國的ニ改正スルコトガ出来  
ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、只  
今大臣ノ御話ニナリマシタヤウナ次第ア  
リマスガ、中途デヤツタガ宜イカドウカト  
云フコトハ問題デアラウト思ヒマシテ、是  
ハ止メテ居リマス  
ソレカラ先程ノ一等品、二等品、三等品  
ノ價格ガ生産者ノ方ニアルニ拘ラズ、販賣  
ノ方ノ生芋ハ一等品バカリニナウテシマ  
フ、斯ウ云フコトガアルガ、サウ云フ譯デ  
進ンデ居ツタ譯デハナイノデアリマシテ、  
結果ニ於テ左様ナコトガ出テ來タ、物ガ足  
リナイ時ニハサウ云フコトニナルノデアリ  
マスカラ、ソレニ對シテハ生産者ノ販賣價  
格ガ等級別ニナツテ居ルト同ジヤウニ、販  
賣ノ方ノ價格モ等級別ニスルト云フコトニ  
規則ヲ直シマシタ、ソレカラ幾分デモ生産  
者ノ方ニ潤ヘルモノナラバヤルト云フ考慮  
ノ下ニ、値段ヲ變ヘルコトハ出來ナイケレ  
ドモ、何カノ方法デ考慮スルト大臣モ仰シ  
ヤツタノニ即應シマシテ、統制會社ノ方ニ  
於テ集荷ノ場所ヲ生産地ニクツ付ケテ、澤  
山増産シマシテ、ソコデ引取ル、サウシテ  
運賃ハ會社ノ負擔ニスルト云フ方針ヲ執リ  
マシテ、問題ノアツタ所ヲ非常ニ緩和シテ  
シマヒマシタ、ソレカラ尙ホ未検査品ノ歩  
引ノ割合或ハ裸賣ノ歩引ノ割合ト云ツタヤ  
ウナモノニ付テモ、其ノ歩引ヲ減ラシマシ  
テ、サウシテ幾分デモ生産者ニ有利ニスル  
ヤウニ致シマシタ、ソレカラ又今御尋ネニ  
ナリマシタ生産者ノ値段ニ比シテ——是ハ同  
ジ町村ハ心配ハナイガ、隣ノ町村デサウ云フ  
コトガアツタラウト思ヒマス、サウ云フコ  
トニ對シテハ此ノ價格ヲ決メル際ニ、サウ

○湯河政府委員 中央ノ營團ニ日本精麥工業組合聯合會ヲ入レル考ヘヲ持ツテ居リマス、地方ノ營團ニ地方ノ精麥業者ヲ入レルカドウカト云フコトハ、地方々々ノ事情ニ依ツテ十分能ク考ヘテヤリタイト思ツテ居リマスガ、大體中央營團デ精麥シタモノノ、地方ニ配給スルコトニナルト思ヒマス、唯地方生産ノ原麥ヲ使ヒマス地方ノ消費ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ地方々々ノ精麥設備ヲ動カスコトニナルノデ、地方營團ニ收容スルコトニスルカドウルニハ、地方ノ精麥設備ヲ利用スルト云フカト云フコトハ、是ハ別ニ考ヘテ宜イト思ヒマス、地方ノ麥ヲ地方デ精麥シテ消費スニ地方ノ精麥業者或ハ組合ヲ、地方營團ニ收容スルカドウカト云フコトハ、モウ少シリマス、ソレヲ實行シテ居リマセヌ爲ニ、サウ云フ不都合ナコトガアルナラバ、サウ云フ地域ハ價格ヲ下ゲテ、生産者トノ均衡ヲ圖レト云フコトノ通牒ハ既ニ出シテ居ルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ無論實行キタイト思フノデアリマス、是等ハ大體平野サンカラノ御尋ネノアツタコトニ付テ、又其ノ外ノ各委員カラ御話ノアツタ點ヲ照合シテ、出來ルダケノ處置ヲシテ本年ハヤツテ行カウ、斯ウ云フ考ヘデアリマス○前川委員 麥工聯ハ中央ノ營團ニ入ルコトニナツテ居リマスカ、地方ノ方ハドウナリマスカ

米、麥、甘藷、馬鈴薯、雜穀等ト云フノデ  
アリマスガ、國民ノ主要食糧ノ中ニ於テ蔬  
菜トカ鮮魚介ト云フモノハ、非常ニ重要ナ  
モノデアルト思ヒマス、是ハ非常ニ複雜ナ  
關係ガアリマスガ、營團ハ將來サウ云フモ  
ノヲ取扱フコトガアルノデセウカ、ナイノ  
デセウカ

角石五圓貫ヘルカラ、貫ヘルモノナラ貫レ  
タイト云フ氣持モアリマセウガ、政府ハサ  
ウ云フ場合ニオ金ヲ出ス時ノ氣持ハ、サウ  
云フ場合モアリ得ルコト御想像ニナツ  
オヤリニナツタコトデアルカドウカト云フ  
點ニ付テオ尋ネ致シマス

○湯河政府委員 只今前川サンカラ御指摘  
ノ點ハ非常ニ重大ナル問題デ、吾々モ重要  
ニ感シテ居リマス、實ハ昨年ノ秋一石五圓  
ノ生産獎勵金ヲ支出スル場合ニ、色々地主  
ノ實情等モ地方ノ關係者ト會同シテ研究致  
シマシタ結果、只今ノ所デハ生産獎勵金ノ  
石五圓ハ地主兼自作農ノ場合ニ於テモ、政  
府ハ一應計算上ハ出スコトニ致シテ居リマ  
ス、併し地主ノ生産額ノ大半を占メ

自作米ヲ賣ツて居タ地主ガアルトスレバ、  
此ノ人ニ獎勵金ガ年五圓參リマスコトハ、  
正當デアルト考へテ居リマス、區別ノ付シ  
ニクイ點ガゴザイマスノデ、若干徹底ヲ  
イテ居ル點ガアルト思セマス、今後指導  
十分氣ヲ付ケマス。

ヤ甘ワノフ題ハ 上缺ケ

前川委員 是ノ管理課長官ニ御尋ねカル  
ノデアリマスガ、最近農民ノ聲トシテ斯ウ  
云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、管理  
米トシテ供出スル時ニ地主兼自作農ノ場合  
ハ、地主兼自作農ガ今マデ自分ノ家デ食ツ  
テ居ツタモノハ、自作シテ出来タモノヲ食  
ツテ居ツタ、今日デ言ヘバ保有米トシテ貰  
モノデアリマス、所ガ最近ハ石五圓ノ金が  
貰ヘルカラ、自作ノ土地カラ出來タ米ヲ管  
理米トシテ出シテ、今マデ小作米トシテ貰  
ツテ居タモノハ産業組合ノ倉庫ニ入レテ置  
テ他ニ販賣シテ居ツタモノヲ、自分ノ家ニ  
持ツテ來サセテ保有米ニスル、管理米ニス  
ルノハ自作地デ出來タ米ヲ管理米トスル、  
是ハ今度ノ此ノ問題ト關聯ハナイノデアリ  
マスガ——將來關聯シテ來ルト思ヒマスケ  
レドモ、是ハ一體ドウ云フ風ニ取扱ツタラ  
宜ノイデセウカ、是ハドウモ變ダト云フ聲  
ガ農民ノ間ニ非常ニ強イノデアリマス、是

○湯河政府委員 第二條ノ解釋ノ問題デゴ  
ザイマスガ、是ハ只今ノ運用ノ方針ト致シ  
マシテハ、先程申シマシタヤウナ米麥、甘  
諸、馬鈴薯、雜穀及び其ノ加工品ト云フ  
シ度ニ止マツテ居ルノデアリマス、是ハ政府  
ノ特別會計ヲ以テ措置致シマスル食糧管理  
ノ輪廓ニ關係スルコトデゴザイマスノデ、將  
來此ノ以上ニ亘リマシテ管理致シマスコト  
ガ可能デアリ、必要デアル時ニ至リマスレ  
バ、勅令ヲ以テ更ニソレ以外ノモノニモ及  
ボスコトガ出來ルヤウニ仕組ンデゴザイマ  
スルガ、只今ト致シマシテ吾々食糧管理局  
デ御預リラシテ居リマスル範圍ニ於キマシ  
テ色々考ヘテ居リマスルト、先づ今御示シ  
シタ範圍デヤツテ行クノガ、ソシテソレヲ  
完全ニスルノガ當面ノ急務ダト考ヘテ居リ

○前川委員 モウ一つ營團ガ取扱フ品物ノ種類デスガ、此ノ間御示シニナツタノデハ

ハ小サナ地主カラ言ヘバ已ムヲ得ナイトシ  
テ、同情ノ出來ルコトデアリマス、併シ折

地主側ノ自肅ヲ待ツテ居ル次第アリマス  
吾々ノ考ヘト致シマシテハ地主ト雖モ種々

マス  
○平野(力)委員 サウスルト將來ハ其ノ範

自作米ヲ賣ツテ居タ地主ガアルトスレバ、此ノ人ニ獎勵金ガ年五圓參リマスコトハ、正當デアルト考ヘテ居リマス、區別ノ付ニクイ點ガゴザイマスノデ、若干徹底ヲ

缺ヶ

園が相當ニ擴ガツテ行クモノデアルト考へテ差支ヘナイノデスカ  
○湯河政府委員 先程申上ゲマシタヤウニ是ハ行政ノ實際ノ必要ガ之ヲ認メアヌルシ、又はガ經濟的ニ取引其ノ他流通ノ關係生産、消費、配給ノ關係ガ此ノ管理法ニ依ツテヤツテ行クコトガ可能デアリ、適當デアルト云フコトガ前提ニナルト考へマス

○平野(力)委員 第三條ノ命令ヲ以テ定ムルモノヲ全部政府ニ賣渡スペシト云フ此ノ解釋ハ、農家の飯米以外ノモノヲ全部賣渡セ、斯ウ云フコトニ解釋シテ宜シイノデスカ  
○湯河政府委員 大體左様デゴザイマス米ニ付キマシテハ只今自家用保有米制度ヲ米穀管理ノ制度デ認メテ居リマスガ、之ヲ除キマシテ其ノ他ノモノヲ政府ニ賣渡スペシ、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、モウ少し細カクナツテ宜シケレハ申上ゲマスガ、只今デハ酒米ノ特約栽培ノモノハ政府ニ賣渡スペシト云フコトニハナツテ居リマセヌ、サウ云フヤウナ特殊ノ事情ノアルモノガ除カレルノデアリマス、麥ニ付キマシテハ自家用麥ト云フ制度ガゴザイマセヌノデ、是ハ米程ニ嚴重ニ參リ兼ネルノデアリマス、只今ノ麥類ノ配給統制規則上ニ於キマシテハ、生產者、地主ガ麥類ヲ賣ルモノハ政府ニ全部賣ルト云フコトニ致シテ居リマス、是等ノ點ハ十分實情ヲ勘案致シマシテ、出

モ其ノ生產費調査ヲ更ニ一層改善シマシテ、ノデアリマスガ、此ノ際御差支ヘガナケレバ食糧管理局ニ於テ考ヘテ居ラル此ノ生産費ト云フモノノ主ナル内譯、及び其ノ勞作、賃デアリマスルナラバ賃ヲドノ程度ニ幸テ居ルカ、或ハ肥料代デアリマスルナラバ一反ニ付テ大體ドノ程度ノ肥料代ヲ見テ居ルカ、此ノ數字ニ付テ御明示ヲ願ヘレバ幸ヒト思ヒマス

○湯河政府委員 其ノ點ハ實ハ勅令ヲ規定致シマスルニ十分慎重ニ考ヘタイト存ジテ居リマスルガ、大體此ノ生產費ハ只今デハ米穀統制法ノ施行令ニ於キマシテ生產費内容ヲ法規ヲ以テ定メテ居ルノデゴザイマス、是ハ相當深イ研究ヲ致シマシタ結果決メマシタ項目デゴザイマシテ、御参考マデニ申上ゲテ見レバ、或ハ種類代、肥料代、或ハ勞賃、畜力費、諸材料費、農會費、農具費、上ゲテ見レバ、或ハ種類代、肥料代、或ハ租稅其ノ他ノ公課、部落協議費又ハ之ニ準トモ農村ノ勞力ガ他ノ有利ナ方面ニ逃ゲテ行カナイヤウニ、相當事情ヲ勘案シテ勞賃ノ計上ヲ決メルト云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマス、具體のノ數字ダケハ一ツ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○平野(力)委員 ソレカラ米價ノ計算方法ニ付テ地主、自作農ト小作農ノ供出スル米ト云フモノハ實際ノ内容ニ於テハ相當ニ差ノアルベキ筈デアリマス、肥料モ勞働賃金モ加ヘナイ小作料トシテ取ツタモノヲ賣ルト云フ其ノ米價、ソレカラ自作農ノ如ク全收穫ガ自分ノモノデアルト云フモノト、小作料トシテ約半分ヲ提出シテ、殘ツタモノガリマス、此ノ外ニ投下資本ノ利子デアリマス、此ノ點ニ付キマシテドレダケノ數字收入デアルト云フ此ノ米價ノ計算ト云フモノハ嚴密ニ申シマスルト、三種ニナラザルコトガ適當ダト考ヘテ居ルノデアリマス、シテ來ナケレバ相成ラヌ筈デアリマスガ、此ノ點ニ付テハ食糧管理局長官トシテハ何ハ論外ト致シマシテ、自作農ノ米價ノ計算ヲ得ヌノデアリマス、ソコデ小作料ノ問題機關ニ依ツテ之ヲ決定サレ、ドウ云フ機關ノヤウナモノヲ當局ハ考ヘテ居ラレルコトガ承ツテ置キタイ

○湯河政府委員 實ハ最低價格、最高價格ニ付キマシテモ、法律ノ上ニハ書イテゴザイマセヌ、當時ニ於キマシテハ勅令ヲ以チカ御考ヘニナツテ居ルコトガアリマスカ、或ハ斯ウ云フ點ニ付テハ別ニ考ヘテ居ル

テ居リマス、其ノ委員會デ審議スルコトニナツテ居リマス、其ノ趣旨ハ米穀統制法ノ第二條ノ「政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトガ、或ハ其ノ内容ヲ暗示シテ居ツタカト思ヒマスガ、ソレナラバ今度モ同ジヤウニ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト出テ居リマス、實ハ吾々ノ方ハ此ノ法律ノ施行ニ關シマスル重要ナル事項ヲ審議致シマスル爲ニ、特ニ食糧管理委員會ヲ設置致シタイト存ジマシテ、法律ノ中ニ其ノ事ヲ規定シテハ如何カトモ思ヒマシタガ、最近ノ立法ノ例ニ倣ヒマシテ、特ニ規定ノ上ニハ載セマセヌデシタ、併シ官制ヲ以チマシテ、食糧管理委員會ト云フモノヲ設ケマシテ、ソレニ於キマシテ此ノ法律ノ施行ニ關スル主要事項ヲ調査審議シテ貰フコトニナリマスカラ、買入價格ノ問題モ其ノ委員會ノ重要ナル問題ニ相成ルダラウト私共考ヘテ居リマス

○平野(力)委員 併シ茲デ米麥以外ノ主要食糧ト云フノハ、甘諸、馬鈴薯ニ當ツテ居ル譯デスネ、ソレヲ時價デ買フト云フコトハ、甘諸、馬鈴薯ハ現在時價デ買ツテ居ラヌノデスガ、是ハドウナルノカ、ソコヲ聽ギタインデス

○湯河政府委員 現在甘諸、馬鈴薯ハ米穀ノ急措置法ニ關スル法律ノ規定ニ依ツテ買ツテ居ルノデアリマス、時價ニ準據シテ買ツテ居ルノデアリマス、政府ノ買入價格ハ時價ニ準據致シテ

○平野(力)委員 大體此ノ法律ガ出ルト急措置法デハナク、是デ御ヤリニナルト解釋シテ居ルノデス、サウスルト甘諸、馬鈴薯ト云フモノハ第五條ニ適用サレテ時價デス

○湯河政府委員 今后買ツテ貰フコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデハナイカト思ヒマスガ、ソレ宜シイノデスカ

○平野(力)委員 次ハ第五條ノ問題ガ相當不明瞭ノヤウニ思フノデゴザイマスガ、茲ニ「米麥以外ノ主要食糧」買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム」下ナツテ居リマス、此ノ解釋カラ言ヘバ甘諸、馬鈴薯等ハ米麥以外ノ主要食糧ニナツテ居ル、第五條ニ依レバ時價デ買フ、斯ウ云フコトニナルト、今ヤツテ居ラレルコトハ大分違フ

○湯河政府委員 ドコマデモ時價ニ準據シテ政府ノ定メタル價格ニ依ツテ買フ、是ハ從來應急措置法デ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

○湯河政府委員 ドコマデモ時價ニ付テハ、諒承スルノデアリマスケレドモ、併シテハ、此ノ問題ニ付テハ此ノ點ガ、此ノ程度ニ一今尙ホ此ノ點ニ付テ不十分デアルト考ヘルタ心持ニ付テハ固ヨリ吾々ト致シマシテモ非常ニ困難ノ中ヲサレタト云フコトニ付テハ、諒承スルノデアリマスケレドモ、併シテハ、此ノ際ニ於テハツキリト伺ヒタインデアリマス、實ハ前議會ニ於テモ相當ニ承ラ

的ナ意味ヲ持チマス食糧ヲ政府ガ必要ナリト認ムル時ニ賣買スルノデゴザイマス、此ノ價格ノ決メ方ハ時價ニ準據シテ之ヲ定メル、現在米穀ノ應急措置法ニモヤハリ同様ノ規定ガアルノデゴザイマス、運用ノ上ニマス

○平野(力)委員 营團ニ吸收サレルコトニナリマスカ

○湯河政府委員 日本甘諸馬鈴薯會社ハ此ノ營團ニ吸收致シマセヌ

○平野(力)委員 サウ致シマスルト甘諸馬鈴薯ハ只今ノ御説明ニ依リマシテモ大體ニ於テ主要食糧以外ノモノトシテ時價ニ準據シテ買ツテ貰ヘル、ココニ私ハ依然トシテ相當喰違ヒガアルト思フノデアリマス、ソコデ先程前川君カラモ此ノ問題ニ付テ質問ガアリ、農政局長カラモ御答辯モアリマシタガ、私ハ此ノ甘諸ニ關スル問題ニ付テハ先程ノ御答辯ダケデ實ハ満足シ難イモノガアルノデゴザイマス、是ハ大臣ガ屢々前議會ニ於テモ抽象的ニハ相當誠意ノアル御答ヘヲサレテ居ルノデ、其ノ誠意ノ現レト云フモノガドノ邊ニアルカト云フコトヲ吾々トシテハ深ク注意ヲ拂ツテ見テ居ツタノデアリマスガ、先程ノ農政局長ノ御答辯ニ依ルト極メテ微溫的ナモノデ、唯驛マデ持ツテ行けば宜カツタノヲ、農民ノ持ツテ行ク所ノ數ガ殖エテ、幾ラカソレニ運賃労力ト云フモノガ削減セラレルト云フヤウナモノヲ具體的ニ見ル程度デアツテ、其ノ改正ヲサレタ心持ニ付テハ固ヨリ吾々ト致シマシテモ非常ニ困難ノ中ヲサレタト云フコトニ付テハ、諒承スルノデアリマスケレドモ、併シナル、消費者モ三圓八十錢トアリマスガ、ス、而モ農民ハ二圓七十錢ト申シマシテモ儀裝運貨ヲ加算致シマスナラバ、ソコニ二圓七十錢ヨリハ農民ノ手ニ入ルモノハ少クナル、消費者モ三圓八十錢トアリマスガ、隣組ニ配給サレル時ニハ目減リヲシテ居ルノ手カラ實際ノ家庭ニ入りマス間ニ於テ一圓以上ノ値幅ガ出來テ是ガ所謂日本ノ戰時下ニ於ケル甘諸ノ統制デアル、而モ其ノ爲ニ非常ナル苦心ヲサレタノデアリマセウガ、甘諸馬鈴薯會社ト云フモノガ出來タ、此ノ間ニ於テ政府當局ハ種々ナル苦心ヲ拂ハレタデアラウケレドモ、斯ウ云フヤウナ誰ガルト云フコトニ付テ農林大臣ハ何ト考ヘテ

馬鈴薯、甘諸ヲ作ツテ居ル所ノ眞ノ農民等ノ意見ヲ十分尊重サレテ、尙且ツ是ガ已ムヲ得ザルノ統制デアツカドウカ、斯ウ云フコトヲ先づ承ルト共ニ、ソコデ只今農政局長ノ御答辯ノヤウナ程度ヲ越エテ、更ニモウ一步私方前議會ニモ質疑致シマシタ五ツノ項目デアリマス所ノ、公定値段ヲ根本的ニ改正ヲスルコトガ出来ルカドウカ、又出来ナイトスルナラバ甘諸生産業者ニ對シテ特ニ獎勵金ヲ交付スルト云フコトガ出来ルカドウカ、斯ウ云フヤウナ諸點ニ付テ此ノ際極メテ明確ニ農民諸君ガ安ンジテ甘諸ノ生産ニ從事シ、又不平ナカラシタルヤウナ御答辯ヲ一ツ得テ置キタイト思フノデアリマシテハ、前議會ニ於キマシテモ色々々問題ガアリマシテ、私モ當初カラ此ノ問題ニ付キマシテハ相當ニ検討フ遂ゲタ上、此ノ制度ヲ實行致シタノデアリマス、即チ今日國家ガ要請シマスル物資ト致シマシテ、自由ニ販賣フサセテ居ツタノデハ國家ガ欲シマスル目的ニ流レナイデ、違フ方面ニドンヽヽ流レテ、結局國家目的ノ達成ニ困難デアルト云フ物資ニ付キマシテハ、是ハ或ル程度ノ統制ヲ致サナケレバナラスト考ヘタノデアリマス、甘諸、馬鈴薯モ其ノ一ツデアリマシテ、國家ハ甘諸、馬鈴薯ニ付キマシテ増産ヲ致シマスト同時ニ、其ノ需要ニ對シマシテハ或ハ「アルコレ」原料トシ、或ハ澱粉用トシ、其ノ他食糧トシ、各々其ノ目的ニ従ツテ之ヲ流シタイト考ヘテ居リマスガ、現

「アルコール」原料ニ取リタイト考ヘマシテモ、價格關係力ノ方ニ流レズシテ、價格ノ有利ナ方ニ流レテ其ノ目的ヲ達成シ難イ、又或ル方面ノ食糧ニ取リタイト考ヘマシテモ、價格決定ノ時ニ作ツテ一手ニ之ヲ買取ツテ、サウシテ必要求ナ方面ニ流サナケレバナラスト云フ風ニ考リマシタノデ、是ハドウシテモ統制會社ヲ當リマシテモ、今御話ノヤウニ一ツノ例ヲ取ツテ見マスルト、ソコニ生産者ガ賣リマス値段ト、消費者ガ買ヒマス値段ノ間ニ非常ナ開キガアルヤウニ御考ヘニリマスガ、ソレニハ運賃、其ノ他從來ノ斯ウ云ツタ生鮮食糧品デアリマスカラ腐敗率等モ考ヘナケレバナラヌ、サウ云フモノモ色々加味シテ見マスルト其ノ間ノ値開キト云フモノハサウ不合理デハナイト私共ハ見タノデアリマス、デアリマスカラ原則トシテハ農民ガ此ノ機構ガ出來ル前ニ賣ツテ居ツタ價格ヨリ、今度賣ル値ノ方ガ安クナツテハ是ハイカヌ、ソレデアリマスカラ農民ガ手放ス場合ニ於テハ、其ノ生產費ヲ「カバー」シ、十分ニ作り得ルダケノ努力ニ對シテ報イラレル價格、是モ過去ノ價格ト何等開キノナイ價格ニスルト云フコトガ一つノ原則デアル、方ガナイト致シマシテモ、原則トシテ此ノ兩者ニ於テ此ノ問題ヲ解決スルヤウニシテヤウニ、多少ノコトハ是ハ何レニシテモ仕シテ其ノ價格ノ形勢ヲ見マシテモ、例へバ

一ツノ村ト隣ノ村トノ關係ニ於テ見ルト、  
或ハ多少不合理ノアツタト云フ點モアルト  
思ヒマス、是ハ尙ホ地方長官ガ其ノ事情ニ  
即應シテ直サナケレバナラヌノデアリマス  
ガ、マダ其處マデ行ツテ居ナイノデ、多少不  
合理ナ點モアルカモ知レマセヌガ、斯ウ云  
フ大キナ統制ヲヤツタノデアリマスカラ、  
其ノ過程ニ於テハ多少サウ云ツタヤウナ缺  
點モアツタト思ヒマスガ、根本理念ニ於テ  
ハヤハリ農民ガ作リマシタ芋ハ從來トサウ  
變リナイ値デ賣レルノデアリマス、ソレハ  
消費者モ從來ノ値段ト同ジ値段デ買ヘルノ  
デアリマス、唯此ノ間ニ於テ運賃ノ「ブー  
ル」ヲ致シマシタリ、或ハ又腐敗率其ノ他  
ノ「ブル」ヲ致シマシタカラ、場所的ニ見  
ルト少シソコニ不合理ナ點モ起ツタカト思  
ヒマス、ソレデアリマスカラサウ云フ點ハ  
地方長官ノ權限デ段々ト直シテ行クヤウニ  
今折角指導致シテ居ルノデアリマス、何分  
ニモ本年ハ甘諸ニ致シマシテハ十數億万貫  
馬鎧薯ニ致シマシテモ五六億万貫ノ、茲ニ  
今マデ全ク自由デアツタモノヲ是レ程ノ統  
制ヲスルノデアリマスカラ、其ノ間ニ無理  
ノ起ツタコトハ是ハ私モ全然ナイトハ申シ  
マセヌ、デアリマスカラ惡イ所ハ惡イ所デ  
出來ルダケ直スヤウニ事務當局ニ命ジテ、  
斯ウ云フコトヲ決シテコダハウテハイカヌ  
惡イ所ハ端的ニ直サナケレバナラヌト言ツ  
テ居ルノデアリマス、併シ事業ノ途中カラ  
餘リソレヲ直シテ前ノモノト非常ナ不均衡  
ヲ生ズルト云フコトガアツテハ、又是モ公  
平ヲ缺ク所以デアリマスカラ今年ハ或ル程  
度ハ暫ク皆ニ辛抱シテ貰ツテ、兎ニ角是ダ  
ケノ芋ヲ必要ナ所ニ集メルト云フコトニ主  
眼點ヲ置イテヤツテ見テ、實際ニ應ジテ訂

正シナケレバナラヌ點ハ明年ヨリ、明年ト此ノ芋ニ付テハ更ニモソト端的ニ考ヘテ見テ直スベキハ直ス、斯ウ云フ方針デ進ミタ所ト考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ今御示シノ沼津ノ問題、具體的ノ問題ハ私ハ一々存ジマセスガ一圓位ノ値開キガアルト云フ御話ヘ、其ノ間ニ運賃ノ「プール」モアレバ、卸小賣ノ從來取ツテ居ツタ手數料ノ「プール」モアルシ、色々ノモノガアル千分ノ六デアリマシタカ、極メテ僅カノ口諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス錢ヲ取ツテヤツテ居ルノデアリマスカラ、甘諸馬鈴薯統制會社ガ出來タ爲ニ配給手數料ガ高クナルト云フヤウナコトハナイト御錢ヲ取ツテヤツテ居ルノデアリマス

○平野(力)委員 實際問題トシテハ、苟モ農林省トモアラウモノガ同ジ甘諸トハ言ヒナガラ九州ノ甘諸ト岐阜、愛知、三重方面ニ於ケル甘諸ノ時價其ノ性質此ノ研究ガナカツタト云フコトハ了承出来ナイ、勿論研究ハアツタト思フ、ソコデ東海方面ニ於ケル甘カモ知レマセヌガ、菓子ノ代用或ハ羊羹ノ代用ト云フモノニナル程ノ「カラリー」モアリ意味モ好イ、是マデ一貫目一圓ナリ一圓二十錢デ賣レテ、隨テ一反ニ對スル生産量モ看貫モ非常ニ少イ、ソコデ漸ク値段ガ引合ツテ農民ハ生活ヲシテ居ツタモノヲ、一貫目二十錢三十錢デ賣レタ地方ト殆ド同一ノ値段ヲ決定サレタ其ノ決定方法ト云フモノハ私共ハ當初ノ事情ヲ斟酌致シマシテヤハリ能ク了解ガ出來タ、ソレハ大臣ハ率直ニ惡イ所ヲ直スト仰シヤルシ、又是ガ統制ニ付テハ非常ニ御忙シイ所デ非常ナ苦心ヲサレタ

イケレドモ、甘諸ノ地方ニ於ケル性質ヲ顧慮セズシテ、「ブロック」ヲ五ツニ分ケテ大差ナイヤウニ決定サレタ、其ノ結果地方ニ参リマスレバ、オ前達ハ値段ガ安クナレバ一反デ二百貫位權ツテ居ツテハイカヌカラ千貫位權レト言フ、百姓ノ方ハソシナニ權レス、權レ權レスデ農林省ノ技師ト百姓ト喧嘩ヨシテ居ル、結局作ツテ居ル者ハ百姓デアルカラ、私ノ所ハ一反二百貫ヨリ作ルコトガ出来ナイカラ來年カラ止メル、斯ウ云フコトニナツテ來タノデアリマス、只今ノ御答辯ハ諒トシマスケレドモ、是ガ改正ニ付テハ此處デ大奮發サレタラドウカ、所謂實情ニ即スルヤウニサレタラドウカ

モウ一つ、今沼津ノ例ヲ引キマシテ大體十貫目ニ一圓ノ差ガアル、是ハ運賃其ノ他ヲ見テ居ルト云フ御詰デアルガ、一寸聞ケバ運賃其ノ他ト云フコトニナルカモ知レナシ、能ク研究スレバ從来ノ農民カラ市場、市場カラ小賣、斯ウ云フ配給機構デアル時ハコンナ澤山ノ中間利潤ト云フモノハナカツタ、隨テ會社ノ配給所ト云フモノガ出テ、段階ガ五段階ニモナツテ斯ウ云フヤウナ利潤ガ出來タト云フコトデアレバ、是ハ何ト言ツテモ何處カデグツト引締メル、方法ハアル、締ラスト言ツタツテ締ル、私ノハ完全ダ、尤モダト云フ所マデ改正サルル此ノ地域的ナ値段ノ非常ニ不合理ナルモノヲ此ノ際改正セラルルコトト、此ノ中間通常議會ニ於テ一ツ安心出來ルヤウニ御言明ヲ願ツテ置キタイ、殊ニ私が先程食糧管理局長官ニ聞キマシタヤウニ、第五條ニ

ト云フ法律サヘ出來テ居ルノデアリマスカラ、甘諸ノ値段ノ改正ト云フモノハ、私ノ考ヘデハ出來ルノヂヤナイカト考ヘマスノト云フコトニ付テ一ツノ御同情ガアリマスナラバ、イマ少シク具體的ニ此ノ甘諸問題ニ對シテハ斯様ニシヨウト云フ御考ヘヲ一ツ御發表願ツテ置キタイノデアリマス〇井野國務大臣 先程カラ御答ヘ申上ゲマシタ通り、甘諸馬鈴薯ノ値段ヲ決メマスノニハ、色々農林省モ苦心ヲ致シテ決メタノデアリマス、併シ其ノ實行ニ當リマシテ、地方事情ニ偶、即サナイ部分ガアルト云フコトハ吾々モ諒承シテ居リマス、唯本年途中ニ於テ之ヲ色々ニ致シマスコトハ、却テ折角集メントスル甘諸ノ集荷状態ニモ太キナ影響ヲ與ヘマスノデ、本年ハ此ノ程度ヲ改正デ進シニシテ参リタイ、併シ明年ハ――明年ト申シマスノハ、先程申上ゲマシタヤウニ、本年ノ秋ノ芋デアリマスガ、ソレニ付キマシテハ尙ホ能ク研究致シマシテ、成ベク農民ノ氣持ニ合フヤウニシナケレバナラヌコトハ當然デアリマス、サウ云フ方向ニ進シデ参リタイト云フコトダケヲ申上ゲマス〇平野(力)委員 此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ申上ゲタイコトモアリマスガ、一ツ是非只今申述べマシタヤウナ點ニ付テ、御誠意アル対策ヲ切望致シマシテ、次ノ問題ニ移リマス

○湯河政府委員 第八條ノ運用ハ、是モ全  
部勅令ニ任サレテ居リマスノデ、今頻リニ  
其ノ準備ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、  
今度斯ウ云フ風ニ茲ニ法律ニモ書イテ戴キ、  
又豫算モ特別會計ニ計上シテ貴ヒマシタ所  
以ノモノハ、從來各地方ノ検査ハソレム  
地方ノ經費ヲ以テ之ヲ施行シテ居リマス  
ノデ、勢ヒ地方事情ニ制セラレテ區々ニ  
ナツテ居リマス、又殊ニ検査ノ公正ヲ第一  
ト致シマスニモ拘ハリマセズ、地方費ノ負  
擔ニ依ツテ計上サレテ居リマスル爲ニ、檢  
査員ノ地位ノ安定モ得ラナイ點ガナクモ  
ナイト云フ風ナ事情ガアリマスノデ、ソレ  
等ノ點ヲ直スペク、今度ノ措置ヲ執ツタノ  
デアリマス、是ハ豫算ノ方ニ於キマシテ御  
審査願フコトニナツテ居リマスケレドモ、  
大體米麥ノ検査ニ從事致シマスル検査關係  
職員ノ費用ヲ全額國費ヲ以テ負擔スルコト  
ニ致シマシタ、又検査ニ必要ナル手數料ノ  
收入デアリマスガ、之ヲ國庫ノ收入ニスル  
ト云フ建設前ニナツテ居ルノデアリマス、隨  
ヒマシテ此ノ米麥ノ検査ニ付キマシテハ、  
國ガ一定ノ基準ヲ設ケテ、全國ニ對シテ統  
一的ノ基準ヲ與ヘタイヘ斯ウ考ヘテ居ルノ  
デアリマス、從來各府縣ガソレド、自分ノ  
思フ所ニ依ツテ検査ノ機構ヲ定メ、又其ノ規  
格等モ定メテ居リマシテ、是ハ無論農林省  
メテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リ  
マス、検査ノ内容ニ付キマシテハ、米麥共  
ニ一本ノ單式検査ニスルト云フ考ヘヲ持ツ

テ居リマス、從來往々ニシテ生産検査、或ハ移出検査ト云フ複式検査ヲヤツテ居リマスルモノガゴザイマスガ、今度ハ一本ノ單式検査デヤツテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス  
ソレカラ此ノ検査ノ運營ハ、從來地方農產物検査所ト云フモノガゴザイマス、今後モ一應地方農產物検査所ノ機構ハ存置セシメテ參リタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマスルガ、検査員ノ職務執行ヲ十分公正ナラシメル爲ニ、検査員ノ身分ヲ保障シ、尙ホ其ノ人事等ニ付キマシテハ、十分吾々ノ方ニ篤トシテ居注意フシテ參リタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、検査ノ規格等ヲ決メマスニ當リマシテハ、吾々ノ方ニ中央ニ於キマシテ、其ノ検査標準ノ查定ヲ致シマシテ、之ヲ地方ニ施行セシメル考ヘデアリマス、從來ノヤウニ地方々々ガ検査標準ト標準品ヲ持チ寄リマシテ、之ヲ協定スルト云フ風ナ處置ハソレドヽ地方ノ獨立性ヲ認メテ居ツタノデアルガ、今度ハ中央ノ方ニ指揮ニ依リマシテ、吾々ノ方ニテ決メタ標準品ヲ地方ニ持チ歸ラセテ實施セシメテ參リタイト云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマス、手數料ニ付キマシテハ、先程モ御話ガアリマシタヤウニ、殊ニ料額等モ全國一率ニ決メマシテ、之ヲ徵收シタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、尙ホ米麥以外ノ農產物検査殊ニ食糧品ニ關スル検査デアリマスガ、此ノ第八條ノ第二項ノ規定ニ依リマシテ、政府ハ検査ヲ受クベキ義務ヲ課スルコトニナツテ居リマスルガ、此ノ検査ノ建前ハ、是ハ從來通り地方費ニ依ツテ維持サレテ居リマスル地方ノ検査、地方廳ノ検査ト云フコトニ残シテ置ク積リデアリマス、元ノ農產物検査法ニ依リ

マシテハ、此ノ米麥以外ノ検査ニ付キマシテハ、國ガ囑託ヲ受ケテ検査ヲスルト云フコトニナツテ居リマシタガ、今度ハサウ云フ必要ヲ認メマセヌノデ、地方長官ニ於キマシテ地方費ノ負擔ヲ以テヤル検査、是ト國費ヲ以テヤル検査トハ、地方長官ノ下ニ第アリマス。

○平野(力)委員 法文ニ對スル質問ハ一應此ノ程度ニ致シマシテ、最後ニ增産問題ニ關スル主ナル點二、三ニ付テ農林當局ノ所信ヲ質シテ終リタイト思ヒマス、此處ニ私ハ鏡中條村農會共同作業規程ト云フモノヲ持ツテ參ツタノデアリマス、是ハ前議會デモ一寸問題ニナリマシテ、只今前川委員カラツテ參ツタノデアリマス、是ハ前議會デモ一寸御話ガアツタ、農林當局ノ御答辯ハ極メテアツサリシテ居ルノデスガ、併シ農林省ガ少クトモ一ツノ方針トシテ全國ノ農會ニ向ツテ共同作業ニ對スル相當徹底シタル指令ヲ御出シニナリ、且ツ此ノ規定ニハ命令ニ背イタ場合ニ於キマシテハ、通俗ナ意味ニ於ケル罰金ヲ取ラレル、斯ウ云フ程度ノ強度ノ共同作業ト云フ方向へ進ンデオイデニナルコトニ付テハ、農林當局ノ農業ニ對スシ根本理念、我ガ國ノ食糧増産政策ニ對スル當局ノ考へ方、此ノ根本理念ヲ多少質シテ置カナケレバ不安心デアリマスノデ、此ノ際一言私ノ意見ヲ申上ゲマシテ、御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス此ノ規定ニ依リマスルト共同耕起整地、共同採種、共同苗代、共同田植、共同除草、共同收穫、共同脱穀、共同糲、麥搗、共同播種、共同育苗、是ダケノ共同作業ヲ規定シテ居リマシテ、之ニ付テハ部落農業團體ガ

斯ウ云フ農業團體ガ實際上農民ノ方ニ参りリマスルト、モウ是ハ大體ニ於テ共同作業ヲヤラナケレバ罰金ニナル、斯ウ云フ思想ガ農村ヲ風靡スルコトハ間違ヒナイ、ソレデ具體的ナ事例ヲ一ツ申上ゲマスルガ、私ノ知ツテ居リマスル、或ル部落ニ於テ共同作業ヲヤルト云フノデ、三十人ノ者ガ其ノ中ノ一軒ノ農家ヲ持ツテ居ル僅カ二反歩バカリノ、其ノ土地カラ一里モ向フニアル所ニ行ツテ共同デヤツテ來タ、斯ウ云フ事例ガアル、ソレハ共同デヤラナケレバ罰金ニナルト云フノデ、何デモ彼モ共同作業ト云フ譯デヤツテ居ル、斯ノ如キコトハ少クトモ命令今ヲ御出シニナル前ニ餘程御研究ニナツテ出シテ居ラレルトハ考ヘルケレドモ、一體日本ノ農業ハ共同作業ニ對スル農林當局ノ根本觀念ト云フモノガ間違ツテ居ルノデハナイカ、而モ此ノ中デ見逃スコトノ出來ナイハ、共同作業ヲヤツタ勞働賃銀ト云フモノヲ共同計算ニ於テ支拂フト云フコトニナルト、是ハ全ク大問題デアル、御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス。

此ノ規定ニ依リマスルト共同耕起整地、共同採種、共同苗代、共同田植、共同除草、共同收穫、共同脱穀、共同糲、麥搗、共同播種、共同育苗、是ダケノ共同作業ヲ規定シテ居リマシテ、之ニ付テハ農林省ノドナタガ立案サレマシテ、ドウ云フ經過ヲ踏マレタカト云フコトマデ、實ハ御聽キシタイノデアリマスガ、斯ウ云フヤウニ一緒ニ行ツテ一緒ノ賃金ヲ取ツテ一緒ニヤル、私ハ此ノ點ニ付テ、果シテ是ハ農林省ノドナタガ立案サレマシテ、ドウ云フ經過ヲ踏マレタカト云フコトマデ、實ハ御聽キシタイノデアリマスガ、斯ウ云フヤウニ一緒ニ行ツテ一緒ノ賃金ヲ取ツテ一緒ニヤル、

第七條及第九條ノ規定ニ違反シタル會員ニハ二百圓以下ノ過怠金ヲ課ス」斯ウ云フコトニナツテ居ル、農林當局ガ實際ニ御出しシ詳細ニハ拜見シテハ居リマセヌケレドモ、併シ斯ウ云フモノガ實際上農民ノ方ニ参りリマスルト、モウ是ハ大體ニ於テ共同作業ヲヤラナケレバ罰金ニナル、斯ウ云フ思想ガ農村ヲ風靡スルコトハ間違ヒナイ、ソレデ具體的ナ事例ヲ一ツ申上ゲマスルガ、私ノ知ツテ居リマスル、或ル部落ニ於テ共同作業ヲヤルト云フノデ、三十人ノ者ガ其ノ中ノ一軒ノ農家ヲ持ツテ居ル僅カ二反歩バカリノ、其ノ土地カラ一里モ向フニアル所ニ行ツテ共同デヤツテ來タ、斯ウ云フ事例ガアル、ソレハ共同デヤラナケレバ罰金ニナルト云フノデ、何デモ彼モ共同作業ト云フ譯デヤツテ居ル、斯ノ如キコトハ少クトモ命令今ヲ御出シニナル前ニ餘程御研究ニナツテ出シテ居ラレルトハ考ヘルケレドモ、一體日本ノ農業ハ共同作業ニ對スル農林當局ノ根本觀念ト云フモノガ間違ツテ居ルノデハナイカ、而モ此ノ中デ見逃スコトノ出來ナイハ、共同作業ヲヤツタ勞働賃銀ト云フモノヲ共同計算ニ於テ支拂フト云フコトニナルト、是ハ全ク大問題デアル、御答辯ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス。

○井野國務大臣 其ノ事例ノ内容等ニ付キマシテハ、又後程政府委員カラ申上ゲマスガ、私ノ農村ノ共同作業ニ對スル指導理念ハ、今平野君ノ言ハレタ通りデアリマス、大體ニ於テヤハリ家族ヲ中心ニシテ、サウシテ其ノ農家ノ持ツテ居ル土地ヲ共ニ耕作

中心ニ共同作業ヲ行フ、此ノ共同作業ノ命運ニ違反シタル場合ニ於キマシテハ、此ノ規定ニ依ルト、第十二條ニ「第二條乃至第五條、第七條及第九條ノ規定ニ違反シタル會員ニテ居ル、ソレヲ其ノ部落ニ於テ相互ヒニ助け合ツテ、サウシテ共同耕作ヲヤツテ行クト云フコトハ今日ノ事態ニ即シテ必要デアリマスカラ、其ノ爲ニ或ルツノ仕事ニ對カレルト云フノデアリマス、吾々ガ茲ニ農林大臣ニシツコク家産制ヲヤリナサイ、ナゼ土地問題ヲ解決セヌカト言ツテ居ルノハ此處デアル、農林省ガ此ノ方ヘ農業政策ヲ持ツテ行カレルト云フノデアツタナラバ、私共ハ歩ミガ少シ位遲クテモ、農業勞力ガ「フル」ニ發揮サレルノダカラ了承スルノデアリマス、所ガ現ニ今申上ゲタヤウナ共同耕作ヲ命令シテ、一里モ向フニアル二反歩ノモノヲ共同デヤツテ來テ、賃金ヲ共同分ケルト云フヤウナヤリ方ハ、日本ノ農業ニ對シテ根本的ナル大キナ思想問題デアツテ、所謂農業ニ指導トシテハ誤ツテ居ル、隨テ此ノ際一つ御明示ヲ願ヒタイノハ、此ノ共同作業ノ指揮ハドウ云フヤウナ内容ヲドウ云フ形ニ於テ、ドウ云フ見解デ出サレタノカラ、隨テ又今後斯ウ云フコトヲヤリニナル上ニ於テハ、ドノ程度ノ注意ヲ拂ハレルカト云フコトヲ一つ明確ニサレテ、サウシテ農民ガ其ノ方向ヲ迷ハヌヤウニ、多少答辯ハ長クナリマセウトモ、ハツキリ御願ヒヲ致シタイト思ヒマス。

○岸政府委員 只今大臣カラ御話ノアリマシテハ、又後程政府委員カラ申上ゲマスガ、私ノ農村ノ共同作業ニ對スル指導理念シタ通リナ考へ方デ居ルノデアリマス、其ノ農會ガドウ云フ風ニ考ヘタカ知リマセヌケレドモ、從來アル所ノ各種ノ共同作業季節的ニヤルモノニ對シテ——是ハ何處ニモアルコトデアリマスケレドモ、動モスルト一緒ニ仕事ヲシナイ、ソレガ爲ニ折角ヤリ掛けタ仕事ガ出来ヌト云フヤウナコトガアルノデ、サウ云フコトニ對シテ何等カノ強化ヲシテ貰ヒダイト云フコトガ各方面ノ要求デアリ、ソレニ對處シテ農會等ト共ニ十分研究シテ、農會ノ生産統制ノ規定ヲ適用シ

テヤルト云フコトデ發動シタ譯デアリマス  
ガ、根本的ナ考ヘ方ニ於テハ、決シテ、只  
今御話ノアリマシタヤウナ無理ナコトマデ  
共同シテヤレト云ツタヤウナコトデ行ツテ  
居ル譯デハアリマセヌカラ、其ノ點御諒承  
願ヒマス、實際ノ指導ニ於テハ更ニ一層注  
意致シタイト思ヒマス

○平野(力)委員 ドウモ長クナツテ沟ニ申  
譯アリマセヌガ、一ツ能ク確カメテ置カネ  
バナラヌノデス、第九條ノ「共同作業ノ精算  
勞賃ハ會長ノ指定スル勞賃ニ依ルベシ」ト  
カ、又第九條ノ規定ニ違反シタル會員ニハ  
二百圓以下ノ罰金ヲ課スト云フノデス、ア  
ナタ方ニ斯ウ云ウ云フコトヲ申スノハ釋迦  
ニ說法デアルケレドモ一言言ハシテ戴キタ  
イト思フノデス、詰リ日本ノ農家ノ共同作  
業ト云ウモノハ、オ互ヒニ一度行ツタラ二  
圓五十錢トカ、幾ラ貴フトカ云フヤウナコ  
トハヤラナイ、田植ノ手傳ヒニ行ツタラ、  
ドノ位出サナケレバナラスト云フコトハ傳  
統アル習俗デ決ツテ居ルモノデス、之ヲ會  
長が命令シテ二圓五十錢ナラ二圓五十錢ト  
云フコトニナリマスト、是ハ將來全部ガ部  
落ノ共同地ヘ行ツテ共同作業ヲヤツテ、貢  
賃金モ全部一緒、サウ云フモノニ進ムト  
云フコトハ餘リニモ明瞭デハアリマセス  
カ、私ガ今單ニ此處デオ座ナリノ答辯デ引  
下ラナインハソコナンデス、言換ヘレバ斯  
テ一方ニ於テハ第一條ニアルヤウナ、殆ド  
ウ云フ風ニ部落デ一度手傳ヒニ行ケバ賃金  
ハ幾ラト云フヤウニ決メテ置イテ、サウシ  
テアルト云フナラ當リ前ノ話デアルケレド  
モ、此ノ規定カラ行ケバ凡ユルモノヲ共同

デヤルト云フヤウニ決メテ居ル、サウシテ  
賃金ヲ決メテヤルト云フヤウニナルト、日  
本ノ將來ノ農業ガ、土地ヲ全部共同ニシ、

勞働ヲ共同ニシテ、サウシテ賃金ヲ分ケル  
ト云フコトニナツタラ、何處ニ日本ノ農業  
ノ根本的増産ガアリマスカ、ドウシテ農村

ノ民族強化ナント云フ思想ガ其處カラ湧キ  
マセウカ、私ハ此ノ點ダケハ農林當局ガ最

近御採リニナツタ農林對策トシテ、一ツノ大  
キナ誤リデハナカラウカ、固ヨリは大臣

モ、其ノ信念ヲ披瀝サレマシタカラ私ハ敢

テ是レ以上追求シマセヌケレドセ能ク御考

慮ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ私ガ此ノ點ニ  
付テ——私ハ持論ヲ言ウテ惡イヤウデアリ

マスケレドモ、吾々ガ屢、大臣ニ言フヤウニ  
スウ云フヤウナ方へ進マレルヨリハ日本ノ

全農家ヲ早ク自作農ニスルト云フ方面ニド  
ウシテ農政局ハ一步出ナイノデスカ、吾々

ハ全農家ヲ自作農ニスルト云フコトニ付テ  
聲ヲ大ニスルケレドモ、農政局ハ研究中、

考慮中ト言ツテ居ツテ、共同耕作ノ方ヘ行  
カレルカラ、私ガ青筋ヲ立テテ追求シナケ  
レバ承服出來ナイコトニナル、此ノ點ニ付

○永野説明員 新潟縣ニ左様ナルモノガア  
ルコトハ聞イテ居リマスガ、詳シイコトハ  
知リマセス

○平野(力)委員 此ノ會ノコトニ付テハ八十分

屢、御問ヒシテ居ルノデアリマスガ、日本

ノ農村ノ土地問題、小作問題等ノ處理ニ付

テハ、小作調停法及ビ農地調整法ナル法律

ガ出来テ居リマシテ、農林省ニ於テハ小作

官、裁判所ニ於テハ小作調停主任判事ナル

人ガアツテ、紛議ノ解決ニ當ツテ居ル、然

ラ、ソレハ兎ヤ角言ハナイガ、治安上ノ問

題デナク、單ナル經濟上ノ分配問題デ、二

割ガ宜イカ、五割ガ宜イカト云フコトニ署

バ、是ハ署長サンノ絶對ノ權能デアルカ

ラ、ソレハ兎ヤ角言ハナイガ、治安上ノ問

題デナク、單ナル經濟上ノ分配問題デ、二

割ガ宜イカ、五割ガ宜イカト云フコトニ署

長サンガ立入ツテ、今日農地調整法、小作

調停法ト云フモノガアツテ、農林省ハ之ニ

依ツテヤラウ、司法省ハ之ニ依ツテヤラウ

ト云フ時ニ、警察ノ署長サンガサウ云フモ

ノヲ作ツテヤツテ居ラレルコトハイケナイ

コトデアルト私ハ解釋致シマシテ、是ガ改

正ヲ要求シテ以來一年ニナツテ居ルノデア

リマスガ、今尙ホ何等改正ヲサレナイ、前

ノ警保局長サンカラハ、之ニ對シテハ一ツ

セルト云フヤウナコトヲ拒否シテ、署長サ

ンノ裁量デ、此ノ小作料ハ幾ラニシテ置

ケ、此ノ土地問題ハ斯様ニシテ置ケト事フ

ヤウナコトニ實ハナツテ居ルノデアリマ

ス、是ハ内務省ノ根本方針トシテナサツテ

居ルモノト私ハ解釋シテ居ラヌノデアリマ

スケレドモ、警察ノ署長サンガサウ云フコ

トヲヤツテ居ラレルト云フコトハ、内務省

保安課長ニ伺ツテ置キタイ、是モヤハリ增

産政策ニ相當關係ノアルコトデアリマス、

昨年ノ議會以來私ガ内務省ニ御問ヒヲ致シ

マシテ、今尙ホ未解決ノ問題デアリマス

ガ、新潟縣ニ盡忠會ト云フ會ガアリマス、是

ハ警察ノ署長サンガ會長デ、村長サンガ副

會長、地主カラ三名、小作人カラ三名デ以

テ構成サレタ各村落ニ一組合ヅツアル所ノ

會デアリマス、是ハ御承知ニナツテ居ルト

思ヒマスガ、如何デアリマスカ、サウ云フ

モノノアルコトヲ御承知デアリマスカ

ス、ソコデ其ノ村ニ於ケル小作問題、土地

ニ關係ガナイトハ言ヘナイ問題デアリマ

ス、ソコデ其ノ村ニ於ケル小作問題、土地

問題ハ其ノ村ニ於ケル増產政策ニハ非常ニ

スケレドモ、警察ノ署長サンガサウ云フコ

トヲヤツテ居ラレルト云フコトハ、内務省

ニ關係ガナイトハ言ヘナイ問題デアリマ

ス、是ハ内務省ノ根本方針トシテナサツテ

居ルモノト私ハ解釋シテ居ラヌノデアリマ

ス、ヤウナコトニ實ハナツテ居ルノデアリマ

ス、是ハ内務省ノ根本方針トシテナサツテ

居ルモノト私ハ解釋シテ居ラヌノデアリマ

來スルノデ、保安課長サンニ於カレマシテハ、如何様ニ考ヘテ居ラレルカ、此ノ際御答辯ヲ願ヒタイト思フ

○永野説明員 前ニ調ベルト云フコトニナツテ居ツテ、其ノ後ドウナツテ居ルカト云フコトデアリマスガ、實ハ其ノコトニ付テ私聽イテハ居リマセヌケレドモ、警保局トシテ十分調査ガ出來テ居ルコトト思ヒマス、所デ只今小作官、調停官ガ居ルノデアルカラ、其ノ方デ左様ナ紛議等ニ付テハ、皆片付ケレバ宜ノデアツテ、警察官ガ餘りニ出シヤバルコトハイカヌデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、尙ホ十分其ノ實情ハ能ク調べテ見タイト思ヒマスガ、勿論小作官調停官ノ方デ職掌上オヤリ下サルノガ當然デアリマス、併シ警察ト致シマシテモ、ソレ等ノ係官トヨク連絡シレニ御協力申上ゲテ、紛争等ガ、成ベク圓滿ニ早く片付クヤウニナルコトガ、最モ望マシイコトデアリマスノデ、警察トシテハ専ラ小作官、調停官ニ御協力申上ガタイト云フ心持デヤツテ居ルモノダラウト私ハ思フノデアリマス、若シソレガ非常ニ行過ギテ、サウ云フ本來ノ係官ニ持ツテ行クコトハナイ、警察デ皆片付ケテヤルト云フヤウナコトデ、只今御話ガアツタヤウニ調停ノ申立ナドヲサセズニ、專ラ警察ガヤルト云フトデアリマスレバ、是ハ適當デナイト思フノデアリマス、能ク係ノ人ト連絡ヲ取ツテ、警察ハ専ラ其ノ下効キラスルト云フ心持デヤルベキモノデアラウト思ヒマス、ドウ云フヤウナコトニナツテ居リマスカ十分調べテ見タイト思ヒマス

○平野(力)委員 殊ニ今回言論集會結社ニ關スルアア云フ法律ガ出マシテ、村ニ集會

ヲ開ク場合等ニ於キマシテモ、署長サンノ大體ニ對スル一つノ權能ト云フモノガ増大シテ居ルノデアリマス、保安課長サンノ只今ノ御答辯ニ依リマスト、御考ヘトシテハ大體了承シタノデアリマスガ、此ノ事件ニ付テマダ能ク御研究ガナイヤウニ考ヘマスガ、洵ニ恐縮デスガ、是ハ私共農村問題ニ關心ヲ持ツ者ト致シマシテ、斯ウ云フ具體的ナ問題ハ適當ナル明確サヲ持ツテ居リマセヌト具合ガ惡イノデアリマシテ、一應新潟縣ニ御照會ヲ願ヒマンテ、尙ホ適當ナル機會ニ於キマシテ一ツ内務省ノ御所信ヲ御發表願ヒタイ、斯様ニ思ツテ居リマス、其ノ點ニ付テハ尙ホ質疑ヲ保留致シマシテ、尙ホ司法省關係ニ付テ質疑ガアリマスガ、當局ガ御見エニナリマセヌノデ、此ノ兩問題ニ付テハ、洵ニ勝手デアリマスガ、質疑ノ留保ヲ願ヒマシテ、一應本日ノ私ノ質疑ヲ終ルコトト致シマスマス

○三善委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ議事ヲ止メマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、明日ハ部屋ノ都合ニ依リマシテ午前中ダケデアリマスカラ、ドウゾ正十時ニ御出席ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時五十分散會